

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 国語)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項 目	観点等	教科書名	新しい国語
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方、伝統的な言語文化に関する内容 情報を取り出したり活用したりする際に行う整理の仕方やそのための具体的な手段に関する内容 語彙を豊かにすることに関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がつまずきやすく習得に課題がある漢字や言葉の使い方の学習などを随所に入れている。ICT活用による反復練習の量も多く、繰り返し練習できるドリルの役割もできるようになっている。 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の由来や変化について学んだりする単元・教材を全学年を通して系統的に取り上げている。 情報の扱い方に関する単元として「情報のとびら」が設けられている。「読むこと」、「書くこと」の学習と関連させて「情報の扱い方」に関する指導事項が位置づけられ、系統立ってはいるが、同様の言語活動を繰り返すので意欲を持続させるのが難しい。 「漢字を使おう」のような、既習漢字の定着を目的とした小単元のページ下段に、新出漢字や「漢字の世界をひろげよう」がたくさん取り上げられているが、既習漢字を楽しみながら習得するには内容が多い。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことを一体的にとらえた、説明、発表、対話、討論などの言語活動の設定 説明、記録、手紙、感想などを書いたり、意見発表のための文章や資料を作成したりする機会の設定 内容や要旨を捉えながら読む、調べるために読む、音読や朗読をする活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に「国語ノートの作り方」「デジタルノートの作り方」を設け、思考の言語化や整理をすることによって、自己の考えを形成する手立てとしている。また、随所にメモやカード、図表、対話例も提示している。 説明文を読み比べる単元では、身近で実用的な資料を取り上げ、関係づけたり、比較したりする力を付ける工夫がされている。 単元で身に付けたい「言葉の力」が、単元のはじめの扉絵のページに明確に示されている。さらに教材の後に、学習の見通しや、付けたい「言葉の力」のための言語活動が、思考ツールなどを使いながら分かりやすくまとめられている。 「読むこと」の単元で学んだことを「書くこと」の単元に生かせるような学習の流れになっている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 児童の読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるような、目的に応じた読書への誘いについての内容 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み前に設定されている「本は友達 ○年生の本だな」では、児童の読書体験を豊かにするために、多様なジャンルの本や著名人のエッセイを紹介している。 どの学年にも資料や情報を的確に探せるように、図書館の使い方を学習する単元が設定されている。低学年の早い段階から図書の分類シールの見方、配架のルールについて示しており、児童の自主的な学校図書館の利用を意識している。 読書活動を楽しむ工夫として、ブックトーク（4年）や発見カード（3年）が紹介されているが、例示されているテーマや書き方が難しい。 「読むこと」の単元にある「こんな本もいっしょに」では、読みたくなる誘い言葉を入れて紹介されている本もあるが、多くは表紙のみの掲載となっている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」の単元では、教科書の資料に基づいたモデル動画が用意されており、活動の参考になる。また、エラーモデルからは、どのようにしていけばよいか、児童が自ら思考する工夫がされている。 児童が必要な情報を探したり、学びを広げたりすることができるデジタルコンテンツが豊富である。 1年上巻のスタートアップでは、早い段階で「読み」「書き」につながる活動が始まる。入学してすぐの児童の「小学生らしい学習をしたい」という意欲や、やる気を大切に、伸ばすことができる。 「未来を生きる君へ」では各学年に著名人のエッセイがあり、キャリア教育につながるようなページが仕組みられている。 1人1台端末を有効に活用する工夫が、1年上巻から豊富にある。一方で、1年生は学習の基礎を学ぶ段階とすると、やや情報過多である。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭部に学習の進め方（見通す→取り組む→振り返る）が示されており、育成すべき「言葉の力」を明確にしている。さらに、導入のページでは見開き1ページのイラストや写真で学習への期待や意欲が高まるように工夫されている。 単元末には、学習の大事なポイント、単元で付けたい力を図解やイラストを交えて示しているが、物語教材を扱う単元では、学習活動の進め方が細かく示されていることにより、活動や指導が柔軟に計画しにくい可能性がある。 夏休み前に設定されている「本は友達 ○年生の本だな」では、児童の読書体験を豊かにするために、多様なジャンルの本や著名人のエッセイを紹介している。「読むこと」の単元にある「こんな本もいっしょに」では、読みたくなる誘い言葉を入れて紹介されている本もあるが、多くは表紙のみの掲載となっている。 どの単元にも動画や写真などのデジタルコンテンツがついており、内容も豊富である。特に「話すこと・聞くこと」の単元では、モデル動画やエラー動画があることで、児童が目指す姿のイメージをもちやすい。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 国語)

NO. 2

発行者の番号		017	
発行者の略称		教出	◎
項目	観点等	教科書名	ひろがる言葉 小学国語
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方、伝統的な言語文化に関する内容 情報を取り出したり活用したりする際に行う整理の仕方やそのための具体的な手段に関する内容 語彙を豊かにすることに関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉の働き」「話し言葉書き言葉」「語彙」「文や文章」「言葉遣い」「言葉の由来や変化」の6つの系統に基づき、「学習の広場」を学年に6カ所設け、確実な習熟を図っている。また、前学年で学んだ漢字のページは明るく大きなイラストで漢字を使って文を作りたくなる構成になっている。 「読むこと」の単元末「言葉を増やそう」では、教材内で扱われた言葉と関連のある言葉を提示し、語句作りや文作りを通して、自然と語彙を増やせるように工夫されている。 四季折々の美しい言葉を味わう小教材や、昔から親しまれてきた言葉を扱う小教材を位置づけ、日本語のリズムや響きを味わうことができる伝統的な言語文化に触れる教材が多い。俳句教材では季節感を感じる挿絵が特に美しい。 情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりすることができるよう配慮した教材を設けている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことを一体的にとらえた、説明、発表、対話、討論などの言語活動の設定 説明、記録、手紙、感想などを書いたり、意見発表のための文章や資料を作成したりする機会の設定 内容や要旨を捉えながら読む、調べるために読む、音読や朗読をする活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の単元のとびらの誘い文句がやわらかく、児童の「読みたい」という意欲を喚起する一文となっている。また、挿絵や写真が効果的に使われており、児童が読みを深めることの助けになっている。 図表を多く取り入れ、資料を読み取る力、文と結びつけて考える力を養えるようにしている。 低学年の「書くこと」の単元では、生活科と関連させ、書く目的を明らかにしていることから、児童が目的意識をもって意欲的に取り組める。しかし、他社と比較すると、書くための作業や、目標としている文章量が多く、やや難しい印象を受ける。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 児童の読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるような、目的に応じた読書への誘いについての内容 	<ul style="list-style-type: none"> 本を紹介するコーナーでは、表紙の写真とともに、児童を引きつけるあらすじが掲載されている。 「ひろがる読書の世界」のページでは、日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、短時間で取り組める活動を複数紹介している。 上巻の「読書の広場」で、図書館を活用したくなるような教材が設定されている。また、下巻では、友達と読書について交流したくなるようなお話びじゅつかん(2年)、おすすめ図書カード(3年)、読書タイムライン(6年)などの教材が設定されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちに取材するなどの教材を取り上げることで地域に根ざした特色ある学習活動の視点を大切にしている。 働く人へ目を向けた教材や先人達の努力や思いを取り上げた教材を配置し、働くこと・生きることに関心を置いた学習ができるように工夫されている。 デジタルコンテンツには、NHK for schoolや、関連ウェブサイトへのリンクがあり、児童の興味・関心に合わせて、発展的または横断的な学習に活用できるが、学習モデルなど児童の学習活動を助けるコンテンツは他社と比べると少ない。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 各単元に「見通しをもとう」が設定され、学習の進め方が簡潔に記載されている。「読むこと」の単元には、文章の構造の図解、読みを深めるための思考ツールや子どものつぶやきが記載されており、児童が自ら学習に向かい、読みを深められる工夫がされている。 「読むこと」の単元末にある「言葉を増やそう」で教材内で扱われた言葉と関連のある言葉を提示し、語句作りや文作りを通して、語彙を増やせるように工夫されている。 本を紹介するコーナーでは、表紙の写真とともに、児童を引きつけるあらすじが掲載されている。また、「ひろがる読書の世界」のページでは、日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、短時間で取り組める活動を複数紹介している。 5・6年生まで上下巻の分冊であるため、ゆったりとした紙面構成で見やすく、持ち運びもしやすい。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 国語)

NO. 3

発行者の番号		038	
発行者の略称		光村	◎
項目	観点等	教科書名	国語
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方、伝統的な言語文化に関する内容 情報を取り出したり活用したりする際に行う整理の仕方やそのための具体的な手段に関する内容 語彙を豊かにすることに関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習を随所に設け、楽しみながら漢字が習得できるように工夫されている。また、各学年6か所に「漢字の広場」を設け、前学年で習った漢字を文章の中で使えるようにしている。 「情報の扱い方」について活用場面を意識した教材を設定している。情報の扱い方を単元の学習内容と密接に関連させ、言語活動の中で確実に身に付けられるようにしている。 伝統的な言語文化に関する内容が資料とともに多く取り上げられており、俳句や短歌などを音読したり暗唱したりする学習の場としている。 巻末付録の「言葉のたから箱」は、学年の発達に合わせた言葉を3つのカテゴリーに分類して掲載し、学習や日常生活でも活用できるようにしている。 2年生以上の巻末に「図を使って考えよう」を設け、思考ツールの使い方と情報を伝える時の言葉についてまとめられている。織り込みにして他の活動にも活用しやすく工夫されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことを一体的にとらえた、説明、発表、対話、討論などの言語活動の設定 説明、記録、手紙、感想などを書いたり、意見発表のための文章や資料を作成したりする機会の設定 内容や要旨を捉えながら読む、調べるために読む、音読や朗読をする活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと聞くこと」や「書くこと」のアイスブレイク教材では、交流するおもしろさを味わうことができ、意欲的に学習に取り組む素地を作れるようにしている。 身の回りの情報を読む力を伸ばす「生活の中で読もう」では、文章と図版を組み合わせて読む力や、情報を比較して読む力を育てるようになっている。 文学的な文章を読む学習では、1学期は「言葉や表現に着目する」、2学期は「読みを深め自分の考えを形成する」、3学期は「考えを共有する」ことを重点にねらい、言語活動や教材文が設定されている。 各単元の「見通しをもとう」に示されている活動内容が多く、児童にとって、何をどのように学ぶのか、かえって捉えにくい可能性がある。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 児童の読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるような、目的に応じた読書への誘いについての内容 	<ul style="list-style-type: none"> 読書単元「本はともだち」の中で、原作を数ページにわたって掲載することで、読書への興味を喚起している。 「この本、読もう」では、単元の学習との関わりを意識した誘いがされている。 読書単元「本はともだち」を年間2か所設け、1回目は図書館を知る、2回目は読書の世界を広げる活動を設定し、日常的な読書活動につながるようにしている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 2年生から、生活と結び付けて、目標や問いを設定し、学び、振り返り、生活に生かすという学習の見通しが巻頭にある。特に目標を立てる時や、話し合う時、振り返る時に使える表現を示しており、毎回学習で使えるよう、ページ(紙質やサイズ)に工夫がされている。 選択課題を設け、一人ひとりの興味に沿って、学びが進められるようになっている。 地元の魅力や課題に目を向け、発信する単元が3年生以上にある。2年生には、地域に伝わる話や、カルタに親しむ箇所がある。 デジタル教材では、言語活動のモデルが動画で示されており、特に「話すこと聞くこと」では学習を進める手立てとして有効である。 	◎
総合所見(発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「〇年生で学ぶこと」には前学年で学んだことも系統的に示され、学習のつながりを意識できるようになっている。 各単元の「見通しをもとう」に示されている活動内容が多く、児童にとって、何をどのように学ぶのか、かえって捉えにくい可能性がある。 教材は、多様な分野から豊富に取り入れられている。 学習過程に、個別最適な一人ひとりの学びと対話を通じた協働的な学びを効果的に組み合わせた言語活動を取り入れており、特に対話を通して学びが深まるように、話し合いの場面のイラストや吹き出しを掲載している。 読書単元「本はともだち」では、長編文学やノンフィクションなど読み物の一部を載せ、読書の世界へ誘っている。また、日常的な読書活動につながるように「図書館を知る」、「読書の世界を広げる」活動を設定している。 他社と比べて挿絵や写真の数が少なかつたりサイズが小さかつたりするため、読むときの助けが乏しい。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 書 写)

NO. 1

発行者の番号		002		
発行者の略称		東書	◎	
項 目	観点等	教科書名	新しい書写	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 文字を整えて書くことができるための教材・学習活動 姿勢や筆記具の持ち方について 		<ul style="list-style-type: none"> 3年生以上では、1つの二次元コードを読み取ると、すべてのデジタル教材が見られるようになっている。また、一つだけの教材を読み取るコードもついている。 書写用語をまとめたページ(書写のかぎ)がある。 高学年では、教科書に児童が書きこぶ箇所が多くなっている。1時間の学習の中で負担になる児童もいることが考えられる。 準備、片付けの仕方、姿勢、筆記具の持ち方がはじめのページにわかりやすく記載されている。 点画、折れ、払いなどの例示が短い言葉(ぐうっ、ぴたっ等)で的確に示されている。 低学年では、点画の書き方の特徴を動物のキャラクターの動きと擬態語を使って表現し、児童はそれぞれの理解の仕方に合うよう感覚に働きかける工夫がされている。 「ひつじゅん」という、1年生には難しい言葉を使っている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深めること 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めたり、書く速さを意識したりすること 		<ul style="list-style-type: none"> 硬筆、毛筆ともに手本となっている文字の数が豊富で、手本を書く際の文字の大きさや字間、筆使いなどが簡潔に示されている。 第3学年以上は「1見つけよう」「2確かめよう」「3生かそう」と、硬筆の中から見出した課題を、毛筆で確かな学びとし、その成果を硬筆に生かすという学習の流れが設定されている。 第3学年以上で、筆圧について話し合うなど対話的な学習を促す設問が掲載されており、仲間とともに考え、学びを深める工夫がされている。 筆おろしから、すずりでの墨のすり方も動画で示されており、丁寧に説明してある。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な用紙(ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など)への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例 		<ul style="list-style-type: none"> 書き込める部分が小さくゆったりとした文字が書きにくい。 文字の文化に興味関心が高まるような学習教材や内容を取り入れ、リーフレット・ノートを書こう・ポスター・インタビューメモ等の他教科の基礎となる内容が盛り込まれている。また、「横書き」の書き方にも力を入れて指導できるようになっている。 日常生活や他教科の場で生きる単元配列となっている。 他教科と関連する箇所はリンクマークで示されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の目次をクリックすると、すべてのページにつながるようできているので、学ぶ流れが理解しやすい。個々のページに掲載されている二次元コードを読み取る必要がなく、見たいページをすぐに探することができる。 日本に古くから伝わる俳句や、著名な作家の詩などが例として多く掲載されているが、児童にとってなじみが薄く興味関心をもちにくい。 デジタル教材が充実している。毛筆の運筆動画で繰り返し動きを確認するのに役立ったり、映像を見ることで授業の効率化につながったりする。BGMはなくてもよい。 デジタル教材を使い一人ひとりが学ぶことに興味関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むことができる。 読み手にわかりやすく、どのように書くかという相手意識を持ちやすくしている。 	○
	総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材では特別支援やユニバーサルデザインが意識され、白地に黒文字の場合と、黒文字に白字、という切り替えができるため弱視者に配慮されている。 「見つけよう・たしかめよう・生かそう・ふりかえろう」の4段階で学習を進めることで、書写に関わる見方・考え方を働かせながら、書く活動に取り組めるように構成されていて、教師の指示がなくても、児童自らが学習を進めることができるようになっている。この過程の中で良い点や修正すべき点を見つけ、自ら修正点を見つけられない児童は、友達と見せ合うことで見つけることができる。対話を通じた学習の振り返りが可能。 挿絵や写真が鮮明で大きさも適切であり、全体のバランスがとれている。落ち着いた色遣いで、視覚資料が効果的に掲載されている。 他教科の視点も含めた指導も行えるような構成・配列である。書写で学習したことを他教科に生かすことのできるコラム(総合・国語・社会)もある。 巻頭に「書写の学び方」が示されるなど、課題解決型の単元展開となっており、論理的思考・判断力、表現力を育成するよう配慮されている。どのように学ぶかがわかる。 スタートカリキュラムの中に書写を位置づけ、遊びや生活の中で文字に触れてきた幼児期の体験をふまえて、学習基盤である「正しく整った字を書く」力を育もうとしている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 書 写)

NO. 2

発行者の番号		017	
発行者の略称		教出	◎
項 目	観点等	教科書名	小学 書写
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 文字を整えて書くことができるための教材・学習活動 姿勢や筆記具の持ち方について 	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢の作り方が「①こしぴん②足ぺた③ぐう一つ」と覚えやすい擬態語の合言葉でわかりやすく、パソコンやタブレットを使うときの姿勢にも触れているため習慣化を図ることができる。 同じページ内で硬筆や毛筆両方の持ち方を比較しながら一度に確認することができる。 これまで学んだ知識・技能面を振り返り、次の学習に向かえるよう、教科書に直接書く欄が設けられている。 書写の体操は、体を動かすのではなく、運筆のことを書写体操と呼んでいる。 水書の扱いが毎時間になっていて、鉛筆で書くことに慣れさせたい時期に水書のウェイトが大きい。 デジタル教材では、用具の準備の説明が動画ではなく、画像である点がわかりにくい。 活動写真の正しい・正しくないを掲載することで、授業のイメージを持つことができる。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深めること 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めたり、書く速さを意識したりすること 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の書初めのお手本では、書初め用紙に近いサイズの手本が見開きで示されており、児童にとって実際に書く文字と同じ感覚で手本を見ることができる。 学習のまとめに「ふりかえろう」の項目が設定されており、学習に関しての自己評価や日常にどのようにいかにさせるかといった思考を促す工夫が見られる。 「たしかめよう」で、自分のめあてがうまくいかなかったときに振り返って確かめることができる。ページも掲載されているのですぐに確かめることができる。 書く速さの単元については扱っている内容が少ない。 「ためし書き」に対して「まとめ書き」と表現しているのは、馴染まない。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な用紙(ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など)への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな筆記具について紹介されている。 特別支援教育への配慮という点で、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられているため、カラーユニバーサルデザイン(CUD)ユニバーサルデザインフォント(UD)が採用されていることで、文字の色分けやレイアウトの仕方が学習しやすい文字となっている。人権意識を高める教材を掲載することで人権感覚を身に付けようとする姿勢を感じることができる。 左で書く場合を掲載し、左利きへの児童への配慮することで個別の最適な学びになっている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 「始筆→送筆→終筆」と、中学校と同じ図版を用いたり、「楷書から行書へ」の記載から小中のつながりを意識することができる。 学年の最後のまとめのページでは、第3学年以上でめあて・ふりかえりがあり、書写の学習を通して自身が何の力が身につけているのか児童にとってわかりやすく構成されている。また、教材の配列に基礎・基本の配慮が行き届いていて、学習のポイントが大変わかりやすい。 学びのプロセスが「学習の進め方」としてはじめに示されており、児童が自ら課題をつかみ、課題の解決に向けて他者と協働的に学習を進め、自身の学びを自己・他者評価することができるよう工夫されている。 習得した書く力を、他の学習や日常生活に活用できるよう工夫されているが、高学年は資料の内容が多く、どこに焦点を当てて考えたらよいかのかがわかりにくい。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 第1、2学年で「めあて」「ふりかえろう」、第3学年以上で「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の流れで、学習を進めていることで、点画の書き方や文字の形、文字の組み立て方を考えながら、正しく学べる配慮がされている。 1年間の学びを可視化する目次や学年で学習する内容を図版でコンパクト化するなど、シンプルで見やすい工夫になっている。右ページは教材文と単元名、左ページでポイントの確認ができるすっきりした構成もわかりやすい。 文字感覚を自然に育むことができる「ためし書き」と「まとめ書き」で1時間の授業の中で比べて振り返り、自らの成長に気づくことができる。 「ためし書き」という表現は児童に親しみがなく、書写には馴染まなかったり、運筆を「書写体操」と呼んでいて、「実質の体操」は扱っていなかったりする点が指導しづらい。 他教科や生活にも学習したことを広げていけるようコラムが設定されていて学びが広がる 低学年で水筆の使用回数が多く、1年生では、線のおけいこの次、ひらがな学習が始まってすぐに水筆を使った学習を取り入れていて、鉛筆を正しく持って書かせようとする指導意図に沿わない。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 書写)

NO. 3

発行者の番号		038		
発行者の略称		光村	◎	
項目	観点等	教科書名	書写	
知識及び技能	・文字を整えて書くことができるための教材・学習活動 ・姿勢や筆記具の持ち方について		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の中に二次元コードが多く掲載されていて、二次元コードを読み取ると用具の準備や片付け、姿勢、筆の持ち方、タブレットを使う姿勢等が動画で確かめることができ、わかりやすい。 ・入門期の水書の扱いがひらがなをとばしてカタカナと漢字になっている。 ・文字が大きく、学習しやすい。また、イラストでの説明が多いので、言葉で理解しにくい児童にとっても理解しやすい。 ・点画の書き方について、一つ一つ学習するようになっていて、字形をしっかりと身に付けることができる。 ・巻頭には、姿勢や筆記具の持ち方・準備の仕方が明記されているので、いつでも確認することができる。 ・第3学年における毛筆の導入を重視しており、点画の種類や字形、筆順に関する例示の掲載数が多い。改善を要する例も掲載し、穂先の向きやバランスについて比較しながら学べるような構成になっている。 	○
思考力・判断力・表現力等	・毛筆を使用して点画の書き方への理解を深めること ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めたり、書く速さを意識したりすること		<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年「点画のつながりと字形」では、ちょうちょうやトンボ、猫のイラストを用いたアニメーション動画がついており、ポイントがわかりやすい。 ・アルファベットの書き方も動画で見ることができる。 ・書く速さについて、1ページでわかりやすくまとめられていて、場面に合わせて書く速さを意識できるような記述がある。 ・イラストを用いて具体例を取り入れることで正しく学ぶ工夫がされている。 ・見開きの右ページが本時の考えるべき課題、左ページがお手本の字になるよう構成されていてわかりやすい。 ・第4学年の教科書にはSDGsブックを付け、書写での学びがSDGsの達成につながることに気づけるよう工夫している。 	◎
学びに向かう力・人間性等	・様々な用紙(ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など)への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例		<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ると、用紙に合わせた文字の大きさがカラーの枠で示されておりわかりやすい。 ・学習の進め方が、考えよう、確かめよう、生かそうといった流れになっていて、段階的でわかりやすい。 ・国語や他教科(社会科・外国語など)、日常生活に関わる教材があり、学んだことをすぐに活用できる。 ・社会の中で使われている文字に焦点を当て、様々な文字文化の事例が紹介されており、親しみやすい内容になっている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ると、NHK等他サイトへリンクできる所が多く、学習につながりが生まれ、幅を広げることができる。 ・これまでの学年の書写の学習のまとめを画像で見ることができる。 ・保護者に向けての教科書・資料の使い方のページがある。 ・第6学年の教科書では楷書のとなりに行書が取り上げられていて、中学校へのつながりや憧れをもたせることができる。 ・特別支援の観点から、ユニバーサルデザインに対応し、紙面の構造化や誤解の生じにくいレイアウトになっており支援の必要な児童への配慮が感じられる。 ・UDフォントを使用し、落ち着いた色づかいで構成されていて読みやすく、文字の大きさが児童の視点に立ったもので、色覚の多様性への対応が見られる。 ・SDGsの達成に向けた教材を全学年巻末に掲載している。 ・巻末に、動画で見られる硬筆と毛筆(ひらがな、かたかな)が掲載されている。 	◎
総合所見 (発行者別)			<ul style="list-style-type: none"> ・動画が多く、1人1台端末を持つ高島市の児童が、家庭で予習復習をする際に役立つ。 ・毛筆、硬筆の両方で文字のお手本が必ず動画で示されているのでわかりやすい。 ・よい姿勢を維持できるように、書写体操、整理体操を動画で示し、書写学習の基本になるところを大切にしている。 ・ユニバーサルデザインを意識した筆記用具図鑑が掲載されている。 ・各学年で統一したキャラクターねこを随所に取り上げ、親しみやすく、注意するところに登場し、正しく学ぶ工夫がされている。 ・本時の学習内容が見開き1ページになっていて、扱いやすく、学習の流れが「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つにまとまっており学習しやすい。 ・他教科や日常生活との関連が見られ、教科横断的な視点を含んだ構成・配列になっていて、文字を書く喜びを実感し、達成感を得ることができるよう工夫されている。 ・1ページに掲載されている情報量が適量であり、無理なく学習することができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 社会)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項 目	観点等	教科書名	新しい社会
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について ・年表、地図、図、写真等について ・資料の比較、意見の交流や記述を促す内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を深めるための重要なキーワードが「ことば」として説明されていることで、学習内容の習得がしやすい。 ・全学年巻末に索引が掲載されており、学習事項の確認に用いることができる。 ・「まなび方コーナー」には、具体的な学習の技能や資料読み取りのポイントなど、学年に応じた学習方法が掲載されている。 ・デジタル教材として、すべての小単元で「学習計画ワークシート」「まとめるワークシート」があり、問題解決的な学習に活用できるようになっている。 ・ワイド版の紙面や折込ページなどが掲載されており、児童の学習意欲を高め、意見交流を促す工夫がされている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解させる内容 ・身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査に対する関心を高める内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとめる」の場面では、発表する、文章でまとめる、話し合うなどの言語活動を重視することで理解を深めるとともに、多様な言語活動を通して思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされている。 ・3・4年生では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化、地域の発展に尽くした先人の働きなどを調べる学習が随所にある。 ・3年「市のはってんのために」の学習では、「いかす」の場面で社会的な事柄に参画、提案することができるような工夫がされている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を展開するための工夫 ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉える工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターのイラストによって「位置・広がり」「時間」「関わり」「比較・分類」を判断しやすくする工夫があり、社会的事象の見方・考え方を理解しやすい。 ・「つかむ・調べる・まとめる・いかす」の学習の流れになっており、学習段階ごとに活動内容や留意点を例示することで、見通しを持って問題解決的な学習に取り組むことができる。 ・主な学習活動を示した「まなびのポイント」が掲載されており、本時の学習のポイントや問いを示し、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ・5年生では、食料問題や情報化社会、SDGsなど、関心が高まっている内容が積極的に掲載されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の当該箇所に掲載されている二次元コードを読み取ることで、導入動画や解説動画、クイズなど様々なコンテンツにアクセスすることができるので、児童の学びを広げることができる。 ・二次元コードからインタビュー動画にアクセスでき、様々な仕事や事業に従事されている方々の生きた声や思いを聞くことにより、キャリア教育の視点を取り入れた活動を展開することができる。 ・3年生「市の様子」「市のうっかりかわり」の学習では、土地利用、交通、公共施設など視点ごとに見開きで調べる構成となっていることで、分かりやすく、自分たちが住む地域の様子をまとめる際に参考にすることができる。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真が見やすく、資料が豊富である。またデジタルコンテンツが充実している。 ・「まなび方コーナー」には、具体的な学習の技能や資料読み取りのポイントなど、学年に応じた学習方法が掲載されている。 ・「つかむ・調べる・まとめる・いかす」の学習の流れになっており、学習段階ごとに活動内容や留意点を例示することで、見通しを持って問題解決的な学習に取り組むことができる。 ・学習過程の「いかす」を意識し、社会的事象に対し自分たちに何ができるのかを問いかけ、考えさせる場面がたくさんあり、地域社会の一員としての意識を高めることができる。 ・各学年、教科書の巻末に1年間で学んだ学習内容が掲載され、要点を押さえながら振り返りを行うことができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 社会)

NO. 2

発行者の番号		017	
発行者の略称		教出	◎
項目	観点等	教科書名	小学社会
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について ・年表、地図、図、写真等について ・資料の比較、意見の交流や記述を促す内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習深めるための重要な語句が「キーワード」として明示されていることで、学習内容の習得がしやすい。 ・6年生の教科書が、歴史と公民で1冊になっており、既習事項を見直したり学習の振り返りをしたりしやすい。 ・各学年の教科書の巻末に、1年間の学習内容の振り返りがあるので、1年間の学習の足跡がわかる。 ・「もっと知りたい」のページでは、児童に興味を持ってほしい話題(アイヌ民族、災害の歴史、韓国との歴史など)を提示し、その単元をより深く学ぶことができる。 ・イラストが児童目線から描かれているのでわかりやすい。また、児童の目を引く写真やイラストが多用され、見開きにするなどの工夫が見られる。 ・6年生の歴史の教科書には、昔の写真をカラー化した資料が多く掲載されており、児童の興味を引くことができる。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解させる内容 ・身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査に対する関心を高める内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の教科書の巻末に、インタビューの仕方やインターネットの検索方法、調べたことをまとめる方法等がわかる「社会科ガイド」が掲載され、学習を深めるために活用することができる。 ・学習のまとめでは、学年の実態に応じて、図表や年表、地図やポスター、リーフレットなど様々な方法で表現できるよう工夫されている。 ・単元によっては、「つなげる」という活動を設定し、社会への関わり方を選択、判断する話し合い活動を促す工夫がされている。 ・5年生の教科書の最後に「環境にやさしい取り組み」の地図があり、「ラムサール条約」のことが記載されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を展開するための工夫 ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉える工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが、「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」で図式化されており、見通しを持って問題解決的な学習に取り組むことができる。 ・3・4年生では、「つかむ」で学習問題をつくり、学習の計画を立て調べ学習に進める構成になっている。また5・6年生では、地図や写真、イラストを用いて学習問題をつくり、学習課題を解決しようとする意欲を高める構成になっている。 ・学習したページに、次回の学習内容を予告する「次につなげよう」が掲載されているので、単元を通した学習を深めることに適している。 ・関心が高まっているSDGsについて、どの学習内容・ページで扱っているのかが提示されている。 ・「ちがいがい・比べる・工夫・どのあたり」など、社会的な見方や考え方を意識させるための問いかけが掲載されている。 ・6年生の教科書の巻末には、「歴史地図さくいん」があり、歴史を今に伝える遺跡や場所を探することができる。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載されている二次元コードを読み取ることで、「まなびのリンク」につながり、様々な資料を活用しながら学習を進めることができる。 ・5年生では、児童一人ひとりが資料を選んで課題を追及する「自分で考える」ページが掲載されており、個に応じた主体的な学びを展開することができる。 ・社会で活躍している多様な人物に取材をしたインタビュー記事がたくさん掲載されているので、キャリア教育の視点を取り入れた活動を展開することができる。 	○
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのてびきでは、活動の順序や学習の理解を促す活動が例示されている。 ・学習の流れが、「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」で図式化されており、見通しを持って問題解決的な学習に取り組むことができる。 ・「この時間の問い」が掲載されていることで、1時間ごとの学習問題を設定しやすく、見通しを持って学習を進めることができる。 ・学習したページに、次回の学習内容を予告する「次につなげよう」が掲載されているので、単元を通した学習を深めることに適している。 ・学習をするうえで重要な語句がキーワードとして掲載されているが、語句のみで解説が記載されていないことが多く、語句の理解に時間を要する場合がある。 ・SDGsの視点から学習を振り返るページが設定され、自分たちのくらしとのつながりや関わりについて意識づけできるように工夫されている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 社会)

NO. 3

発行者の番号		116	
発行者の略称		日文	◎
項目	観点等	教科書名	
		小学社会	○
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について ・年表、地図、図、写真等について ・資料の比較、意見の交流や記述を促す内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習深めるための重要な語句が「キーワード」として明示されるとともに、本文中で対応する文字が字体を変えて太字で記載されている。 ・1ページのレイアウトが「学習活動、学習内容、友だちの発信」の3つの役割に分かれていることで、文章を正確に読み取りやすい。 ・大判イラストが多く、児童の調べてみたいという意欲が高まる。 ・児童が互いに話し合い、聞き合う活動である「深め合い活動」のポイントを漫画でまとめることで児童にわかりやすくしている。 ・前の学年の学習を振り返るページや当該学年の学習内容を簡単にまとめたページが掲載され、児童が見通しをもつことができる。 ・3年生の教科書には、「学び方・調べ方コーナー」を多く設け、初めて社会科を学習する3年生に身につけさせたい技能を指導しやすくなっている。 ・資料の大きさやレイアウトに工夫があり、資料の四隅の角がとれているなど、視覚的な配慮がされている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解させる内容 ・身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査に対する関心を高める内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方、調べ方コーナーに二次元コードが掲載されており、知識及び技能の習得に便利である。 ・本文が追及活動を中心とした記述になっており、主体的に学ぶことができるような工夫がされている。 ・「空間・時間・関係」の3つの視点から活動例が記載された「見方・考え方」が記載されており、社会的事象についての見方・考え方を育成することができる。 ・教科書の下部に「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追及・解決する力を身につけよう」など、児童が学習活動で意識する能力についての記載がある。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を展開するための工夫 ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉える工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に1時間の学習で見開き1ページの内容を学習するようなレイアウトになっており、1時間の学習が「問題発見・追及・解決」の流れになっている。 ・特設ページには、全学年SDGsに関するページとシールがあり、学習ノートにシールを貼るなどして活用することができる。 ・各単元で、現場で働く人々の声を取り上げた記載が多く掲載されており、自分たちが住んでいる社会の問題として主体的に学ぶことができるように工夫されている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の当該箇所に掲載されている二次元コードを読み取ることで、解説動画や技能習得のための動画、インタビュー動画など様々な動画コンテンツを活用することができる。 ・二次元コードを読み取ることで、ワークシートやシミュレーションなど8種類のコンテンツにアクセスすることができ、問題解決的な学習に活用することができる。 ・4年生「くらしを支えるの水」の学習では、身近な教材である琵琶湖から流れる水の行方と琵琶湖博物館が掲載されており、主体的に学習に取り組むことができる。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・文字やイラストは鮮明で読み取りやすく、児童の興味関心を高めることができる。 ・基本的に1時間の学習で見開き1ページの内容を学習するようなレイアウトになっており、1時間の学習が「問題発見・追及・解決」の流れになっているが、教科書に「問題発見・追及・解決」の文字の記載がなく、児童にとってはどのような活動をしているのかがわかりにくい。 ・3年生の教科書には、「学び方・調べ方コーナー」を多く設け、初めて社会科を学習する3年生に身につけさせたい技能を指導しやすくなっている。 ・教科書の当該箇所に掲載されている二次元コードを読み取ることで、解説動画や技能習得のための動画、インタビュー動画など様々な動画コンテンツを活用することができる。また、児童が楽しめるアプリケーションやワークシートがあり、学習のサポートが充実している。 ・ICT機器の活用例が紹介されており、指導の際に活用しやすい。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 地図)

NO. 1

発行者の番号		002		
発行者の略称		東書	◎	
項目	観点等	教科書名	新しい地図帳	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の活用方法 ・見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方 ・発達段階に応じた内容 		<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地図帳のきまり、使い方について、地図記号も交えて6ページにわたって詳しく掲載されている。 ・地図帳を使用する児童と同世代の児童がキャラクターとして登場し、地図の使い方や学習の要点が説明されている。 ・地図上に地名や山地名等、様々な細かい情報が掲載されている。 ・基本的な地図記号だけでなく、近年追加されたものや外国人向けのもの、世界の地図記号の掲載もあり、児童が地図を作成する際や地域学習等に活用できるように工夫されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決的な学習や、豊かな言語活動への展開につながるような、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり等の資料の工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・地図を作成する際によくある間違いや地図の見方、関連する知識等についてキャラクターの説明が掲載されている。 ・ユーラシア、北極の基本図は、北極海を中心としたものであり、経度の意味やイギリスが0度であることなどの説明が掲載されていることで、日本の位置についても思考を深めることができるように工夫されている。 ・日本で発生した自然災害の種類や場所などが見開きで大きく掲載されており、自然災害に備えたハザードマップの見方などを活用することで、どのような備えが必要なのかを考えることができるよう工夫されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が新しく適切に表現されているとともに必要に応じて選択、活用しやすい工夫 ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉える工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式の「ホップステップマップでジャンプ」が掲載されていることで、児童が主体的に地図帳に向かい合う工夫がされている。 ・巻末資料の「日本の歴史」のページでは、年表や世界との関わり、日本の領土について4ページにわたり掲載されており、6年生の歴史学習において視覚的に読み取りやすい工夫がされている。 ・日本の地形について、写真やグラフなどを活用することによって、山の高さや川の長さなどを比較しやすい。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることで、各都道府県の白地図や「都道府県カルタ」「都道府県クイズ」などの楽しいコンテンツを活用することができる。 ・「EduTown SDGs」「キッズ外務省」など学習に役立つ外部リンクが掲載されているので、児童の興味・関心に応じて自ら学習を深める工夫がされている。 ・滋賀県の地図内に、高島市を含む県内の特産品について絵で紹介されている。 	○
	総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・初めて地図帳を使用する3年生や復習のために、地図の仕組みや約束事をわかりやすく解説した地図学習のページが新設された。 ・クイズ形式の「ホップステップマップでジャンプ」が掲載されていることで、児童が主体的に地図帳に向かい合う工夫がされている。 ・降水量や山の高さ・湖の深さなど、比較しやすいように工夫された資料がたくさん掲載されている。 ・二次元コードを読み取ることで、授業の導入に活用できる動画や都道府県別の白地図を活用することができるので、児童の学びを深めることができる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 地図)

NO. 2

発行者の番号		046	
発行者の略称		帝国	◎
項目	観点等	教科書名	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の活用方法 ・見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方 ・発達段階に応じた内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の約束や地図帳の使い方について10ページにわたって詳しく掲載されており、地図帳を初めて使用する3年生児童が、地図の見方や地図記号に親しみ、楽しく学習できるよう工夫されている。 ・100万分の1とは別に160万分の1でまとめられた「広くみわたす地図」が掲載されており、地図帳を使い始めた3年生でも都道府県の名前や位置、特産品などが見やすい工夫がされている。 ・地図上の実際の距離を確認することができる「ものさし」が掲載され、距離や縮尺を学年や発達段階に応じて捉えられる工夫がされている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決的な学習や、豊かな言語活動への展開につながるような、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり等の資料の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・模式図や写真、領土を目立たせる色使いをすることで、日本の領土を捉えやすくする工夫がされている。 ・「地図で世界発見!」「地図で日本発見!」では、その都道府県や国の有名なものが掲載され、地図帳の導入として親しみやすいよう工夫されている。 ・「日本の自然災害と防災」では、日本で発生した自然災害の種類や場所、地震・津波・洪水ごとの被害と防災への取組が掲載されている。また、防災マップのつくり方が掲載されており、自分たちが住む地域の防災マップづくりに活用することができる。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が新しく適切に表現されているとともに必要に応じて選択、活用しやすい工夫 ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉える工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の読み取り技術を向上させるためのクイズ形式の「地図マスターへの道」が掲載されており、4年間で地図帳活用技能を向上させることができる。 ・日本の世界遺産について、名称や位置、写真で確認することができるのでわかりやすい。 ・「持続可能な開発目標(SDGs)」について、世界の様々な課題や解決のための取組が紹介されていることで、SDGsの視点から学習を深めることができる ・巻末「日本の歴史」では、歴史的な出来事が起こった場所と現在の都道府県の位置が比較して掲載されているため、自分たちの住む地域の歴史的なつながりが意識できるよう工夫されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることで、容易に都道府県毎の多種多様な統計資料を調べることができるので、課題解決のために自ら学習を深めることができる。また、他社と比較するとデジタルコンテンツの資料が豊富である。 ・「NHK for school」や「外務省」など、学習に役立つ外部リンクが掲載されているので、児童の興味、関心に応じて、自ら学習を深める工夫がされている。 ・滋賀県の地図内に、高島市を含む県内の特産品について絵で紹介されている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・初めて地図帳を使う3年生から6年生まで、学年や児童の発達段階に応じて使いやすい工夫がされている。 ・児童の主体的な学びを促す「トライ」「地図マスターへの道」が掲載されていることで、地図活用のスキルや社会科の知識を身につけ、学習を深めることができる。 ・自然、災害と防災、産業、貿易、SDGsなど、学年の学習内容に応じて活用できる多様な資料が掲載されている。 ・二次元コードを読み取ることで、容易に都道府県毎の多種多様な統計資料を調べることができるので、課題解決のために自ら学習を深めることができる。また、他社と比較するとデジタルコンテンツの資料が豊富である。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項目	観点等	教科書名	
		新しい算数	○
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・練習のページでは、デジタルで答え合わせができる。 ・単元の前半において、資質・能力を育むための吹き出しや補助発問などを設定している。単元の終末においては、当該単元で学習したことを「できるようになったこと」としてまとめられている。 ・毎時間のまとめが簡潔に表記されている。また、吹き出しが単元の前半よりも精選されており、見やすいよう工夫されている。まとめや吹き出しを見ると、1時間の学習内容が分かるように工夫されている。 ・まとめの後に学習したことを活用する「それなら」問題が適宜設定されており、問題解決の際に働かせた数学的な見方・考え方の価値を再確認し、学習を振り返ることができるようになっている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「それなら次は？」があり、学習計画を立てることで自分ごととして学ぶことができる。 ・単元内にある計算の方法や考えを説明する箇所に「(考えや理由を)説明しましょう」の指示文が設けられ、効果的かつ効率的に言語活動が取り入れられている。 ・単元の導入場面では、既習事項の確認に加えて、これから学習する内容を「問い」で示しており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・巻末の「考える力を伸ばそう」では、思考力、判断力、表現力等の育成を図る問題が用意されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「マイノートを作ろう」があり、ノートの書き方指導がしやすい。 ・単元の導入において、生活や学習の場面で算数を活用する内容を取り上げて、日常生活から課題を引き出すよう工夫されている。 ・まとめの下にある「『できるようになったこと』『次に考えてみたいこと』はどんなことかな」では、学びを日常の生活で生かす場が設定されている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の教科書の初めの2単元だけ大きくて薄いものとなっていて、導入期の児童がおはじきを置きやすいなど、使いやすい。 ・4年生以上に「私と算数」があり、生き方に触れることがキャリア教育につながる。 ・6年生に「中学校体験入学」があり、中学校の学習に触れることができる。 ・5・6年生に「プログラミングを体験しよう」があり、QRコードでスクラッチに接続が可能である。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた色使いで、読み取りやすさを実現している。 ・単元末は、「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」の3つで構成されていて、算数を生活や学習の様々な場面で活用する力が養える。 ・様々な考え方や解法のよさをあきらかにしていくような課題や吹き出しが、数多く掲載されている。しかし、学習の定着が不十分な児童が多い場合には、有効的に活用できない可能性がある。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 2

発行者の番号		004	◎
発行者の略称		大日本	
項目	観点等	教科書名	たのしい算数
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	・「新しい学習が始まるよ」があり、前の学習とつなげつつ、その単元の学びのポイントを考えられる。 ・知識、理解を助ける「まとめ」の部分が、「用語説明」と「特徴の発見」に色分けされており、一目で分かるようになっている。 ・2年生以降の巻末に全領域にわたり、練習問題に対応した補充問題「プラスワン」が掲載され、問題の難易度も示されている。 ・単元末の「たしかめ問題」では、個に応じた指導や自己評価に活用できるよう、工夫がされている。また、1年生のみ別冊があるが、各学年年間1冊の合本とし、振り返りや学び直しがしやすい構成になっている。	◎
思考力・判断力・表現力等	・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容	・「算数たまたまばこ」で、発展的な問題に取り組むことができる。 ・授業での児童の話し合いや教師の発問例を示し、考え方の視点を明確にした問いが設定されており、学習の流れが分かるように工夫されている。 ・思考力、判断力、表現力等を身に付ける問題が授業時間ごとに書かれており、すっきりと見やすいレイアウトになるように構成を工夫している。 ・特設ページ「読み取る力をのばそう」が、各学年に4つ設けられており、情報を読み取り、活用力、表現力をのばす問題が用意されている。	◎
学びに向かう力・人間性等	・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容	・「算数の学び方」「ノートの書き方」が巻頭にあり、指導しやすくなっている。 ・単元の導入に、生活や学習の場面で算数を活用する内容を取り上げて、日常生活において課題を引き出せるように問題の場面を設定している。 ・単元末の「学んだことを生かそう」では、日常生活において算数を見つけたり、学習したことを日常生活に生かしたりする内容を取り上げている。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・1年生の教科書ははじめの3単元だけ大きくて薄いものになっていて、導入期の児童がおはじきを置く活動などをしやすくしている。 ・6年生に「数学の世界へ」があり、今までの学習を振り返り、中学校の学習につなげることができる。 ・全学年でプログラミング学習が充実している。 ・既習事項について確認できるQRコードが、関連した問題のページに掲載されており、自由進度学習や自主学習、予習復習などで活用しやすい。	◎
総合所見 (発行者別)		・基礎的・基本的な問題が多く掲載されており、1年生のみ別冊があるが、他の学年は1冊にまとまっているので、振り返りや学び直しがしやすい。 ・各教科書には、はじめに前学年までの既習事項とその学年で学ぶ大切な事項が掲載されている。 ・これまでに児童が扱い慣れている図や考え方が系統的に取り入れられている。 ・自ら新しい問題を見出し、主体的に学習に取り組む態度を養うために、題材や見通しを持たせるための吹き出しの工夫がある。 ・水色と白で色分けされた問題が提示してあるため、児童の習熟度に合わせた指導に生かしやすい。	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 3

発行者の番号		011	◎
発行者の略称		学図	
項 目	観点等	教科書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	・「算数パトロール隊」では、よくある間違いを取り上げ、どのように解決するとよいか分かりやすく解説してある。 ・巻末では、「もっと算数」の中に「ほじゅう問題」のページが設けられ、基礎・基本の確実な習得ができるようになっている。 ・単元末には「ふりかえろう」が設けられており、学習した内容を振り返ることで、学習を総合的に見ることができるよう工夫されている。 ・練習問題も例題と同じサイズで表示されているため、見やすくかつ取り組みやすい。	◎
思考力・判断力・表現力等	・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容	・「なるほど算数」で、発展的な問題に取り組める。 ・問題を発見したり解決したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えを進めるためのヒントとなる吹き出しを多く取り入れている。特に、導入場面において吹き出しを多く取り入れている。 ・学習の終わりにまとめを示した後、次の学習の見通しがもてる内容の吹き出しを取り入れ、学びのつながりを意識することができるように工夫されている。 ・3学年以降の特設ページ「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、子どもが図や表を効果的に活用できるように設定されている。	○
学びに向かう力・人間性等	・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容	・SDGsと算数を結び付けて考えるコーナーが、全学年にある。 ・問題解決にいくつかの見方・考え方を示し、各々の内容や方法などがもつよさを、児童が今後の学習や生活の中で役立つものとなるよう設定されている。 ・単元の導入には、日常生活や身近なことから算数の問題を発見することで、興味、関心をもって単元の学習に入っていけるよう工夫されている。 ・特設ページ「振り返ろう つなげよう」では、これまで学習してきた内容を、総合的、発展的に学びを深め、次の学習へとつなげることができるように設定している。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・1年生に「どんなあそびをしてきたかな」があり、入学前の園や家庭での生活体験を振り返ることができる。 ・6年生に「中学校への架け橋」という別冊があり、正負の数、作図、比例のグラフについて学ぶことができる。 ・各学年にプログラミング学習があり、タブレットを使用しなくてもプログラミング的な思考を学ぶことができる。	○
総合所見 (発行者別)		・他社の教科書に比べ、B5ワイド版になっているので見やすい。問題解決にあたって絵やテープ図、表を使い、発達段階に応じて図を効果的に活用できる。 ・計算の仕方などが穴埋め形式になっているところが多く、思考力を養うためにはヒントが多すぎる。 ・プログラミング的思考に触れることで、筋道を立てて考えることの大切さに気づくことができる。 ・きまりを見つけるなど考え方のモデルとなるモンスターが9匹いて、児童の興味が湧きやすい反面、集中力を妨げてしまう懸念がある。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 4

発行者の番号		017	◎
発行者の略称		教出	
項目	観点等	教科書名	◎ ○
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	小学算数	◎
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	・大切な新出用語は、まとめとは別に、単元のはじめに出てくる。 ・各単元末では、4コマ漫画で学習のまとめをしており、漫画を読みながら学習を振り返ることができる内容となっている。また、ページの下部に「算数広場」や「ヒント」「法則」など、学習に生かせる内容が提示されている。 ・単元の途中で復習のページが設けられているところがあり、既習内容が定着しているかを確認できるようになっている。 ・各単元のまとめでは、「なるほど!」「だったら?」があり、学習内容を生かすことができないか考えられるように問いが設けられている。	◎
思考力・判断力・表現力等	・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容	・「算数ワールド」があり、発展的な問題に取り組める。 ・読み手に問いかけるような語り口調の吹き出しがあり、吹き出しを読むことで思考を整理していけるように工夫されている。 ・各単元の途中にある「つながるミカタ」では、各単元の見方・考え方を明らかにし、次の問題解決の際に再度その見方、考え方をすることで、学びの深まりを実感できるよう工夫されている。 ・単元ごとに、間違いやすい問題に対して「考えるヒント」が設定され、つまずきを解消できるようにしている。	○
学びに向かう力・人間性等	・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容	・「学びの手引き」の中に「友だちのノートを見てみよう」のページがあり、ノートの書き方を流れで示してあるので分かりやすい。 ・単元の導入場面では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようになっている。 ・学習の中で、「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」を設け、子どもが問いをもち、その問いをみんなで解決し、さらに新たな問いに向かう工夫がされている。 ・ページの最下部に「算数ひろば」があり、学校生活や様々な場面で算数を活用している場面が紹介されている。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・1年生には「いろいろなことがさんすうとつながるよ」があり、入学前の園や家庭での生活体験を振り返ることができる。 ・6年生には「数学へのとびら」があり、正負の数、確率、累乗、三角比について学ぶことができる。 ・各学年にプログラミング学習があり、1年生からタブレットを活用してプログラミングに挑戦できる教材がある。	○
総合所見 (発行者別)		・ブレ問題が丁寧であり、その後、「毎時の学習」、「単元のまとめ」の順番で掲載されているので、基礎基本を定着させる学びのサイクルが形成される。 ・「よくあるまちがいが」「考えるヒント」で、つまずきのポイントを意識させることができる。 ・短時間学習に対応した「単元のまとめ」の構成がされており、4コマ漫画をヒントにした振り返りができる。 ・学年末には「算数を使って考えよう」があり、複数の学習内容からなる総合的な問題に取り組むことができる。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 5

発行者の番号		061	◎
発行者の略称		啓林館	
項 目	観点等	教科書名	わくわく 算数
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・解説動画のQRコードが多く、自ら学ぶ際に活用したり、欠席がちな児童の学習支援をしたりすることに役立つ。 ・「めあて」に対応した「まとめ」が吹き出しや四角囲みで例示されており、主体的・協働的に学習することができるように構成されている。 ・単元末にある「学びのまとめ」の「たしかめよう」で、知識、技能に関する問題が取り上げられている。また、問題のねらいや学習したページを示して、振り返ることができるように工夫されている。 ・各単元の練習問題だけでなく、個々の習熟の状況に応じてさらに取り組むことができるよう、巻末に「もっと練習」が設けられている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな計算になるのかな」があり、発展的な問題に取り組める。 ・問題を発見したり解決したりする過程において、見通しを持ち筋道を立てて考えを進めるためのヒントとなる吹き出しを取り入れている。 ・思考を促す見方や考え方については、吹き出しの形を変えたり、学びのつながりが意識できる吹き出しにはマークを付けたりするなど、吹き出しを読み進めることで思考の流れが確認できるよう工夫されている。 ・「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけられるように、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子にはマーカーを付けて強調している。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくSDGs」があり、学習と社会問題を繋げて考えることができる。 ・単元の導入では、身近な事柄や既習事項を取り上げて、興味、関心をもって新しい学習へと入っていけるように工夫されている。 ・単元のまとめにある「ふりかえろう」では、単元全体を振り返る場面を設け、大切な見方・考え方などを確認することができるように設定されている。 ・単元末にある「算数ポケット」や「学びを生かそう」では、学習したことを算数や生活に生かして、算数の有用性を実感できるようにしている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のはじめの4単元だけ大きくて薄い教科書になっており、導入期の児童がおはじきを置く活動などをしやすくしている。 ・中学校での学習にスムーズに入っていけるよう、6年生には「数学へのとびら」があり、正負の数、作図、比例のグラフ、確率、累乗のグラフについて学ぶことができる。 ・「未来へのとびら お仕事インタビュー」（6年）というキャリア教育的視点のコラムがある。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・各学期の中間・期末に「復習」を配置し、既習事項の定着が確認できるように配慮されている。 ・巻末に「もっと練習」のページがあり、習得に十分な量の問題数・発展的な問題を多く取り扱っている。 ・QRコードの読み取りで活用できるデジタルコンテンツが充実しているので、ICT機器を利用することにより、児童へ身近で分かりやすい指導をすることができる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 算数)

NO. 6

発行者の番号		116	
発行者の略称		日文	◎
項目	観点等	教科書名	
		小学算数	○
知識及び技能	・背景にある概念や性質について理解を深めながら、数量や図形について基礎的・基本的な内容を身に付けさせる工夫	・単元末に学習を振り返って分かったことをまとめており、単元でどのようなことを学んだのかを確認できる。また、各単元の前に「次の学習のために」が設けられ、既習事項を復習しながら次の学習につなぐ工夫がされている。 ・定義はかっこ囲み、まとめは花のマークで囲んであるので、大切なことが視覚的に分かりやすくなっている。 ・巻末の復習ページの問題数が多く、さらに「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」とレベル別に取り組むことができる。	◎
思考力・判断力・表現力等	・見通しをもち筋道を立てて考える内容 ・具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする内容	・「なるほど算数」があり、発展的な問題に取り組むことができる。 ・計算の仕方を比べたり、説明したりする問題では、計算例や考え方を提示している。 ・各学年の特設ページに「たすのかな ひくのかな」や、「どんな計算になるか考えよう」があり、問題からどのような式を立てるとよいか考えるように工夫されている。 ・巻末に「もっとジャンプ」というページがあり、学んだことを柔軟に捉えて、論理的に考える力を育むことを目的とした問題が用意されている。	○
学びに向かう力・人間性等	・有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるような工夫 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容	・各単元のはじめに、児童の身近な事象や物を操作して考える内容などを題材として、単元の導入ページが設定されている。 ・単元末にある「使ってみよう」では、学んだことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや算数に関わる様々な話題が取り上げられている。 ・学習の終わりには、「〇〇の学習をふり返ろう」というコーナーがあり、学習を振り返り、まとめることで思考を整理し、新たな学びへの興味や関心を喚起するよう工夫されている。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・「レッツプログラミング」があり、全学年でプログラミング的思考の学習ができる。5・6年生はスクラッチと連動している。 ・1年生のはじめの3単元の教科書は薄く、はじめはお話になっていて、「算数」と感じないで、自然に学習できる。 ・6年の教科書には、「もうすぐ中学生」があり、正負の数、平方根、文字を使った式、図形、確率について学習することができる。	○
	総合所見 (発行者別)	・「しっかりチェック」、「たしかめポイント」で、基礎基本を身につけるために繰り返し学習ができる。 ・「しっかりチェック」の後、「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」のコーナーがあり、学びを広げる多彩な問題を扱っている。 ・単元前には既習事項を確かめる「次の学習のために」、巻末には既習の学習内容を確認する「〇学年までに学習したこと」が設けられている。ただ、全体的に考え方のヒントや間違えやすい所に注意を促すための吹き出しが多すぎるため、児童自身で考える部分が少なくなることが懸念される。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項目	教科書名	新しい理科	◎
知識及び技能	<p>観点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使いおよび事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を図る学習過程「学びのライン」を設け、一本のラインかつ一段組みで繋ぎ、学びの流れを分かりやすく視覚化している。 ・「学びのライン」の冒頭である単元の冒頭には、スムーズに学習に入れるよう、簡易的な体験や自然素材との触れ合いなどが仕込まれる「レットトライ」が設定されている。その中で、関連する既習の単元の実験や観察の様子について、児童への問いを示して思考を促しつつ興味関心を高め、デジタルコンテンツの動画視聴を通して確認することができる。 ・野外観察を行う場面をはじめ、安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面では、もれなく「きけん」マークとともに、禁止事項とその理由が強調して示されている。また、感染症対策に特に配慮が必要な実験等では、前後に手洗いをする記述などが設けられている。 ・巻末の「理科の調べ方を身につけよう」において、ノートの記録方法や発表の仕方などが活用しやすくまとめられている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を着想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を着想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方のヒントとなるキャラクターのコメントが、単元導入の問題を見出す場面においては教材の差異点や共通点に触れながら、実験・観察後の考察場面においては多面的な視点に触れながら、児童の思考を促進する適切な支援内容になっている。また、キャラクターの背景が着色されているなど視覚的にも分かりやすくなっている。 ・デジタルコンテンツ「デジ活」が、単元導入の問題を見出す場面や、観察・実験について予想する場面や、実験後に交流して妥当な考えをつくり出す場面などで設けられており、コンテンツにより、児童が根拠をもって問題発見や結果のまとめなどを進めたり、教師が交流での児童の思考の流れを想定・整理したりするのに大変役立つものとなっている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連した問いとして「広げよう！理科の発想」、コラム・読み物として「理科の世界 探検部」が設けられており、いずれも単元中の関連の高い実験や観察後のタイムリーなタイミングで掲載されている。 ・前者は、学んだことを活かして日常生活で出会う事象などについて児童が考えたい問題となっており、自分なりに考えることで理科の発想力を広げることをねらいとしている。後者は、STEAM教育やSDGsなど今日的な課題や、伝統文化に触れた内容となっており、理科の学びが深まり、有用性が実感できる。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で育成すべき資質・能力が確実に身につくよう、巻末に「1年間を振り返ろう」が設けられている。4領域において、知識の振り返りだけでなく、問題解決の力や理科の見方・考え方についても振り返れるようになっている。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画やシミュレーション教材が豊富で、理解や考えを深めたり、交流を促進したりする内容が充実している。特に、6年生の月の形の見え方の変化についてのシミュレーション教材は秀逸である。また、教科書の「学びのライン」に対応した「理科ノート」もデジタルコンテンツで設けられており、児童の実態に応じた問題解決学習が展開できる支援も充実している。 ・「理科の世界 探検部」において、働く人へのインタビュー形式のコラムにより、社会的・職業的自立に向けた態度の基礎が育成できるようなキャリア教育が展開されている。 ・滋賀県に関する資料として、4年で、大津市の桜の風景（P198）、5年で、永源寺ダム（P71）、安曇川・愛知川・野洲川（P76デジタルコンテンツ）、大津市科学館（P155）、6年で、ピワコオオナマズ（P71）、琵琶湖博物館（P92）、安曇川（P97）が掲載されている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を図る学習過程「学びのライン」で学びの流れを分かりやすく視覚化している。単元の導入でスムーズに学習に入れるよう、簡易的な体験や自然素材との触れ合いなどが仕込まれる「レットトライ」が設定されている。関連する既習の単元の実験や観察の様子について問いを示し、デジタルコンテンツの動画を通して答えを確認する中で、単元の学習への興味関心を高めることができる。 ・学年に応じた問題解決の場面で、視覚的にも分かりやすいキャラクターのコメントが児童の思考を促進する適切な支援になっているとともに、デジタルコンテンツ「デジ活」が、児童が根拠をもって問題発見や結果をまとめるのに大変役立つものとなっている。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画やシミュレーション教材が豊富で、学習過程「学びのライン」に対応した「理科ノート」も設けられており、児童の実態に応じた問題解決学習の展開に活用できる。 ・紙面はA4版であるが重量が軽く取扱いしやすい。児童の情報受容を念頭に置いた適度な余白、箇条書き間の余白などを設けるとなお良い。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 2

発行者の番号		004		
発行者の略称		大日本	◎	
項目	観点等	教科書名	たのしい理科	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使いおおよび事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を図る学習過程は、見つけよう、調べよう、伝えようの大きく3つの過程がそれぞれ、緑、橙、青の3色のラインで繋がれており、問題解決の過程のどこにあたるか分かりやすく示している。 ・単元の冒頭には、興味関心を高める写真資料とともに「問題を見つける」が設定されている。既習の単元の実験や観察の様子については、本単元導入に写真や内容のまとめが掲載されている場合もあるが多くはない。 ・安全な観察・実験を行うための配慮が必要な場面では、「注意」マークと赤字で強調して注意事項が示されている。また、巻末の「わたしたちの理科室」では、器具の正しい準備や片付けの仕方など、理科室のきまりも掲載されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を着想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を着想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 		<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入に問題を見出す場面の写真が大きく掲載されていたり、実験・観察後の考察において、考え方のヒントとなるキャラクターのコメントが掲載されていたりするなど、問題解決に向けた児童の思考を促進する支援内容になっている。 ・学年ごとに設定された思考力、判断力、表現力等を主として育成する過程を目立たせる星印が付けられているが、それを意識しやすいかについては疑問が残る。 ・考えたこととの交流を支援する黒板を使ったまとめや話し合いの例、PCやタブレット端末などを用いた表現活動の場が例示されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連した学習として「深めよう」、コラム・読み物として「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」が設けられており、基本的に単元の終末に掲載されている。 ・前者は、学習した内容をもとに別の課題に取り組むことで深い学びを目指すもので、後者は、学んだことを日常生活や自然現象などに当てはめ、理科を学ぶ意義や有用性を認識することができる。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働かすこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習内容にあたる資料には、「中学校で学ぶこと」マークをつけるなど、小中学校の学習内容の円滑な接続に配慮されている。 ・タブレット端末の操作方法や情報通信ネットワークなどの活用方法についての取扱いが掲載されている。デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画等を用いて掲載されている。シミュレーション教材は数点掲載されている。 ・科学史や科学技術に関する話題、職業として科学に携わっている人々の活動について、「理科と仕事」マークを付けて掲載されている。自然科学の世界への興味、関心を高めるとともに、地域や社会における産業の役割の理解に役立つ内容になっている。 ・滋賀県に関する資料として、いずれの学年でも掲載がない。 	○
	総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を図る学習過程は3色のラインで繋がれており、過程のどこにあたるか分かりやすく示している。単元の導入では、興味関心を高める写真資料とともに「問題を見つける」が設定されている。既習の単元の実験や観察の様子については、単元導入で写真や内容のまとめが掲載されている場合もあるが多くはない。 ・実験・観察後の考察において、考え方のヒントとなるキャラクターのコメントを全文ではなく途中までの掲載にとどめており、問題解決に向けた児童の思考を促進する支援内容になっている。学年ごとに設定された思考力、判断力、表現力等を主として育成する過程を目立たせる星印が付けられているが、それを意識しやすいかについては疑問が残る。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画等を用いて掲載されている。シミュレーション教材は数点掲載されている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 3

発行者の番号		011	
発行者の略称		学図	
項目	観点等	教科書名	
		みんな学ぶ 小学校理科	◎
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使い方および事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を図る学習過程は、問題を見つけよう、問題、予想、計画、観察・実験、結果、考察、分かったことのような学習展開を基本とし、このような過程を繰り返し学習することで、新しい課題や変化に対しても、自ら問題を見出し解決する力を培うことをねらいとしている。 ・単元の冒頭には教材へといざなう写真資料のほか、「できるようにになりたい」において、単元の特性に合わせて培いたい3つの力（理科モンスター）が示され、単元の中でその力を育てられる場面に「モンスター」のキャラクターを掲載している。本市の児童の実態に照らすと、単元の導入は、簡易的な体験などを通して問いを示し、教材や内容への興味・関心をより高めていくことが適しているものと考えられる。 ・実験器具の使い方は、当該ページや巻末に示されており、注意点は赤字で掲載されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の力を育むため、実験・観察後の考察において、考え方のヒントとなるキャラクターのコメントが、児童の思考に合わせたスモールステップの適切な支援となるよう工夫されている。 ・自分のや予想や考えを整理して分かるように伝え合う、多様な考えをもとに学びを深め合うなどの対話を促す内容が掲載されている場面も見られる。 ・単元末の「ふりかえろう」では、日常生活に見られる自然の事物や現象について、実験・観察を通して分かったことををもとに、説明する活動が設定されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが生活の中に生かされていることが、「もっとしりたい」「やってみよう」「科学者を知ろう」などの資料で紹介されている。「やってみよう」は、単元の実験結果などを踏まえた児童の知的好奇心を刺激するものが多く掲載されている。 ・「もっとしりたい」は、SDGsの目標と関連して「今までの学習とつながること」「自分自身が関心をもったこと」「何かできそうなこと」について調べたり考えたりする場面も設けられている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働かすこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の「もっとしりたい」の資料では、6年生の「人や動物の体」の単元など、中学校での学習内容につながる内容も多く取り入れられており、学習意欲を喚起させる構成になっている。 ・6年生を中心にICTを活用すると学習に役立つ場面にICTマークを示しているが、タブレット端末で記録写真を撮影するということが主である。デジタルコンテンツは、オリジナルの動画もあるが、NHK動画等を多用して掲載されている。シミュレーション教材については、3年生の昆虫の体のつくりを中心に比較的教材数が多い。 ・キャリアプランニング能力を育むために「わたしの自由研究」などの資料で将来への希望や願いをもてるよう、科学者の活動の様子などが掲載されている。 ・滋賀県に関する資料として、いずれの学年でも掲載がない。 	○
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見つけよう、問題、予想、計画、観察・実験、結果、考察、分かったことのような学習展開を基本とし、このような過程を繰り返し学習することで、新しい課題や変化に対しても、自ら問題を見出し解決する力を培えるようになってきている。また、「理科モンスター」という複数のキャラクターを登場させることで、各学習課程でつけたたい力を児童にわかりやすく提示している。 ・学んだことが生活の中に生かされていることが、「もっとしりたい」「やってみよう」「科学者を知ろう」などの資料で紹介されている。単元の実験結果などを踏まえた児童の知的好奇心を刺激する資料や、SDGsの目標と関連して「今までの学習とつながること」「何かできそうなこと」などについて調べたり考えたりする資料が掲載されている。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画もあるが、NHK動画等を多用して掲載されている。シミュレーション教材については、3年生の昆虫の体のつくりを中心に比較的教材数が多い。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 4

発行者の番号		017	
発行者の略称		教出	◎
項目	教科書名	未来をひらく 小学理科	◎
知識及び技能	観点等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使いおおよび事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該学年における問題解決の力を育成するために働かせたい考え方を「〇年のチカラ」として示されており、児童が意識しながら学習できるようになっている。 ・より妥当な考えを作り出す問題解決の力を育むため、実験・観察後の考察において、考え方のヒントとなる理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの発言が「見方のカギ」「考え方のカギ」として強調されているが、まとめとほぼ同様の内容となっているものも少なくない。 ・問題解決の過程ごとに、児童が自らの予想を伝え合ったり、得られた結果をもとに考えを発表し合ったりする場面を掲載している。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と学習内容との関連を図るために、学習内容と関連のある専門家からの「メッセージ」を掲載し、学習との関わりを意識できるようにしている。 ・科学読み物「科学のまど」や「広がる科学の世界」などで学習内容と関連した実生活の事象を紹介し、学びの価値を実感できるようにしている。 ・「チャレンジ」でさらに詳しく調べるための観察や実験が掲載され、「資料」では、発展的な学習内容や学びを広げる資料が掲載されている。 ・単元導入の「学習前の〇〇さん」と単元末の「学習後の〇〇さん」は、自らの学びを振り返るための資料として掲載されている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広がる科学の世界」では、中学校以上で扱う内容が示されており、中学校の学習に興味を持てるようになっている。また、「はってん」や「学習のつながり」で、関連する中学校の内容が掲載され、小学校と中学校の連携を意識できるよう配慮されている。 ・実験の様子をタブレット端末などで写真や動画で記録する際のポイントなどが掲載され、端末利用の注意点にも触れた資料がある。デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画等を用いて掲載されている。シミュレーション教材は1点掲載されている。実験器具の使い方の動画は一通り網羅されている。 ・第6学年「人の生活と自然環境」では、全国の実環境保全活動や自然保護活動の取組を紹介し、様々な分野の職業が環境と関わっていることに児童が気づけるようになっている。 ・滋賀県に関する資料として、6年で、びわ湖フローティングスクール(P198)が掲載されている。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」という学習過程が1本のラインで分かりやすく表示されている。また、各学年で主に育成を目指す問題解決の力を育てる場面には、「〇年のチカラ」が設定されており、児童がつけたい力を意識できるようになっている。 ・問題解決の力を育む実験・観察後の考察において、考え方のヒントとなる理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの発言が「見方のカギ」「考え方のカギ」として強調されているが、まとめとほぼ同様の内容となっているものも少なくない。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画等を用いて掲載されている。シミュレーション教材は1点掲載されている。実験器具の使い方の動画は一通り網羅されている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 5

発行者の番号		026	◎ ○
発行者の略称		信教	
項 目	教科書名	楽しい理科	
	観点等		
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使い方および事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 		
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 	<p>出版社から見本本の送付がなく(長野県外については都道府県と政令指定都市のみの送付)、客観的に評価できないため、調査研究の対象としない。</p>	
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 		
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		
総合所見 (発行者別)			

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 理科)

NO. 6

発行者の番号		061	
発行者の略称		啓林館	
項目	観点等	教科書名	わくわく理科
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージや、既習の学習内容や生活経験などと関連付けながら問題解決を図る過程の中で、学習をまとめること ・観察、実験において、器具や機器などの使いおよび事故防止等の安全に関する内容 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れを見える化した「学びのサイクル・ライン」で、見通しをもって観察・実験に取り組むことができるようになっている。また、観察・実験の手順が「学びのライン」に沿って丁寧に記述されている。図や写真も分かりやすいものが使用されているとともに、適度な余白や行間が設けられており、紙面の内容を大変把握しやすい。 ・単元の導入には、「思い出そう」が設けられ、既習事項や日常経験を確認、共通理解した上で、無理なく「問題をつかもう」に入る流れになっている。 ・観察・実験では、「注意マーク」と注意文や、文字とアイコンを組み合わせた「安全」マークが設けられている。6年の「水溶液の性質」の単元では、気温の高い時期に配当することで、事故のリスクを減らし、実験の成功率を高めることにも配慮されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では差異点や共通点を基に問題を見いだす、第4学年では既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第5学年では予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第6学年ではより妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力を育成する工夫 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の力を育むため、実験方法の計画、実験・観察後の考察などにおいて、考え方のヒントとなるキャラクターのコメントに、「見方・考え方マーカー」が引かれており、子ども主体の問題解決に向けた、適切な支援内容になっている。 ・デジタルコンテンツのうち、実験計画や考察をサポートするものもいくつか設けられているが、教室で実際に児童が交流する場面を想定した教材というより、穴埋め式の問題を解く過程を経るなどして、協働的な学びではなく主に児童個人での解決をサポートする形式で構成されている。 ・理科の見方・考え方を働かせることが日常生活でも役立つ場面を紹介しており、これに触れることで、学習意欲とともに理科の見方・考え方への意識が高まっていくと考えられる。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物および発展的な内容 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活や実社会と学習内容との関連を図るために、単元内に「理科の広場」、単元末に「活用しよう」、「くらしとリンク」を設けており、理科の学が意義や有用性が伝わるような話題が多く掲載されている。 ・学習内容と関連した実社会でのキャリアについて、働く人へのインタビュー記事が多く掲載されており、その資料性も高い。 ・「自然を大切に」「SDGs」マークが適所に設けられ、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を育むとともに、環境保全の取組を進める国際社会の情勢に触れることができる。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習内容には、「中学校」マークが付けられ、義務教育9年間を見通した教科担任制のあり方などに配慮されている。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画等を用いて掲載されており、シミュレーション教材も掲載されている。単元末には、学習内容の振り返りができる「補充問題」やその解説動画もデジタルコンテンツに掲載されている。また、実験器具などタブレット端末でも活用できるイラストデータ集も掲載されている。 ・「理科の広場」や「くらしとリンク」では、学習内容に関連した職業や人物を紹介したり、働く人のメッセージも紹介したりするなど、理科の学習と職業がつながることが意識できるようになっている。 ・滋賀県に関する資料として、3年で長浜市の花火大会(P159)、6年で畑への散水の様子(P196)、琵琶湖博物館(P209)が掲載されている。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れを見える化した「学びのサイクル・ライン」で、見通しをもって観察・実験に取り組むことができるよう工夫されている。分かりやすい図や写真、適度な余白や行間が設けられており、紙面の内容を大変把握しやすい。 ・問題解決の力を育むため、実験方法の計画、実験・観察後の考察などにおいて、考え方のヒントとなるキャラクターのコメントが子ども主体の問題解決に向けた適切な支援内容になっている。デジタルコンテンツのうち、実験計画や考察をサポートするものもいくつか設けられているが、教室で実際に児童が交流する場面を想定した教材ではなく、主に児童個人での解決をサポートする形式で構成されている。 ・デジタルコンテンツは、オリジナルの動画、NHK動画、シミュレーション教材等が掲載されている。単元末の「補充問題」やその解説動画のデジタルコンテンツで理解しやすくなっている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 1

発行者の番号		002	◎
発行者の略称		東書	
項 目	観点等	教科書名	新しい 生活
知識及び技能	・生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容	・下巻の紙面右端に「国語：話をつなごう」、「算数：どちらが長いかな」など、単元の学習と関連し、他教科等の学習成果を生かせる場面が具体的に示されている。 ・安心・安全、習慣や技能に関して、具体的な学習活動に即して身に付けられるように紙面右側に「やくそく」を掲載し、「なににきをつければいいかな」と問いかけ、児童自らが考えながら習得するように工夫されている。 ・巻末に生活科の学習で身に付く習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が添付され、各単元の最初の紙面には、関連ページ番号が記載されている。 ・「やってみよう」等のコーナーがあり、児童が学習してきたことを実生活で発展させ実践できることが示されている。	◎
思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえる)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示	・観察カードの例示があり、大事なこととして「みつける」(五感を通して気付く)「くらべる」(他のものと比較する)「たとえる」(知っている物と似ている所をさがす)等が表記されていて、分析的に考え表現力を高められるようになっている。 ・様々な形の学習ワークシートの例示がある。(特に下巻)ワークシートに矢印が描かれ児童自身が思考の流れを意識できる。また、記入したワークシートには、児童自身が色分け、線や丸、矢印を絵描いているものがあり、分析的に考える行動を促している。 ・気付いたことを整理し、表現する方法を例示した「まとめようつたえよう」が下巻末に設けられている。	◎
学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示	・上巻では植物をアップで写した写真を「これはなにかな」と吹き出しをつけ、クイズにしたり、下巻では「どんなめ 何のたね」でトウモロコシやアボカドなどから芽が出ている写真を二次元コードで載せたりして、児童が興味をもつように工夫されている。 ・紙面左上に活動内容を示した小単元名があり、特に下巻では、多くの小単元名の下に?マークと「どんな〇〇かな」と問いかけがあり、児童の興味・関心を高め、対象に直接働きかける意欲を引き出している。 ・単元の終わりに「やってみよう」等のコーナーがあり、児童が次の課題を見つけ、次へ繋げるきっかけを作っている。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・スタートカリキュラムのページには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が網羅されており、小学校入学直後の児童の姿を表した挿絵と、保護者向けの解説で具体的に示されている。 ・下巻の最後に、「3年生も楽しみだな」というページを設け、3年生で始まる様々な教科等への興味を育てる工夫をしている。 ・町の様子を見る時に、社会科につながる空間認識の広がりを見覚的に例示したり、育てた野菜の様子を伝えるときに、理科の科学的な見方・考え方につながる姿を例示したりしている。	◎
総合所見 (発行者別)		・A4判で情報量が豊富で、図や写真等がバランスよく配置されレイアウトがよく、見やすい。 ・発表時の表現活動の多様な例示やワークシートの工夫、児童が分析をしているワークシートの例示など児童が思考を深めたり、表現力を高めたりする工夫が随所に見られる。しかし、低学年が対象に関わるときの思いを表しやすく、台詞を考える時に相手の気持ちを考えるなどの読み解く力が培われる劇やペープサートの例示が少ない。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 2

発行者の番号		004	◎
発行者の略称		大日本	
項 目	観点等	教科書名	たのしい せいかつ
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容 	<ul style="list-style-type: none"> 「せいかつことば」「きらきらことば」があり、人とつながる言葉や生活の中で使う言葉、季節ならではの言葉などの記述が多く、児童の語彙力の向上を図ることができる。 巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」の中や、学習活動中のページの中に自然災害や車の事故などから身を守る方法や、基本的な生活習慣を確立し、健康な心身を養えるよう、規則正しい一日の生活を記載し、自分の健康や安全を自分で守る意識を育てることができるように工夫されている。 他教科でついた力を生活科の活動に活用することができるよう意識されている。特に合科的・関連的な指導が効果的と思われる学習活動には、教科名が示されている。また、巻末「がくしゅうどうぐばこ」には図画工作科や国語科など他教科と関連させて学習できるように、他教科の知識・技能が整理されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえば)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示 	<ul style="list-style-type: none"> 上巻では、動作化・劇化・言葉や絵など、下巻では地図やクイズ、ICT機器を活用した発表、ポスター、招待状やお礼の手紙などの具体例が豊富に示され、発達段階に応じた表現活動が例示されている。 児童の発達段階に応じた学習活動の例示が多い。町探検の時の「道カード」では、2年生の児童の空間認知に合わせた無理のないカードを使用しており、児童の思いや願いを表しやすいようになっている。 下巻、巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」の中に調べるときや伝えるときの方法や観点がたくさん記載されていて、表現力を高めることができるようになっている。 「このようきをつかってみようかな」「もっとようきをおおきしたらどうかな」などの吹き出しがあり、友達と対話する形で投げかけられているので、分析的な思考をしながらの活動につながる。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示 	<ul style="list-style-type: none"> 対象に直接働きかけている児童の例示と言うよりも、教科書の写真を見れば、やってみたいと感じる箇所が多い。例えばモノクロの秋の写真である。モノクロの写真を用いることで野外に観察に出かけるまでに秋の色を探すとこの視点をはっきりし、より鮮明に葉の色についての発見ができることになる。 「町探検」では、春は「きらり」をキーワードにして、気になった場所やものや人を見つけ、次への学習へつなげるよう「すごろく」で振り返っている。秋は、春に気になった人の「きらり」を見つけようと様々な職種の人にインタビューに行く活動を設定し、それぞれのよさに気づくことができるような工夫がされている。 色の違う吹き出しを使い、次の課題につながるようなつづやきを記載している。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムのページの「できるよ、やってみるよ」では、「おなじかな、ちがうかな」などの投げかけがあり、子ども園で培った力について自分ができているかチェックできるようになっている。 ICT機器を使って活動中に写真を撮る、拡大して観察する、その場にはいない人と話す、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、生活科の活動をより深めることができるようになっている。 身近な地域で働いたり、生活したりしている人々に繰り返し関わり、そうした人々の思いにふれることを通して、その場所や人、役割に気づくとともに、地域の良さに気づき愛着をもてるように工夫している。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習活動への意欲付けとなるような箇所が多い。モノクロの秋の写真など、単に児童の意欲付けだけでなく、学習のねらいに導くものとなっている。 友達に伝える時に動作化を用いたり、町探検の導入として道カードを用いたり、児童の思考に合わせた学習活動が展開できる構成になっている。 児童の興味・関心を踏まえた資料「がくしゅうどうぐばこ」の内容が充実している。さまざまな学習場面での活用が想定されるが、目次が全体の目次の中に記載されていると、より活用しやすい。 1年生のはじめの大単元「みんななかよし」では、小単元の区切りが分かりづらい。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 3

発行者の番号		011	◎
発行者の略称		学園	
項 目	観点等	教科書名	◎
知識及び技能	・生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	◎
思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえば)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示	・「ものしりノート」では、「見る」「さわる」「たとえる」といった対象に働きかけるポイントを示している。それだけではなく、キャラクターが具体的な言葉を発することで、児童の思考が進むように工夫されている。 ・ワークシートの見本が大きく提示されており、絵や文章の書き方が具体的に示されていてわかりやすい。また単元が進むにつれて、ワークシートが絵中心から文字数の多いものとなっており、発達段階を考慮した表現の仕方がされている。 ・「まなびかたずかん」では、発表がお話やクイズ、紙芝居、劇、ペープサートなど多様な表現方法で示されている。 ・キャラクターの個性が強く(髪型など)学習活動から気持ちが離れる心配がある。	○
学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示	・単元の最後に「もっと〇〇したい」が記載されていて、これまでの活動を通じて得た自信をもとにさらなる活動・課題に広げたり自分自身の生活につなげたりし、児童自身の生活が豊かになるように構成されている。 ・上巻の最終単元ではこれまでの成長を振り返る場面、下巻の最終単元では自分の変容を自分だけでなく、友達や家庭などから教えてもらう構成になっているが、活動例がもっとあるとよい。特に上巻では、自分の成長を振り返る活動例が少ない。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・スタートカリキュラムのページでは、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿のうちのいくつかが「じぶんでできるよ」(自立心)、「こまったらそうだんするよ」(言葉による伝え合い)などの言葉で示されている。 ・下巻にある「かく地のようす」のページには、季節の変化のイラストや各県の祭りの写真が掲載されており、自分の地域の様子や祭りを振り返ったり、3年生以上で学習する理科や社会につなげたりすることができる。 ・教科書のいたるところに二次元コードが記載されていて、朝顔の種をまき方など動画で説明されているところがあり、わかりやすい。タブレット端末などのICT機器、インターネットの活用場面のほか、それらを使用する際の注意や約束を示すことで、情報モラルの意識づけも図られている。	○
総合所見 (発行者別)		・1年生の朝顔に関する学習内容が、1つの単元にまとまっており、目次で何月に学習するかわかるように工夫されているので、児童が学習活動の見通しをもちやすくなっている。 ・児童が興味をもちやすい鮮やかな色合いの写真がたくさん記載されている。 ・飼育や栽培の仕方、おもちゃの作り方などについて、関連した動画コンテンツがあるので、視覚的に把握することができる。 ・キャラクターの個性が強く、学習活動から気持ちが離れる心配がある。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 4

発行者の番号		017	◎
発行者の略称		教出	
項目	観点等	教科書名	せいかつ
知識及び技能	・生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容	・巻末の資料「学びのポケット」の中で知識・技能が整理されており、他教科の学びと関連させて学習できるようになっている。またこれらは、各活動ごとに関連ページが示されている。 ・「やくそく」の中で、観察に出かける際、触ってはいけない危険な昆虫についてなどその単元に必要な安全事項や、野外の学習活動から帰ってきた後には、手を洗うように促す手洗いマークが掲載されている。 ・巻末の「まなびのポケット」には、「あんぜんとけんこう」(上巻)「けんこうな生活」「おぼえてあんぜん」(下巻)が掲載されており、日常生活で安全に過ごせる技能や習慣が身に付くように配慮されている。 ・生活上必要な習慣・技能についての記述が紙面右側に「できるかな」等で示されている。	◎
思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえば)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示	・学習活動のページ右側に「ヒント」があったり、イラストの「?マーク」で児童への問いかけがあったりと分析的に考える活動や創造的に考えることにつながる視点が示してある。 ・単元ページ中に、付箋を活用する学習活動や板書が、巻末の資料「学びのポケット」の中に考え方の様々な方法がXチャートやウェビングなどの思考ツールを用いて記載されており、自分の思考を見える化し、組み立てたり整理したりできる力がつくようになっている。 ・巻末の「学びのポケット」では、観察カードの記録の仕方が詳しく、下巻には多様な調べ方や発表の仕方が記載されている。また、各単元の振り返り「なにをかんだかな」には、体験活動に適した表現活動が例示されていて、表現力を高める工夫がされている。	◎
学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示	・「もしも生き物のことばがわかるマイクがあったら」など、「もしも」のコーナーが設定されており、低学年ならではの豊かな発想を引き出し、興味をもって活動に取り組めるようになっている。 ・各単元の振り返りに自信や意欲のバロメーターとして「ぐんぐんハシゴ」が掲載され、自己評価しやすい工夫がされている。また、教科書に書き込める空欄のコーナーがあり、絵や言葉などで記し、学びの軌跡を残すことができるようになっていて、自分の成長を自覚したり、次の課題(やってみよう)につながったりする工夫がされている。 ・保護者と連携し、自分の成長や良さについて認めてもらえるよう、学んだことを家族に話す「つたえたいな」という活動が設定されている。 ・大単元のはじめに「わくわくスイッチ」という題のYES/NOチャートがあり、児童の興味を引き出し、活動の見通しをもたせるための手立てとなっている。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・スタートカリキュラムのページでは、保育園や幼稚園の時していた活動の中で身に付けた「幼児期に育てほしい10の姿」が網羅され、ページ下にイラストで記載している。また、その力を小学校生活で発揮している写真がそのイラストの上に載っている。 ・中学年以降の学習への見通しや期待がもてるように、「はってん」のコーナーや各教科の学習を記載したページを設けている。 ・「えがおのひみつたんけんたい」では、仕事の意義に気づき、働く人への憧れをもてるようにしており、キャリア教育につながる。	○
総合所見 (発行者別)		・生活科の教科目標の中から6つの力(「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちようせんする」「じしんをもつ」)を抽出し、「サイコロのアイコン」として明示しており、児童の思考を促す工夫がされている。 ・巻末の「まなびのポケット」には、「あんぜんとけんこう」(上巻)「けんこうな生活」「おぼえてあんぜん」(下巻)が掲載されており、日常生活で安全に過ごせる技能や習慣が身に付くように配慮されている。 ・「デジタルずかん」、「わくわくシート」など、小単元ごとに学習と関連した教材につながる二次元コードが記載されており、児童の興味を引き出し、考えを広げたりするために有効である。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 5

発行者の番号		026	◎ ○
発行者の略称		信教	
項 目	教科書名	せいかつ	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 出版社から見本本の送付がなく(長野県外については都道府県と政令指定都市のみの送付)、客観的に評価できないため、調査研究の対象としない。 </div>	
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえば)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示 		
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示 		
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		
総合所見 (発行者別)			

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 6

発行者の番号		038	◎
発行者の略称		光村	
項 目	観点等	教科書名	◎
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容 	せいかつ たんけんたい	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえる)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示 	<ul style="list-style-type: none"> 「学び方のヒント」が全ての小単元にあり、つまずいたときや試行錯誤をするときに大切になる活動・表現のバリエーションのヒントを示している。 イラストや写真に「まをふわふわのぬのにしたから よくくつつくね」や「もっとまわるようにしたいな」など児童の思いを表した吹き出しが多く、そのつぶやきで分析的に考える活動や創造的に考える活動を促している。 朝顔の種をまく場面では日が当たるところと当たらないところを、またおもちゃ作りの場面では様々な物を転がして写真で示して比べながら分析的に考える活動を促している。 ページの見開きの下部に「どうすれば」「どのように」「どんな」のように、試行を促す箇所が設けてあり、考える視点をもちやすくなっている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示 	<ul style="list-style-type: none"> 全単元をスリーステップで構成し、導入のページと子どもたちの写真をダイナミックに配置し、活動への思いや願いがもてるようになっている。 友達との対話の中で、自分の活動をより詳しく、様々な視点で振り返ることができるようになっている。 全ての小単元に「ふりかえろう」を設定している。「感情」と「思考・態度」の両面から振り返ることができ、自分の課題をもって次の活動へつながる工夫がされている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムページに幼稚園教育要領などに示された「自立心」「共同性」などの「幼児期までに育てほしい10の姿」を網羅し、写真・イラスト、児童のつぶやきで示している。 「こんなこともあるかもね」などのコーナーでは、自分の個性を大切にしながら学んでいく児童の様子がかかわれている。失敗しても大丈夫、人と違っててもいい、自分が感じたことや思ったことが大事だと伝えている。 2年生の生活の学習をふりかえって、3年生以降で学習する社会科、理科との関連が図られている。 子どもたちが自分の地域に愛着をもつことができるよう、地域の方々との交流の例を様々な形で繰り返し提示されている。 様々な対象とのコミュニケーションを促すという観点から、ICT機器の活用例を意図的、計画的に位置づけられている。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 虫や植物が写真でカードになっており、児童が持ち運びしやすい。 各単元の振り返りの場面では、児童のつぶやきによる気づきの例示があり、気づきを自覚したり、関連付けたり、視点を変えて捉えたりと「深い学び」に導くような例示がある。 関連する学習内容が、一つの単元にまとまっていて、単元の流れが途切れずに見通しをもつことができる構成になっているが、学習内容が時系列となっていないため、使いにくい面もある。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 生活科)

NO. 7

発行者の番号		061	◎
発行者の略称		啓林館	
項 目	観点等	教科書名	せいかつ
知識及び技能	・生活科と各教科等との関連や、実生活(家庭・地域等)との関連を意識した内容 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる内容	・「こんなときどうしよう」問いかけるコーナーがあり、考えながら日常生活に必要なルールやマナーなどが身につくように工夫されている。 ・危険な生物を確認できるような写真や、活動後に手を洗うように促す手洗いマークを掲載している。また、巻末の「がくしゅうずかん」では「けんこうにすごそう」「あんぜんにすごそう」と日常生活で安全に過ごせる技能や習慣が身につくようになっている。 ・上巻では、見つけたことを絵で描くなど図画工作科や取れた種を10個ずつにして数えるなど算数科と、下巻では、自分で作ったおもちゃを説明する文章を書くなど国語科と関連させ、他教科でついた力を結びつけ、活用させる工夫がされている。また、「がくしゅうずかん」の中に、様々な教科と関連させて学習できるよう、他教科の知識・技能が整理されている。	◎
思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動(見付ける、比べる、たとえば)や創造的に考える活動(試す、見通す、工夫する)の具体的な例示 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動の具体的な例示	・児童の気付きを共有化・可視化するため、板書やワークシート、付箋など、学習活動の例示がされている。 ・「がくしゅうずかん」では、「ともだちとかがえよう」の中で話し合いの方法やヒントが示され、児童の話し合い活動が充実するよう工夫されている。さらに、下巻では、話し合いのヒントの中に「ウェビング」や「Yチャート」が用いられており、自分の考えを整理したり、可視化したりする方法が紹介されている。 ・下巻の「がくしゅうずかん」の中の「しらべよう」では、情報の集め方が、「きろくしよう」では、表現力を高められるように観察するときの様々な視点や書き方が記載されている。	○
学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿の例示 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題につながったりしている様子の例示	・どの単元にも学習を通して気づいたことやわかったことを主体的に確かめることができるよう「できるかな できたかな？」に活動を振り返る視点の例を示し、自分の成長を実感できるように工夫されている。 ・次の活動につながるような言葉を「めぐり言葉」と称し紙面右下に記述し、活動の中で生まれた気づき、思い、願いが次の活動へつながるように構成され、児童の主体性を育てるような工夫がされている。 ・単元の最後に「ひろがるきもち」というコーナーがあり、次の課題につながるような言葉がけがあったり、イラストが描かれたりしている。	◎
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・「3年生へのステップブック」というページがあり、中学年以降の教科への期待感だけでなく、2年生の生活科を振り返ることで自信と希望をもって3年生へ進級でき、スムーズな接続となるよう工夫されている。また、学んだことが将来の夢につながったり広がったりすることが示されており、キャリア教育への手掛かりとなっている。 ・「まなびうえぶ」には、花の種の蒔き方や芽が出る様子、秋の自然を使ったおもちゃの作り方などの動画、生き物の飼いや野菜の育て方のスライドなどの資料がそろっている。 ・「びっくりずかん」では、生き物の成長の様子や実物大の虫などの児童が興味をもつ写真などが記載されている。児童が意欲をもって自然体験活動ができるように工夫がされている。	◎
総合所見 (発行者別)		・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という単元構成となっていて、それが明示されている。導入、主な活動、表現活動等、単元のどの部分に当たるのかが分かりやすくなっている。 ・単元は、児童たちの日常生活から始まり、ページ右下の「めぐりことば」で次のページへと誘い、振り返りには「ひろがるきもち」というコーナーがあり、次の課題へとつながっている。活動が単発にならず、願いや思いが次の活動につながるよう構成されている。 ・紙面構成は整然としていて見やすい。 ・「びっくりずかん」では、「種の不思議」や、「どんぐり大けんきゅう」があり、児童の興味を引く写真などが掲載されている。	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 音楽)

NO. 1

発行者の番号		017	◎
発行者の略称		教出	
項目	観点等	教科書名	音楽のおくりもの
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階(低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和声)に適した学習活動の設定 ・表現の技能を高めるための記述 ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解する工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・「にっぽんのうた」(歌唱共通教材)は、イメージ写真が大きく掲載されている。また、縦書きの歌詞が示されており、詩の内容をイメージしながら歌えるよう工夫されている。 ・2年生以降の巻末に「音楽を表すいろいろなことば」が掲載されており、聴き取ったり感じ取ったりしたイメージを児童がどのような言葉で表せば良いか示されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏方法が写真やキャラクターのコメントでわかりやすく示されている。特に息の入れ方は1、2年生で何度も示されている。 ・「おんがくのもと」のまとめが巻末に設定されている。 ・3年生の指くぐり、指またぎでの学習では、指くぐりをしなくても弾ける旋律のため、児童が指くぐりを使いにくくまたその部分が8分音符で速くなるため弾きにくい(3年生P10) ・5年生の「和音のはたらきを感じ取ろう」では和音のポーズを考えるという活動があるが、児童から答えが出しにくいと思われる。
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取るための内容 ・音楽表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるような工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の右上に「音楽のもと」(リズム、旋律、音色等、音楽を形づくっている要素)が記載されている。巻末ページにもイラストによって分かりやすく示されている。 ・体を動かす活動を取り入れたり曲の流れを図で示したりするなどして、音楽を形づくっている要素をもとに思いや意図をもてるよう配慮されている。 ・キャラクターの吹き出しで楽器の扱い方や楽曲の説明、発展的な学習のアドバイス等、理解を深めるためのコメントが適宜設定されている。 ・低学年では「楽器図鑑」として巻末に見開きで様々な楽器の紹介や演奏方法がまとめられている。補足情報はウェブサイトで確認できるようになっている。
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな演奏形態による教材 ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実に関わる内容 ・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする学習活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・「ショートタイムラーニング」では、外国で親しまれている音楽や、当該学年の他教科で学習する内容(九九や単位)に関する歌が掲載されているが使いづらい。 ・鑑賞教材では、2年生で日本の太鼓の音、4年生で琴や祭囃子、5年生で民謡と篠笛、6年生で琴と尺八を掲載し、日本の伝統音楽に親しめるよう配慮されている。 ・6年生で世界の音楽、ストリートピアノ、ジャズとクラシック音楽の出会いなどが掲載され、様々な音楽に親しめるよう工夫されている。 ・低学年では、見つけた音を友だちに伝える活動、中学年では、曲を聴いて面白いと感じたことを伝え合う活動、高学年では、音楽から気づいたことを話し合う活動が設定されている。
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」では楽曲や教材に関する情報をウェブサイトで見ることができる。また、書き込み式のワークシートもある。 ・二次元コードでは、短時間の動画で楽器の音色や演奏方法などが確認できるようになっている。 ・鑑賞曲の動画は、楽譜の画像が使用されており、再生する曲に合わせて演奏されている部分が光るようになっている。高学年では、オーケストラスコアも取り上げられている。 ・5年生の「日本の民ようをたずねて」に滋賀県は淡海節が掲載されている。
	総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にすっきりとした分かりやすい紙面構成になっており、歌唱共通教材は大きなイメージ写真や児童の表現や活動の参考となる写真やイラストが掲載されている。 ・楽器の演奏方法が写真やキャラクターのコメントでわかりやすく示されている。 ・巻末に「音楽を表すいろいろなことば」や「音楽のもと」、「楽器図鑑」がまとめられており、「まなびリンク」のWEBコンテンツで楽曲や教材の情報や詳細を見ることができる。 ・日本の伝統的な音楽、また世界の音楽が掲載され、様々なジャンルの音楽に親しめるようになっている。 ・巻末には合奏曲や歌唱曲が多く掲載されているが、取り扱いにくいものも多々ある。 ・低学年では、見つけた音を友だちに伝える活動、中学年では、曲を聴いて面白いと感じたことを伝え合う活動、高学年では、音楽から気づいたことを話し合う活動が設定されている。

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 音楽)

NO. 2

発行者の番号		027	◎
発行者の略称		教芸	
項 目	観点等	教科書名	小学生の音楽
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階(低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和声)に適した学習活動の設定 ・表現の技能を高めるための記述 ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解する工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名において、どのような学習をするのか明確に示されており、見直しをもって学習が進められるように配慮されている。 ・書き込み式のワークシートが設定されている。 ・「このころのうた」(共通教材)では、イメージ写真が大きく取り上げられており、曲想や歌詞から感じ取ったことを表現できるような学習活動が設定されている。 ・「おもいだそう」と歌唱方法や演奏方法など、前出ページの記載がある。 ・1年生では鍵盤ハーモニカの特徴や演奏の仕方など、導入が全12ページにわたって掲載されている。 ・3年生のリコーダー導入には10ページを割き、特にタンギングの仕方が詳しく記載されている。 ・3年生以上ではリコーダーの運指表、いろいろな音符・休符・記号・音階がわかりやすい一覧表にまとめられている。 ・1年生のリズム遊びにおいて、リズムや休符の表記が分かりやすく示されている。活動のイラストも発達段階を踏まえたものである。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取るための内容 ・音楽表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の右下に音楽を形づくっている要素が記載されており、「ふりかえりのページ」が巻末に設定されている。学習した事柄が要素ごとにわかりやすくまとめられており、どのページで学習したかも示されている。 ・3年生以上では巻末にリコーダーの運指表、音符や記号が詳しく(学習内容以上のもの)掲載されている。 ・教科書に出てくるマークの一つに「考える」があり、音楽表現を考えるためのヒントや演奏の工夫について考える問いかけがあり、児童にとっても指導者にとってもわかりやすい。他に、知識面では「見つける」、技能面では「歌う」「演奏する」「つくる」のマークがあり、児童が主体的にどのような点に気を付けて表現すべきかが書かれており非常にわかりやすい。 ・音楽を形づくっている要素を絞って題材が設定されており、教材ごとに要素の働きを理解できるよう配慮されている。 ・学年のまとめとなる題材では、それまでの学習したことを生かして活動できるよう設定されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな演奏形態による教材 ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実に関わる内容 ・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、歌や打楽器、中学年では、リコーダーや金管楽器、木管楽器、高学年では、オーケストラやリズムアンサンブルなど発達段階に応じた演奏形態が設定されている。 ・1、2年生で手遊び歌、わらべ歌、3年生で祭り囃子や締太鼓、4年生で琴や地域に伝わる音楽、5年生で民謡、琴と尺八、6年生で世界の音楽、雅楽が設定され、日本や世界の伝統音楽に親しめるよう配慮されている。 ・言語活動を充実させるための活動例やアドバイスが、表情や仕草が分かる子どものイラストを用いながらわかりやすく示されている。 ・低学年では、鑑賞で気付いたことを伝え合う活動、中学年では、考えを出し合いながら音楽をつくる活動、高学年では、作詞者、作曲家、演奏者がどのような工夫をしているか見つけるための活動が設定されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・大半のページの右上に二次元コードが掲載され、教材曲の主旋律を音で確認することができる。 ・著作権についても特集として取り上げられている(6年P24. 25)。 ・鑑賞曲において、重なる旋律の1パートのみ聞くことができ、絵譜(旋律を図形で表したもので)で音の動きを確認することもできる。 ・5年生の「日本の民謡めぐり」では、滋賀県と三重県の鈴鹿馬子歌が紹介されている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標や題材が決まった場所に大きく書かれており「何を目標に」「どのような活動を通して」「何を学ぶか」が一目でわかり、児童が見直しをもって学習に取り組むことができる。指導者にとっても、児童に対して学習活動の見直しを示しやすい工夫がされている。 ・活動の手だてが全学年共通のマークで示されており、どのように学ぶか活動内容が分かりやすく、児童の主体的な活動を引き出すことができる。 ・言語活動を充実させるための活動例やアドバイスが、表情や仕草が分かる子どものイラストを用いながらわかりやすく示されている。 ・音楽を形づくっている要素をしぼって題材が設定されており、教材ごとに要素の働きを理解できるよう配慮されている。 ・低学年では、鑑賞で気付いたことを伝え合う活動、中学年では、考えを出し合いながら音楽をつくる活動、高学年では、作詞者、作曲家、演奏者がどのような工夫をしているか見つけるための活動が設定されている。 ・大半のページの右上に二次元コードが掲載され、教材曲の主旋律を音で確認することができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 図画工作)

NO. 1

発行者の番号		009		
発行者の略称		開隆堂	◎	
項 目	観点等	教科書名	図画工作	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える内容 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した内容 		<ul style="list-style-type: none"> ・題材に使用できる材料が複数紹介されていたり、技法を合わせた作品例が紹介されたりしている。 ・「はじめに」では、学習の導入で活動できるように、めあてや題材の内容について、説明のある動画が用意されている。そのため、導入からふり返りまでわかりやすく、学習内容や重点課題が児童に理解しやすくなっている。 ・巻末の「学びの資料」では、材料や用具の取り扱い、技法について多く掲載し、各題材のページでは、安全な使用方法や片づけ方についても写真などを使って示されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、言語活動の充実に関わる内容 ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、自分にとって新しいものやことをつくりだすように発想や構想をし、作品をつくり見たりする学習活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・題材と題材のつながりを意識した指導計画がされている。表現題材の後に、それに準じた鑑賞題材が提示されている。さらに、絵を見るポイントが詳しく示されている。 ・造形活動を表現活動につなげられるような題材が多く取り扱われている。1年生は、「いろんなともだちとはなしだす」、3年生は、「コンコンビー玉」、6年生は「ドリームカンパニー」などである。 ・児童の発想や構想を促したり広げたりするためのヒントが、キャラクターのコメントで示されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、感性や想像力など造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができるような工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあては、観点ごとにキャラクターを用いて書かれていたり、重点目標は朱書きされていたりと、明確に示されている。 ・「ひらめきショートチャレンジ」など、発想や構想力が短時間で身につけられるような設定がされている。作品が早く仕上がった児童に活用することもできる。 ・多数の友だちと関わりながら制作を楽しむ授業場面の写真が多く、題材のイメージや活動の見通しがもちやすく、児童の意欲を高めることができる。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・「あわせて学ぼう」の欄では、他教科との関連が記載されており、カリキュラムマネジメントのヒントとなる。 ・紹介作品に通し番号が付けられていたり、字体が大きく、題字や吹き出しにも工夫がされていたりと、読みやすくユニバーサルデザインを意識したつくりになっている。 	◎
	総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・「タブレット端末で見てみよう」の「はじめに」の導入映像やリード文から、児童は発想を広げ、活動の見通しを持つことができる。さらに、色分けされた学習のめあてのキャラクターが児童に意識してほしい3つの観点を示すだけでなく活動のアドバイスをしてくれるので、本題材で身に付けたい力が大変分かりやすくなっている。 ・工作では、児童の思いに合わせて製作できるように、切り込みを入れて紙を飛び出させたり、はとめや割りピンを使って紙を動かしたりする仕組みについて複数の方法が掲載されている。 ・鑑賞学習や共同での造形遊びの後に自然な流れで話し合い活動が設定され、題材と題材のつながりを意識した指導計画を立てることができる。 ・「あわせて学ぼう」では他教科との関連が記載されているので、教科横断的な指導を進めることができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 図画工作)

NO. 2

発行者の番号		116		
発行者の略称		日文	◎	
項 目	観点等	教科書名	図画工作	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える内容 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した内容 		<ul style="list-style-type: none"> ・主に下学年では、材料を組み合わせで工夫した制作題材となっている。上学年では、二次元コードからアクセスすると、作品例や教材を発展させた作品を多数見ることができる。活動に入る前に作品を鑑賞して見通しをもったり、活動の途中で作品を鑑賞し、新たな発想や構想のヒントにしたりと、様々な場面で活用することができる。 ・「わざのひきだし」と題して、発達段階に応じた画材が紹介されている。特に5・6年生の教科書に記載されている鉛筆や墨の表し方に工夫がされている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、言語活動の充実に関わる内容 ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、自分にとって新しいものやことをつくりだすように発想や構想をし、作品をつくりたり見たりする学習活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・お話の絵の題材では、二次元コードからアクセスして多数のお話の朗読を聞くことができるので、想像を広げるのに役立つ。 ・「アートカードを楽しもう」では、発達段階に応じた活用例や、対話しながら鑑賞する方法など、楽しく鑑賞するための活動が紹介されている。5・6年上には、切り取って使える「ミニ・アートカード」も収録されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、感性や想像力など造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができるような工夫 		<ul style="list-style-type: none"> ・学年の行事やキャリア教育と関連づけた教材がある。(やまのこ・未来の私) ・各題材ごとのデジタルコンテンツには、画像を見るだけでなく、WEBアプリならではの表現ができる機能がある。例えば、美術作品を拡大したり、動画を視聴したり、さまざまな場面で活用できる。かきためて発想・構想につなげる「図工ノート」などもある。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 		<ul style="list-style-type: none"> ・アートカードを用いた鑑賞を通して、自分と他者の感じ方の違いに気づき協働的な学びができる。 ・アニメーション製作・写真の切り取り、シンキングツールなどの学習活動で使えるアプリケーションが用意されている。 ・二次元コードからアクセスすると用具の使い方・技法動画を視聴することができる。一人ひとりの学習の進度に合わせて、各自の端末で確認してもよいし、授業中モニターに映しておき、子どもたちがいつでも見られるようにしておくといった活用もできる。 	◎
総合所見 (発行者別)			<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツが充実している。「みんなの図工ギャラリー」では、題材ごとに全国の児童作品を多数鑑賞できる。活動に入る前に作品を鑑賞し、見通しをもったり、作品の途中で作品を鑑賞し、新たな発想や構想のヒントにしたりと、様々な場面で活用することができる。 ・お話の絵の教材では、二次元コードからアクセスして多数のお話の朗読を聞くことができるので、想像を広げるのに役立つ。 ・「わざのひきだし」と題して、発達段階に応じた画材が紹介されている。特に5・6年生の教科書に記載されている鉛筆や墨の表し方に工夫がされている。 ・学年の行事やキャリア教育と関連付けた教材もいくつかある。例えば、低学年の活動では、幼児期の学びを生かした題材を設定したり、4年生の「のこぎりギコギコ」では、やまのこ学習で自ら切り出した木材を使った作品づくりに関連させたりすることができる。6年生の「未来の私」は、キャリア教育に役立つものが取り入れられている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 家庭科)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項 目	観点等	教科書名	新しい家庭
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動 調理や製作などの技能に関する内容 必要な材料、用具、手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた安全な取り扱いについて理解できるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識の理解に関わる内容が「資料」としてまとめられ、その内容を確認するために、「調べよう」で調べる活動が設定されている。 基礎的・基本的な技能をおさえるために、最低限身につけてほしい技能を「いつも確かめよう」の囲みで示している。目次では「いつも確かめよう」を一覧で示し、ガイダンスを行う時点で把握できるようになっている。 調理実習や制作実習における器具・用具の扱い方、作業場の安全、衛生面など、安全に注意すべき点を解説し、「安全マーク」を付して、注意喚起がされている。 巻頭に「衛生・安全に気をつけて実習しよう」という特集を収載するなどして、安全指導を徹底しやすくなっている。 巻末の資料は、作業をしている手が実物大写真であり、自分の手を重ねて持ち方などを確認することができる。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で活用するための教材や学習活動の設定 問題解決的な学習において、解決方法を考え、計画を立てて評価・改善したりする際、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習が実現できるように3つのステップ（課題発見、課題解決・実践、評価・改善）で段階的に構成され、見通しがもちやすいように工夫されている。 ソーイング、手縫いの良さを生活に生かす小物作りの学習では、様々な材料で作られた小物のアイデアが紹介されているので、実践意欲につながる。 「深めよう」では、これまで学んだことを総合的に活用して、工夫を共有したり、実践した内容を伝えたりできるように工夫されている。 学びを深めるために、「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」の活動内容がはっきりと示され、児童の主体的な学びや対話的な学びにつながるように工夫されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりを通して、生活をよりよくしようと工夫する学習活動 児童の日常生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や高齢者、障がいのある人々、外国人との関わりを通して、共生の視点に気づくことができるように配慮されている。(p12、p36) 「夏休みわくわくチャレンジ」や「生活を変えるチャンス」などで、学習した知識や技能をもとに、生活の中で生かす視点を入れたり、家族のための製作を示唆する内容を示したりされている。 第15大題材「あなたは家庭や地域の宝物」では、家庭や地域での自分の役割を自覚し、自分の仕事ができるように配慮されている。(p128～p133) 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科の学習内容について、外国語などの他教科や中学校技術・家庭 家庭分野との関連が分かりやすいようにアイコンで示されている。 活用できるシートが2種類あり、「トライシート」はデジタル思考ツールとして課題発見の手掛かりとなる。また、「ワークシート」は学びを記録し、生活に生かすことができるように工夫されている。 約150の動画資料が用意されており、再生、停止、ボタンの位置の切り替え、繰り返し、字幕の機能が提示され、1人1台端末が想定されている。 	○
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に調理や裁縫の基礎基本に関わるページがまとめられていて活用しやすいものとなっている。また、それぞれの単元に児童の興味を引く資料が挿入されている。しかし、5年生初期にジャガイモの皮むきのような技能の習熟を必要とする内容が扱われていたり、玉結び・玉止めの手元の資料が見づらくなっていたりするなど、苦手な児童への配慮がもう少しされるとよい。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 家庭科)

NO. 2

発行者の番号		009	
発行者の略称		開隆堂	◎
項目	観点等	教科書名	小学校 わたしたちの家庭科
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動 ・調理や製作などの技能に関する内容 ・必要な材料、用具、手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた安全な取り扱いについて理解できるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と住生活、消費と環境の題材などを分けることにより細分化され、基礎的な内容から発展的な内容へと題材の中で積み上げることができる。 ・調理や製作などの実習手順図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使って横に流れる記述で、基礎・基本を習得するための適切な配慮がされている。 ・技術面の写真は詳細かつわかりやすく丁寧に表現され、細部については拡大写真やイラストを添えるなどして、適切な配慮がされている。特に、裁縫の手順については、拡大写真や実物大写真で示されており、児童が状態を確認しながら作業を進められる。 ・応用の調理例や作品例の具体的な製作手順などの掲載が豊富で、発展的な学習や家庭での実践の際に活用できる。 ・教科書の背表紙に野菜の切り方が掲載されており、すぐに見ることができ、児童が状態を確認しながら作業を進めることができる。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で活用するための教材や学習活動の設定 ・問題解決的な学習において、解決方法を考え、計画を立てて評価・改善したりする際、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・全題材を通して①見つける・気づく→②わかる・できる→③生かす・深めるの順で学習を進めるようになっており、「生かす・深める」では、生活をよりよくするための具体的な方法について場面を設定し、解決方法を考えるなどこれからの生活に生かしたいことを考えられるようになっている。 ・話し合いの場面が設定され、身に付けた知識及び技能を生かして、さらに考えや思いを共有したり深めたりすることができるような構成になっている。 ・レットトライ!のページでは、生活の課題と実践の取り組み方を5つのステップで示されており、具体例をヒントに自分の生活と課題の実践に取り組みやすくなっている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりを通して、生活をよりよくしようと工夫する学習活動 ・児童の日常生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活を支えるお金と物」の学習が、2学期の後半に扱われるようになっており、学習で身につけた知識や技能を生活に生かすことができるようになっている。 ・SDGsと関連させた環境学習が充実しており、スモールステップを踏みながら、持続可能な生活・社会に向かって、身近な所から環境への取り組みができるよう、各題材の中で取り扱われている。 ・家族や地域の人々との関わりを考え、家族や地域の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うため、題材が工夫されている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・p136～p137「2年間の学習を中学校につなげよう」にて、小学校で学んだ学習を振り返り、中学校の学習に生かせるよう写真やイラストでわかりやすくまとめられている。 ・衣食住の生活や消費生活・環境・地域の学習内容と密接につながる職業や取り組みをしている方々の「キャリアインタビュー」が掲載されている。 ・調理実習や製作実習等の技能の習得に関わる動画においては、一連の流れだけではなく、手順ごとに分割されているので、視聴したい動画を選択できる。 ・調理手順並べ替えクイズや、振り返り10問○×クイズといった楽しく学べるコンテンツが多く用意されている。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面でスモールステップを踏んでおり、時期にあった単元設定になっているなど、全体を通して開隆堂は子どもの実態に合った内容になっている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮されていたり、資料が見開きで掲載されていたりするなど、資料の提示の仕方が非常にわかりやすくなっている。作品例も身近で見通しを持って作成できるような工夫がされている。総じて子どもの意欲を喚起し、主体的に学べる教科書になっている。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 1

発行者の番号		002	◎
発行者の略称		東書	
項目	観点等	教科書名	新しい保健
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「心の健康」の不安や悩みの対処では椅子に座ったままできる呼吸法や軽い運動について取り上げられており、より実践につながる工夫がされている。加えて、単元の理解につながるデジタルコンテンツや項末資料が幅広く記載されている。 ・5年生の「けがの防止」では、具体的な日常生活を想定し、「自分でできる手当て」、実習、実際に簡単な手当を考える学習を取り入れている。また「資料」で熱中症、胸骨圧迫とAEDについてを記載し、実生活の場面を幅広く想定している。 ・4年生の「体の発育・発達」では、運動の必要性を大きく示しているが、3年生の「健康な生活」、6年生の「病気の予防」では、多くの取組の中の一例として扱われている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や生活場面を示した絵をヒントに、これまでの学んだ学習と生活経験を関連させ、課題発見しやすい学習となるよう、工夫されている。 ・友だちと意見を交流して考えたことや分かったことを記入する箇所や、課題解決のための思考を整理する箇所を設け、協働的な学習に取り組めるようにしている。 ・豆知識、資料、グラフ、写真等を多く示し、それらに対してキャラクターが説明していることで、思考・判断しやすい場面を設定している。 ・項末資料や他教科とのつながりが各ページに示されていて、学習をさらに広げていくことができるようになっている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間の導入ページで大きな写真やイラストから児童の気づきを引き出し、課題発見をしやすい工夫がされており、自分事として学習を進めることができる。また、学習意欲を喚起する資料性の高いデータが示されている。 ・「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れの紙面で学習過程のパターンが決まっており、児童が学習の見通しをもちやすい。 ・「まとめる・生かす」では、穴あき問題で知識を確認することに加えて、記述で気付きや考えを表現し学習を深められる構成となっている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンピューターを学習に生かそう」として、デジタルコンテンツや「けんさく」の項目を記載し、タブレット端末を活用して学習を補完したり広げたりできるようにしている。 ・これまでの学習を振り返ったり、これからの学習を先取りしたりでき、学習を系統的に組み立てている。 ・地域の保健活動の種類やそれらに関わる人々の資料を多く示している。それにより「健康」というキーワードから職業観を育んでいる。 ・けがの防止、心身の健康、命を守るための方法、多様性への理解など、幅広い知識と教養を養うことができるようになっている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・各時間、学習の進め方という形で「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という学習過程が分かる紙面構成になっていて、学習の見通しをもちやすい。 ・写真、イラスト、記述の配置が考えられていて、視認性のよい紙面になっている。 ・各時間のまとめのページで、本時の内容と結び付けて次時の予告がなされていて、学習の目的意識をつなげられるようになっている。 また、各学習内容と関連するデジタルコンテンツ、項末資料、他教科やSDGsとの関連が示されていて、実生活と結び付け、学習を深めることができる。 ・イラスト、写真では個人差、多様性などに配慮されている。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 2

発行者の番号		004	◎
発行者の略称		大日本	
項目	観点等	教科書名	たのしい保健
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「心の健康」では、不安や悩みの対処法が、イラストとともに具体的な事例についてQ&A形式でまとめられている。 5年生の「けがの防止」では、けがの種類に応じた手当の仕方がわかるようになっている。「もっと知りたい！」のページで、けがや事故が起こった場所や原因、犯罪被害の起こる場所や時間についてグラフが掲載されている。また、自分の身の守り方を挿絵とともに説明されており、児童が理解しやすく、かつ実践しやすい内容になっている。 「健康な生活」「体の発育・発達」「病気の予防」では、健康に過ごしたり、よりよく成長したり、病気を予防したりするために運動の重要が重要であると記載されている。また、実践しやすい運動の例がイラストとともに紹介されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」など、グループで行うものを多く配置し、友達の意見を聞いたり、認めたりすることができるようになっており、協働的な学びを深め、思考を整理しやすい記述欄が設けられている。 児童の学習意欲を喚起したり、興味関心を引いたりするようなイラストや写真が用いられている。 各ページの下部には、ミニ知識が設けられており、実践を通して理解できるように工夫されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「活かそう」の項目では、本時に学習した内容の中で、これから自分が取り組んでいきたいことを書き込むことができるようにして、主体的に学んでいけるよう工夫されている。 学習の流れを示すガイドがあり、1時間で学習する内容がわかりやすい。 折り返しに活動を行う時のヒントが書かれており、主体的に課題を見つけ、思考を深める助けになる。 単元の終末に、学習内容を振り返ることで、今後の生活にどう生かしていくかを考えることができるように工夫されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末ページに次学年へのつなぎのページがあり、学習内容を振り返り、次の学習への見通しをもてるようになっている。 学習内容について発展的な内容や中学校での学習内容のほか、他教科との関連も記載している。 二次元コードから「たのしい保健ウェブ」にアクセスできる。学習ゲームや動画、シミュレーションなどのコンテンツが充実している。 感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な健康や環境に関する諸課題についても学習できるようになっている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れ（「見つける」「考えるやってみる」「まとめる」「広げる深める」）が設定されている。教科書のレイアウトにガイドがあったり、折り返しカードがついていたりして、1時間の学習の流れがわかりやすい。 巻末ページに次学年へのつなぎのページがあり、学習内容を振り返り、次の学習への見通しをもてるようになっている。また、学習内容について発展的な内容や中学校での学習内容のほか、他教科との関連も記載している。 感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な健康や環境に関する諸課題についても学習できるようになっている。 学習ゲームや動画、シミュレーションなどのウェブコンテンツが豊富で、効果的に学習ができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 3

発行者の番号		050	◎
発行者の略称		大修館	
項目	観点等	教科書名	小学校保健
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康を「呼吸法」「体ほぐし運動」とさまざまな対処の仕方に分けて位置付けることで、より実習を重視した構成になっている。また、イラストや動画で視覚的にも習得しやすい工夫がある。 けがの判断について、段階的に説明されており、けがを防止するための知識について理解しやすい構成になっている。また、けがの種類ごとに手当の方法が理解できるようイラストを中心に整理されている。 「体育の窓」を中心に運動領域の学習内容を積極的に取り上げ、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるように工夫されている。「体の成長」では、成長に合った運動を調べる活動が入っている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の導入段階に身近な生活の中から健康課題に目を向けさせる発問を設定し、保健の見方・考え方を働かせて思考できるようにしている。 各学習内容だけでなく、発展的な学習内容も含め、学びを広げたり深めたりする資料が充実している。 動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツにより、理解を深めやすくなっている。また、学習時間の最後にウェブクイズがあり、学習した内容を振り返り確認することができるようになっている。 キャラクターを適宜配置して、保健の見方・考え方を働かせる視点から思考するきっかけができるように工夫されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 3ステップのシンプルな学習過程の構成で、授業の流れがわかりやすく、主体的に学習を進めることができるようにしている。 各章のはじめに著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して、学習内容に興味・関心をもって主体的な学びができるように工夫されている。 毎時間の最後に自分の生活を見直すなどして学んだことを整理し、自己の課題をよりよく解決する深い学びを促す内容になっている。 キャラクターの言葉やイラスト・吹き出しから安心したり共感したりできるように工夫されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 他学年の保健学習との関連や発展的な内容を示し、系統性のある指導をしやすいよう工夫されている。 他教科との関連を示し、教科横断的な学習ができるようにし、カリキュラムマネジメントができるようになっている。 二次元コードを随所に掲載し、学習に関する様々なコンテンツにより、ウェブサイトでも調べたり、動画などで詳しく学んだりできるように工夫されている。また、デジタルコンテンツやタブレット端末を活用して、自分の考えを伝えたり、他者の考えに触れたりすることができるようになっている。 各章末に「学習を振り返ってみよう」を設定し、学んだことを現在や将来に生活に生かすことができるようになっている。 よりくらしやすい社会を目指すために、社会の中にある工夫を保健の視点で構成している。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 文章表現では、単語や文節が行をまたいで分かれなないように改行して読みやすくなっている。また、ユニバーサルデザインフォントを使用して視認性と可読性を高めたり、カラーユニバーサルデザインを使用して色覚の特性に対応したりしている。 3つステップのわかりやすい学習の流れになっており、児童には学習に取り組む時間が保証され、指導者はゆとりをもった指導ができるようになっている。また、3つステップのステップ2では、課題解決するための活動が4つあり、様々な方法で解決へと導いている。 章のとびらで著名人を取り上げていることで、学習内容に興味・関心をもって主体的な学びをスタートさせることができるようになっている。 毎時間の最後にウェブクイズがあることで興味・関心をもって取り組み、その時間の学びを振り返れる構成になっている。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 4

発行者の番号		207	◎
発行者の略称		文教社	
項目	観点等	教科書名	わたしたちの保健
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「心の健康」では、不安や悩みの対処法がイラストと説明で幅広く示されている。 5年生の「けがの防止」では、簡単な手当の方法、簡単な手当の実習、正しい状況判断の方法とけがの手当について様々な観点から学べるようになっている。発展教材では、「自助・共助・公助」について示し、人のつながりについても理解できるようになっている。 4年生の「体の発育・発達」では、よりよく成長するためには、自転車、登山、けん玉、ダンスなど様々な運動が効果的であることに気付けるようになっている。6年生の「病気の予防」では、運動の表記やアスリートのメッセージ等があるが、運動の重要性が他の情報に埋もれてしまいやすく感じる。 単元末に設定されている「わたしの〇〇宣言」では、運動との関りが示されている場合が多い。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なキャラクターの会話を通して学習内容の理解を進められるとともに、「本時のMenu」を設け児童が自主的に学習を進めることができる紙面構成になっている。 各時間に、図やグラフ、学校や町中の絵などの資料から調べる活動を設定している。 6年生の「病気の予防」では、イメージマップを活用し、様々な病気と予防法の関係を視覚的に捉えることができるようになっている。 「もっと考えよう課」という発展的教材が多くあり、他の事例やデジタルコンテンツを示し、実践的理解を促すようにしている。 4年生の「体の発育・発達」では、年齢や生活習慣と体力テストとの関係を掴めるように資料を提示している。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の「病気の予防」では、様々な専門家のメッセージがあり、生活習慣病や薬物乱用の危険に気づくことができる。 4年生の「思春期の体の変化」では、思春期における異性との関わりについて、兄弟世代の経験談や解決策を掲載して、心の変化とその捉え方を理解しやすくしている。 各時間に「もう一歩先の自分へ」という、これからの生活に生かしていくことを考える箇所を設定している。 「つぶやきくん」というキャラクターが様々なページに登場し、健康の豆知識や学習者へのメッセージをつぶやき、考えるきっかけとなっている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「けがの防止」では、発展的教材として災害時に自助、共助、公助の取組を示してあり、児童が人のつながりについて理解し、自身にも取り組めることがあることに気づけるようになっている。 二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスし、学習の理解を深められるようになっている。 「わたしの〇〇宣言」で、学習したこと、理解したことを踏まえ、今後の生活に生かしていきたいことを書くことで、継続して学べるよう工夫されている。また、友だちと共有したり、友だちから応援メッセージをもらったりすることで、これからの生活に自信をもって向き合えるようにしている。 アスリートからのメッセージを記載し、これからの児童の未来を応援するようにしている。6年生修了時には中学生に向けて、警察官からのメッセージを記載している。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現は簡潔で分かりやすく、書体は読みやすくものになっている。また、説明とイラストを組み合わせるなど学習内容の理解を促すように工夫されている。 「本時のMenu」を設け、学習過程を明確にし、児童が主体的に学習を進めることができるように紙面構成が工夫されている。 資料が豊富で児童の気づきや理解を促すようになっている。知識・技能の獲得はできる一方で、児童が考えを広げたり深めたりするための手立ての工夫が必要だと感じる。また、情報量が多く字が小さく感じる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 5

発行者の番号		208	
発行者の略称		光文	◎
項目	観点等	教科書名	
		小学保健	○
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「心の健康」では、不安や悩みの対処法について、具体的な方法が多く紹介されている。特に深呼吸やストレッチの方法が詳しく説明されている。 ・5年生の「けがの防止」では、けがの種類に応じた手当の仕方がわかるようになっている。 ・3年生の「健康な生活」では、遊びや、手伝いも運動になるとイラストとともに紹介することで、日常的な運動の実践につなげられるように工夫されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と話し合ったり、自分の考えを伝えたり、説明したりする活動が多く設定されており、思考力・判断力・表現力の育成につながる。 ・「科学のとびら」では、科学的な資料が掲載され、根拠をもって考える力を身につけることができるようになっている。 ・「この人に聞く」では、保健に関連する職業や専門家の人の話が掲載され、児童の気づきを促すことができるようになっている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学びが「見つける」「知る」「生かす」で構成され、保健の学習を自分事として主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・単元のはじめにマンガ形式のストーリーが掲載され、学習の見通しをもち、学習内容への好奇心や探求心が高まるようになっている。 ・高学年の単元では、どの領域でも専門家のコメントやデータが豊富に掲載されている。それらにより、児童が健康や心身の発育などを肯定的にとらえられるような内容となっている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に身近で活躍しているスポーツ選手やクリエイターからのメッセージが掲載されており、健康であることが自己実現につながることを実感できるように構成されている。 ・他教科や他学年の学習との関連性が一目で分かるマークとともに示され、教科横断的・系統的な学びができるよう工夫されている。 ・学んだことを家庭に持ち帰って生かす、学校や地域での取り組みを調べて学ぶなど、身近な社会を意識して学習する活動を設定している。 ・二次元コードが掲載され、学びを支援する動画や資料が閲覧できる。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で身近で活躍しているスポーツ選手やクリエイターからのメッセージが掲載されており、健康であることが自己実現につながることを実感できるように構成されている。 ・単元のはじめにマンガ形式のストーリーが掲載され、学習の見通しをもち、学習内容への好奇心や探求心が高まるようになっている。 ・他教科や他学年の学習との関連性が一目で分かるマークとともに示され、教科横断的・系統的な学びができるよう工夫されている。 ・教科書に書き込めるところが少なく、ワークシート等の併用が必要だと感じる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 保健)

NO. 6

発行者の番号		224	◎
発行者の略称		学研	
項目	観点等	教科書名	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「心の健康」における不安や悩みへの対処法、「けがの防止」における簡単な手当の仕方 運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」における、運動に関する内容の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「心の健康」では、巻末資料にスクールカウンセラーからのアドバイス、「ほけんのはこ」のコーナーに困ったときの相談窓口が紹介がされ、不安や悩みへの適切な対処法がわかりやすい。 5年生の「けがの防止」では、自分でできる簡単なけがの手当でとして、すりきずや切り傷の実習を取り入れており、動画でも確認できる。 手軽に一人で取り組んだり、友だちと一緒に取り組んだりする運動例だけでなく、外遊びも紹介されている。また、運動例においては、様々な運動領域を示している。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する内容 実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 導入で写真やイラストを活用し、身近な生活にある課題などの事例や体験を具体的に振り返ったり、予想したりすることで話し合いにつながるような学習の流れになっている。 書くことを重視し、記述する欄が十分に確保されており、思考力・判断力・表現力を身に付けやすい工夫がされている 「かがくの目」の欄を設け、実験等で確かめる資料や写真を掲載し、見えないものを見えるようにして、児童の学習理解や科学的な認識を深めることができるよう工夫されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような内容 身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の学びを、「導入」→「自ら取り組む課題」→「対話的な活動」→「活用」で構成し、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実する工夫がされている。また、パターン化されており、学習者・指導者ともに学習を進めやすい。 各章の最後のまとめでは、学習したことを自ら生活に生かすことや他者に伝える項目を設け、主体的・協働的に学ぶ流れを設定している。 学習したことを家庭や地域で確かめたり、調べたりする活動を設定することにより、普段の生活も学ぶ場とするとともに、家族との関わりも大切にしている。 スクールカウンセラーなどの専門の立場の方の話や吹き出し等からアドバイスを受けることにより、子どもが安心したり共感したりする工夫がされている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革（「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進） 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんのはこ」「しりょう」に発展として中学校との学習の関連付けを説明し、学びを広げたり深めたりできるように工夫されている。 デジタル教材でのグラフの作成、学習の振り返りシート、動画などによって、学習の定着を促すとともに、表現力を身に付けたり、学びを深めたりすることができるように工夫されている。 学習内容と関連の深い職業の紹介や保健師へのインタビューから職業への興味・関心を促す構成にしている。また、「おうちで」「ちいさきで」を随所に設け、家庭や地域で取り組みたい活動が仕組まれている。 身近なことを中心とした保健の学習や健康への実践が周りの人の健康に繋がっていることを見渡せる工夫がされている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 各項目のはじめに「学習の進め方」「学習課題」を明示し、見通しを持たせたり、導入で「予想・経験の振り返り」をさせたりして、興味・関心をもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。 全ての学習時間において、学習の流れと課題解決の過程（①自ら取り組む活動→②対話的な活動→③活用）が統一されており、個別最適な学びと協働的な学びが実現しやすいようにしている。 書く活動を多く取り入れ、自分の考えを言語化したり、友達と考えを交流したりしやすくなっているが、負担に感じる児童がいることが懸念される。 児童の学びを助けるデジタルコンテンツが充実している。また、教科書に掲載されている二次元コードからダイレクトにアクセスでき、学習の展開に沿った位置にそれぞれ配置されているので適切なタイミングで活用することができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項目	観点等	教科書名	
		NEW HORIZON Elementary My Picture Dictionary	○
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> Our Goal→Your Plan→Your Goal→ふり返り、という見直しをもってスモールステップで活動を積み上げていくことができ、音声聞く活動から、学習した語彙や表現を使ってペアやグループで話す活動を行っていく構成になっている。 各単元末にSounds and Lettersの活動が設定され、5年生は文字の形や名前から文字の音への慣れ親しみへ、6年生は文字の音に慣れ親しみ、最後は文を読むことにチャレンジするという順に学習するスモールステップの構成となっている。無理なく文字の名前を定着させたり、文字の音に慣れ親しませたりできるように工夫されている。 Unitの中に毎時間Small Talkがあり、英語の表現に慣れ親しむ活動が設定されている。また、Let's SingやLet's Chantでは、Unitに関係のある歌や言葉が設定されており、音声に慣れ親しむ活動が設定されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の内容に合った具体的な話題が設定されているSmall Talkがある。 巻末コミュニケーションカードを活用することで、言語活動の場面設定が明確になり、文字を書く、読む、話すことに必然性が生まれる。また、それらを成果物として残すことができる。 自分が伝えたいことをより分かりやすく伝えたり、やり取りを続けたりするなど、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた会話にするためのヒントなどが掲載されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標となる言語活動に向けて、それまでに学習してきた表現を確認し、それらを活用して会話の内容を広げることに取り組む活動がある。 各単元の学習に、世界の文化を知る内容が含まれているので、それぞれの国のよさや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようにしている。また、外国出身者の目線から日本の伝統文化の良さを紹介する内容が盛り込まれ、改めて自分たちの住む日本の良さにも気付けるよう工夫されている。 書き込みスペースがやや多いように感じられ、児童が苦手意識をもつ可能性が考えられる。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動を行う際の準備に役立つ会話練習動画や探したい語彙を簡単に探せるDigital Dictionary、日本や世界の有名な場所・ものを探して書き写しや音声の確認ができるDigital Mapなど、個別最適な学びに適したデジタルコンテンツが豊富にある。 日本で働く外国出身者を紹介したり、世界を舞台に働く日本人の日常を取り上げたりすることで、勤労意識を醸成するとともに、キャリア教育の推進にもつながるようになっている。 音声読み上げ機能では、速さを調整することができたり、聞きたい語彙や表現だけを選択して聞いたりすることができる。 	○
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> ネイティブスピーカーによる音声の速さを調整したり選択したりして聞くことができ、語彙や表現を習得することが可能となる音声読み上げ機能がある。 2画面表示機能があることで、本体と「My Picture Dictionary」を同時に表示することができ、調べたい単語を見つけたり、聞きたい単語の音声を確認したり、見ながら書き写したりすることが効率よくできる。 言いたい単語が「My Picture Dictionary」にない場合は、「Digital Dictionary」の「プラス単語」から探すことができ、紙面にない単語にも対応できるようになっている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 各単元末にSounds and Lettersの活動が設定され、5年生は文字の形や名前から文字のもつ音への慣れ親しみへ、6年生は文字のもつ音に慣れ親しみ、最後は文を読むことにチャレンジするという順に学習するスモールステップの構成となっている。 言語活動を行う際のモデルとなる会話練習動画や語彙を簡単に探せるDigital Dictionary、日本や世界の有名な場所・ものを探して書き写しや音声の確認ができるDigital Mapなど、個別最適な学びに適したデジタルコンテンツが豊富にあり、学習の定着や意欲の向上につながる。 6社の中でもデジタル教材、デジタル教科書の機能も豊富で使いやすく、内容も充実しており効率よく学習を進めることができる。また個別最適な学びに適したデジタル教科書になっている。 書き込みスペースが多く、児童が書くことに対して苦手意識をもつ可能性が考えられる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 2

発行者の番号		009	
発行者の略称		開隆堂	◎
項目	教科書名	Junior Sunshine Word Book	◎
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 本冊と別冊の二次元コードからアクセスし、何度も音声を確認することができるようになっている。 「聞くこと」「話すこと」について、ゲーム的な要素のある活動が設定されている。 音声を聞きながら、慣れ親しんだ表現を指で追ったり、書いたりする活動が継続的に設定されている。音と文字の関係の気づきを促し、無理なく「書くこと」につなげるようになっている。 新しい語句や表現はLet's ListenやLet's Playなどさまざまな活動を繰り返して身につけるようになっており、まとめの活動では、コミュニケーションを中心にした主体的・対話的な活動が設定されている。 簡単な活動から難しい活動へ配列しており、知識・技能を無理なく習得できるようになっている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期末に「Let's Check」が位置付けられており、各単元で学習した内容を活用して確かめる活動が設定されている。 言語の使用場面が設定されている「聞くこと」「話すこと」の活動が多く、「～のために」と活動の目的が明記されているものが多い。 単元のゴールに向けて、ペアでのやり取りから、グループでのやり取りや発表、クラス全体でのやり取りや発表というように、スモールステップでの言語活動が設定されている。様々な相手と伝え合ったり、伝える目的を変えたりしながら、「聞くこと」「話すこと」に慣れ親しむことができるようになっている。 児童の生活に密着した題材、児童の学校生活に合うよう配列されており、児童の興味や関心、生活経験に合った学習を展開することが可能である。(5年…誕生日だけではなく、自分の特別な日について考える活動が設定されている。) 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら知りたくなる、話したくなる、聞きたくなるような題材や場面が設定しており、児童が必要を感じて主体的に学習できるように工夫されている。 児童が国や地域に興味を持ち、英語で紹介したいという意欲を高められるよう、日本各地の名所や名産などの地域教材が様々な活動の中に取り入れられている。 各単元の冒頭見聞き、単元のGOALと活動目標、見聞きごとのめあてが書かれてあるので、児童が見通しをもって主体的に学習することができるように工夫されている。 巻末のCAN-DOチェックで、各単元末の目標に合わせて、「何ができるようになったか」を自己評価できるようになっている。 1年間の学習の見通しを立てたり、自らの成長や課題を確かめたりすることができ、児童の主体的に学習に取り組む態度を育てることができるよう工夫されている。 単元の終末には、外国の文化や名所が紹介されており、世界の国々に興味をもつことができる内容になっている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の学習を踏まえて扱う語句が精選され、「聞くこと」「話すこと」の指導や言語活動のデモンストレーションなどにおいて、意図的に繰り返し使用されており、中学校での学びを意識した指導を展開しやすくなっている。 二次元コードを読み取って活用できるコンテンツやデジタル教科書が充実しており、児童が自分の興味・関心に合わせて学習を選択したり、自らの課題に応じて自分のペースで学習できたりするよう工夫されている。 音声読み上げ機能では、速さを調整し、聞きたい語句や表現だけを選択して聞いたりすることができる。 自分の町について調べる単元が設定されており、自分の町を外国人も含め多くの人に伝えたいという目的をもって取り組む活動を実施できる。 	◎
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ゴールの言語活動のモデルが実写映像で収録してあるので、目指す姿をイメージしやすい。 ネイティブスピーカーなどが話す音声を、速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。 各単元に配置されているAround the worldでは、世界の行事や伝統文化などに関わる動画を見ることができ、外国への関心を高めることができる。 オリジナルで語句のフラッシュカードを作ることができ、より児童の実態に合わせた学習内容の手立てにすることができる。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面が設定されている「聞くこと」「話すこと」の活動が多く、「～のために」と活動の目的が明記されているものが多い。 自ら知りたくなる、話したくなる、聞きたくなるような題材や場面が設定しており、児童が必要を感じて主体的に学習できるように工夫されている。 単元のゴールに向けて、ペアやグループ、クラス全体でのやり取りや発表というように、スモールステップでの言語活動が設定されていて、様々な相手と伝え合ったり、伝える目的を変えたりしながら、「聞くこと」「話すこと」に慣れ親しむことができるようになっている。 新しい語句や表現はLet's ListenやLet's Playなどさまざまな活動を繰り返して身につけるようになっており、まとめの活動では、コミュニケーションを中心にした主体的・対話的な活動が設定されている。 音声を聞きながら、慣れ親しんだ表現を指で追ったり、書いたりする活動が継続的に設定されている。音と文字の関係の気づきを促し、無理なく「書くこと」につなげるようになっている。 二次元コードを読み取って活用できるコンテンツやデジタル教科書が充実しており、児童が自分の興味・関心に合わせて学習を選択したり、自らの課題に応じて自分のペースで学習したりできるよう工夫されている。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 3

発行者の番号		015	
発行者の略称		三省堂	◎
項目	観点等	教科書名	
		CROWN Jr. My Dictionary	◎
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 ・十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと」は、単元の学習を進める中で、段階を踏んで積み上げていく構成になっている。(段階例:①アニメーションを見て、コミュニケーションの場面や使われている表現をつかむ。②メインキャラクターの会話を聞いて、音声で十分にインプットする。③練習活動で口慣らしをする。④少しずつ自分のことを伝えたり、伝え合ったりする。) ・「読むこと」「書くこと」についても、段階を踏んでスムーズに移行できる構成になっている。(段階例:①音声で聞いたり、やりとりを通して発声したりして表現に慣れ親しむ。②慣れ親しんだ表現を文字で読む。③慣れ親しんだ表現をなぞり書きしたりうつつ書きしたりする。)また、書く際の注意事項がミニ情報として繰り返し掲載されている。 ・自然な流れで音から文字へのつながりが学べる学習の進め方になっているため、文字にする抵抗が少なくなる工夫がされている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 ・使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・各Lessonの冒頭の見開きページでは、楽しいイラストで会話の場面や状況を把握することができるよう工夫がされている。またイラストの中に語彙がたくさん含まれており、場面絵を見ながら豊富にインプットできるようにされている。 ・児童により身近な物語教材を英語で扱い、意味を推測しながら理解しようとする活動が設定されている。日常のコミュニケーションにつながる力を身に付けることが期待できる。 ・相づちや発表で気をつけたいことなど、コミュニケーションにおける工夫について扱い、児童が相手意識をもって活動に取り組めるよう配慮されている。また、発表において、話し手に配慮した聞き方について取り上げているので、「話し手」「聞き手」の両方の観点から、よりよいコミュニケーションの取り方を示している。 ・学年に3つ配置されている小単元「JUMP」では、目的や場面を意識しながら自分のことや調べたことを表現する活動になっており、確かなコミュニケーション力を養う工夫がされている。また、ペアグループ→全体の流れになっており、児童が無理なく取り組めるように工夫されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が新しい学習をスムーズにスタートできるように、各Unitは「思えばく・出会う」ことから構成されている。児童が「やってみよう」と感じられるよう写真やイラストを多く扱い興味・関心を引く工夫がされている。 ・言葉や文化に関する各種コラムを用いて、英語を学ぶことの意味やおもしろさへの気づきを促すようにしている。また、世界に目を向けるだけでなく、世界に発信できる日本の文化や情報についても知ることができるようにしている。 ・異なる文化的背景を持つ人物をメインキャラクターに据え、彼らの生活や考えに触れることで、互いを尊重し合うこと、多様な価値観を受け入れることの大切さに気づけるよう配慮されている。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での言語活動を見据え、Jump(単元終末)は課題解決を行い、目標を達成する活動が設定されている。 ・将来の夢や憧れの人物を紹介する活動などが扱われており、未来を見据えて主体的に学び続ける心を育てるよう配慮されている。 ・伝統文化や地域の行事など、日本のよさを発見し、それらを発信する単元が用意されている。 	◎
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・Lesson内の各活動にも一つひとつ音声を用意されており、画像にタッチすることで簡単に聞くことができる。 ・絵や文字を拡大することができ、文字の形や4線上の位置を確認することができるなど、丁寧な文字指導をしていくために有効である。 ・My Dictionaryには、音声をイラストとマッチングするゲームがあり、ゲーム感覚で単語の学習に取り組むことができるようになっている。 ・音声に合わせて英文がハイライトされ、どこまで読まれているのか視覚的にわかりやすくなっている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・UnitがHOP、STEP、JUMPの構成となっており、段階を踏んで積み上げていく構成になっている。コミュニケーションの目的を明確にしたうえで、「聞くこと」「話すこと」による豊富な音声のインプットと、達成可能な「話すこと」「書くこと」のアウトプットを繰り返し、習熟を回ることができるようになっている。 ・Unitの終末のJumpでは、「話し手」と「聞き手」双方の、発表の際に気をつけたい点を掲載しており、児童が相手意識をもって言語活動に取り組めるように配慮されている。 ・言葉や文化に関する各種コラムを用いて、英語を学ぶことの意味やおもしろさへの気づきを促すようにしている。また、世界に目を向けるだけでなく、世界に発信できる日本の文化や情報についても知ることができるようになっている。 ・絵や文字を拡大することができ、文字の形や4線上の位置を確認することができるなど、丁寧な文字指導をしていくために有効である。 ・イラストが多く使われているが、他国に住む人や文化などに関する写真を多く取り入れる方が、児童にとってより具体的にイメージできる手助けになると考える。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 4

発行者の番号		017	
発行者の略称		教出	◎
項目	観点等	教科書名	ONE WORLD Smiles
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> Lesson(単元)は、映像を見ながら「聞くこと」を通した豊富なインプットから始め、音声のみでの「聞くこと」、歌やリズムに合わせた口慣らしを通して表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単な「やり取り」を経て、最終活動で「話すこと[やりとり・発表]」というアウトプットへと展開する構成になっている。 5年生では慣れ親しませることから始め、段階的に文字を読んだり書いたりすることができるようになっていく。6年生では、単元が進むにつれて少しずつ「読む」「書く」の英文の文字が増えるように配慮され、スモールステップで系統性のある指導ができるようになっていく。しかし、「書く」活動がやや少ないのが難点である。 イラストが多く扱われており、英語で聞いたことを絵や写真から想像を広げて、類推したり理解したりすることに役立っている。 二次元コードを活用してのデジタル教材機能が使いつらい。(聞きたい語句や表現だけを選択して聞くことができない。) 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭生活といった「児童の身近な暮らしに関わる場面」を中心としつつ、「特有の表現が使われる場面」(例:5年Lesson7「レストランの注文」、Lesson8「道案内」等)をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるように工夫されている。 映像で言語使用場面の設定をとらえることができる。具体的な写真や画像などが多く、子どもたちの理解がしやすい教材となっている。 具体的な場面設定がされている。(夢の時間割、オリジナルメニュー作り、旅行案内、将来の夢など) 目的・場面・状況に応じた言い方やコミュニケーションの取り方に気づかせる[Action!]のコーナーでは、1つのフレーズについて、話す相手や場面に応じてふさわしい伝え方を考え、表現させる活動がある。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 海外の子どもたちの生活を知る[World of Smiles]では、生活に身近な食べ物や行事などの紹介を通して、多様性にもふれることができる内容になっている。また、世界のいろいろな学校など、日本と海外の違いや共通点を楽しむよう工夫されている。 日本全国の「名所・名物マップ」(5年)に加え、6年では世界のマップが加わり、行きたい国や場所について伝え合ったり、クイズを出し合ったりするアクティビティで活用でき、表現意欲を高める工夫がされている。 Lessonの題材の内容は、児童の発達段階、興味、関心について配慮されており、学校や地域、国内から海外へと学年や単元が進むにつれて視野が徐々に広がるように構成されている。 各単元で学ぶ表現のゴールイメージが示されており、どの児童も目標達成に近づけるような工夫がされている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 6年Lesson4の活動や学年後半のLesson6~8の単元末に、それまでに学んできた要素を組み合わせ、文構造への気づきを促す活動が仕組みされており、中学校での学びにつなげられるようにしている。 6年最後の単元Lesson8に、既習の内容を使って自分のことについて書く活動が設定されており、最後の評価に役立つだけでなく、児童が中学校での自己紹介の授業にも活用できるようになっている。 二次元コードを活用したデジタル教材などが使いつらい。 	○
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> 知りたいと思った単語の音声を一つずつ聞くことができないのが難点である。 英単語や英文を押すと、ネイティブスピーカーによる音声再生され、音声に添えられた部分は、「表示」→「クイックポイント」の操作をすると着色され、さらに、どの部分を読んでいるのかがわかるハイライト機能や、ゆっくり再生できる速度調整機能もついていて、個の能力に合わせて聞くことができる。 語句が確認できるだけでなく、楽しくアルファベットに触れられるようなコンテンツやチャッツが多く搭載されている。 動画に字幕や速度調節機能が搭載されている。 	○
総合所見(発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 言語を使用する場面の設定を映像で捉えることができる。また、児童の理解を助けたり、想像を広げたりする写真が多く掲載されている。 学校や家庭生活といった「児童の身近な暮らしに関わる場面」を中心としつつ、「特有の表現が使われる場面」(例:5年Lesson7「レストランの注文」、Lesson8「道案内」等)をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるように工夫されている。 日本全国の「名所・名物マップ」(5年)に加え、6年では世界のマップが掲載され、行きたい国や場所について伝え合ったり、クイズを出し合ったりするアクティビティで活用でき、表現意欲を高める工夫がされている。 6年Lesson4の活動や学年後半のLesson6~8の単元末に、文法用語を使わずに、学んできた要素を組み合わせ、文構造への気づきを促す活動が仕組みされており、中学校での確かな学びにつなげられるようにしている。 二次元コードを活用してのデジタル教材機能が使いつらい。(聞きたい語句や表現だけを選択して聞くことができない。) 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 5

発行者の番号		038	
発行者の略称		光村	◎
項目	観点等	教科書名	Here We Go!
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各Unit(単元)のStep(展開部分)で、英語の知識を理解し、活用できる基本的な技能を身に付けられるようにしている。Stepでは、ストーリーを通して学習する表現に気付くことから始まり、聞く活動→チャンツによる練習→話す活動→読む・書く活動とスモールステップを踏んだ活動が仕込まれている。 各UnitのSmall Talkは、動画を再生し、アニメの問いかけに応じる形で、「話すこと」「聞くこと」に十分慣れ親しませるにより既習表現の定着を図ることができる。また、相づち(Response)を扱い、双方向を意識したやりとりができるように工夫されている。 読む・書く活動は、まず聞いたり話したりして音声に十分慣れ親しんでから文字→単語→語句→文章と段階を踏んで無理なく学べるようにしている。 学習した語句や表現をなぞったり書き写したりした後、声に出して読む活動が設定されている。 話す・聞く活動で表現することは十分にできるが、それと比べると書く活動が少なく、単語や文章を書くことにも十分に慣れ親しませる必要がある。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各UnitのはじめにあるAbout Youの問いかけは、児童に自分のことを英語で発信するために学んでいく意識付けとなり、主体的に学ぶ工夫がなされている。 すべてのUnitで場面状況が明確に設定されており、段階を踏んだ学習活動を行いながら、場面や状況に適した会話表現を考えて学習することができる。 既習事項を生かしたやりとりや、発表する活動(You can do it!)が各学年3回設定されている。 Plus oneでは、自分なりに既習表現を加えて伝える活動を設定し、思考力・判断力・表現力を養い、会話を続ける力が育つように工夫されている。 Phrase Hintは、単元の終末に目標とする言語活動の手前に設定され、言いたいことをどのように言うよいか、クラス全体で話し合う協働的な学びの活動ができるようになっている。二次元コードからアクセスできるスライドをクラス全体で見え、よりよい表現について考えられるようになっており、表現の幅が広がることが期待できる。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各UnitのLet's watch and thinkでは、Unitの題材に関連して国際理解を深めることができるようになっている。「世界の学校の教科」「世界の小学生の一日」「世界の料理」「世界の小学生のあこがれの人」など、さまざまな情報を得ることで視野を広げられるようになっている。 各UnitのJump(単元の終末)にあるLet's watch and speakでは、外国の生活や文化についての話し合いを促し、考えをさらに深める課題が示されているため、対話的な学び、深い学びにつながることを期待できる。 学年ごとに3つずつ「世界の友だち」が設定されており、紹介されている友だちのことや他国の文化について知ることができる。また、「自分ならどのような返事を書くか」など相手意識をもてるような言語活動が設定されている。 各単元1時間ずつの目標が端的にわかりやすく示されているので、指導者も児童も何を目標にして学んでいるのかを共有することができる。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからアクセスできる学習に必要な音声や動画などのコンテンツは、デジタル教科書でも全て再生することができ、授業でも家庭でも児童のペースで学習ができる。 ゲームやチャンツなどのデジタル教材を家庭での学習でも活用することができ、CAN-DOリストと照らし合わせながら自身の学習に生かすことができる。 	○
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面の起動ボタンから音声・映像を直接聞いて、自分のペースで視聴でき、個別最適な学びのサポートができる。 英語の読み上げ機能には、ネイティブのナレーターの朗読音声を収録しており、いつでも聞きたいときに聞いたり、練習したりと学習の参考に役立つ。 好みの速度で再生でき、また自由に書き込むことができる。 5・6年生合わせて611点のコンテンツが収録されており、楽しみながら英語に触れることができる。また実際の使用場面をイメージするための手立てとなる。 複数ある単語の中の1つが聞きたい場合でも、掲載されている単語をはじめから順に聞いていかなければならず、児童が確認したい単語や文章だけを取り出して聞ける方が、より個別最適な学びにつながると考える。 	○
総合所見(発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 各UnitのはじめにあるAbout Youの問いかけは、児童に自分のことを英語で発信するために学んでいく意識付けとなり、主体的に学ぶ工夫がなされている。 各UnitのSmall Talkは、動画を再生し、アニメの問いかけに応じる形で、「話すこと」「聞くこと」に十分慣れ親しませるにより既習表現の定着を図ることができる。また、相づちやほめ言葉などをResponseとして各Unitで紹介し、双方向を意識したやりとりができるように工夫されている。 各UnitのJumpにあるLet's watch and speakでは、外国の生活や文化についての話し合いを促し、考えをさらに深める課題が示されているため、対話的な学び、深い学びにつながることを期待できる。 話す・聞く活動に比べると書く活動が少なく、単語や文章を書くことにも十分に慣れ親しませる必要がある。 複数ある単語の中の1つが聞きたい場合でも、掲載されている単語をはじめから順に聞いていかなければならず、児童が確認したい単語や文章だけを取り出して聞ける方が、より個別最適な学びにつながると考える。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 外国語)

NO. 6

発行者の番号		061	
発行者の略称		啓林館	◎
項目	観点等	教科書名	Blue Sky elementary
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」の技能別(領域別)の十分に音声に慣れ親しむ活動の設定 十分に音声に慣れ親しませた上での「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって学習に取り組めるように、すべてのUnit(単元)において、活動の順序を同じパターンで配置し、紙面に掲載する位置も固定化する工夫がなされている。 語句や表現の意味や使い方について、映像視聴やリスニング活動を通して、自ら推測できるしきりがある。推測したことを児童同士で共有することで、理解につながるよう工夫されている。 各単元のwatch and doでは、リスニングと共に指で文字を追うことが示されており、音声と単語や言葉のまとまりをつかめるような工夫がされている。 巻末のWord Listの英単語が四線で表示されていないので、アルファベットの文字の形が曖昧になる可能性がある。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題が設定しやすい言語活動の工夫 使用場面が日常生活に密着した言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 表現に慣れ親しむ「話すこと」の活動では、紙面に示されている内容を尋ね合うだけでなく、尋ねたいことを自分で選択してやり取りができるよう工夫されている。 各Unitのとびらでは、既習事項を使ったやりとりやUnitへの導入に適したSmall Talkに使える素材が含まれており、イラストを見ながら短い会話をしたり、質問したりして、即興でやりとりの力が養えるように工夫されている。 challengeでは、学習したことを生かしながら必要な情報を読み取る活動が設定されている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むことができるように、発達段階に即し興味関心を抱く言語活動の設定 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他の文化を広く理解し、国際的視野が広がる題材の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の終末に、世界の様々な情報を紹介する異文化理解のページがあり、日本と外国の文化の違いへの気づきを促し、調べ学習などにも広げることができる。また、世界各地の子どもたちが身の回りのこと、自分の国のことなどを話す映像を視聴して、自分たちとの共通点や違いを考える活動がある。 児童が見通しをもって学習が進められるように、UnitのとびらにはUnit全体のめあて(Goal)と各Stepのめあてが記載されている。 Unitごとに振り返りが設定されており、学習の定着具合が確認できるため、学習に対する意欲や自己肯定感の高まりにつながる事が期待される。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) 学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面に二次元コードを豊富に掲載し、各活動の音声、アルファベットや語句をゲーム感覚で学習できるデジタルコンテンツ、世界の文化や生活などについて学べる映像にアクセスでき、個別学習でも活用できるよう工夫されている。 デジタルコンテンツの「英文Marker」では、語彙リストから児童が言いたい英語を選択して文を作り、その音声を聞くことができるようになっている。 Friends around the Worldでは、他国の同じ世代の将来の夢や小学校の思い出などを聞くことができ、世界を身近に感じられるよう工夫されている。 	○
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 各種機能(音声読み上げ機能、動画、書き込み機能等)の使いやすさと学習効果 	<ul style="list-style-type: none"> 6段階のスピードが選べるので、個々に最適な速さを選んで聞くことができるようになっている。 単語クイズがあり、音声を聞いて楽しく問題を解くことができる。 世界の文化や生活を紹介する映像があり、自国との違いに気づくとともに外国への興味が広がる事が期待できる。 	○
総合所見(発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって学習に取り組めるように、すべてのUnit(単元)において、活動の順序を同じパターンで配置し、紙面に掲載する位置も固定化する工夫がなされている。 challengeでは、学習したことを活用しながら、必要な情報を読み取る活動が設定されており、グラフや表を読み取ったり、自分ごととして考えたりする活動が仕組まれているため、他教科や実生活とのつながりを感じることができる。 各単元に、語句や会話表現を聞きながらそれらの文字を指で追う活動があり、文字と音声のつながりや文字のまとまりをつかめるように工夫されている。 巻末のWord Listでは、英単語が四線上に表示されていないので、アルファベットの形を正しく理解できない可能性がある。また、Word Listを参考にして文字を書き写す際に正しく書けない可能性もある。 	○

令和6年度 使用教科用図書 観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 1

発行者の番号		002	
発行者の略称		東書	◎
項 目	観点等	教科書名	
		新編 新しい道徳	○
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全、情報モラル、「いじめ」について、「いのち」について、「じぶん」についてという5つのユニットが全学年に設定されており、現代的な課題について発達段階に応じて段階的に道徳的価値の理解を深めることができるようになっている。 ・いじめ防止に関わる教材は、全学年同時期に配当され、「とびらページ」「教材」「つながる 広がる」の3つの要素からなるユニットが組まれている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、1話ごとに「考えよう」のコーナーで2つの発問から道徳的価値について考えを深めさせる構成になっている。発問がシンプルで多様な考えを引き出すきっかけにしやすい。 ・「つながる広がる」のコーナーでは、自分のことを知らせたり、友達とやり取りをしたりする活動が示されていて、児童が交流しながら学びを深めていくことができる。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながる広がる」のコーナーでは、道徳で学んだことを普段の生活につなげたり、広げたりして考えることができる内容が多様な写真やイラストを使って見やすく掲載されている。 ・教科書の巻末に学期ごとのまとめができる「学習の記録」のページが設定されており、次の学期や学年への希望やこれからの課題を書けるようになっているが、記述できるスペースがせまいため、児童にとって扱いにくいと思われる。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに掲載されている二次元コードによってすべての教材で朗読音声やスライドショーなどを活用でき、一人一人の端末を活用することで、外国人児童、視覚障害や識字障害のある児童など、教材の読み取りに困難を生じる児童に対しても個別最適な学びを保障することができる。 ・滋賀県に関連した地域教材が取り上げられていないことが惜しまれるが、日本の伝統文化や自然、郷土の発展に尽くした人物といったテーマに関連づいた教材が全学年を通じて多く設定されており、道徳的価値と関連付けた学校教育活動を工夫することができる。 	◎
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面全体を通して、無駄なスペースがなく、イラストも明るく、レイアウトも見やすい。また、全体的に情報量が多すぎず、必要な内容がうまくまとめられている。 ・滋賀県に関連した地域教材が取り上げられていないことが惜しまれるが、日本の伝統文化や自然、郷土の発展に尽くした人物といったテーマに関連づいた教材が全学年を通じて多く設定されており、道徳的価値と関連付けた学校教育活動を工夫することができる。 ・教材ごとに掲載されている二次元コードによってすべての教材で朗読音声やスライドショーなどを活用でき、一人一人の端末を活用することで、外国人児童、視覚障害や識字障害のある児童など、教材の読み取りに困難を生じる児童に対しても個別最適な学びを保障することができる。 ・巻末の「学習の記録」のページでは、学期ごとのまとめができるようになっているが、どの学年においても記述できるスペースがせまいため、児童にとって扱いにくいと思われる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 2

発行者の番号		017	◎
発行者の略称		教出	
項 目	観点等	教科書名	小学道徳 はばたこう明日へ
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が道徳的価値を自分との関わりで考え、話し合うことができるように、日常生活での事例・現代的な課題・先人の生き方・感動的な物語などの多種多様な教材が掲載されている。 ・全学年、現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」や「情報モラル」についてのコラムが掲載されており、学んだ教材の価値について実生活とつなげて考えられるように工夫されている。 	○
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭に導入の問いかけが示されており、児童の興味・関心や問題意識を高め、その後の教材を効果的に活用できるよう工夫されている。 ・役割演技の活動を設定している箇所が多く、自分事として考えることができるように工夫されている。 ・「深めよう」や「つなげよう」のコーナーでは、全学年において、学習したことについて友達と話し合う活動が重視されている。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに学びの手引きが掲載されており、「深めよう」のコーナーでは、授業の終末段階で活用できる発問が設定されており、その時間に学習した道徳的価値について考えたことを振り返ることができるようになっている。 ・全学年、巻末の「学習を振り返ろう」のページにおいて、学期ごとの振り返りや1年を通しての振り返りができるよう構成されており、児童が自分の成長を感じることができるようになっている。切り取り線で切り離して提出できる形式になっているのだが、低学年にとっては少し扱いにくいと思われる。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に補充教材が掲載され、日本の伝統と文化・自然・生命の尊厳などについて深く学習できるように工夫されている。 ・すべての教材に二次元コードが付いており、教材の解説や登場人物のイラスト、写真などを開くことができる。 ・コラムの二次元コードからは、資料として参考になるホームページにつながるようになっている。 	○
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした紙面構成であり、イラストや写真、図版が大きく掲載されている。教材文の量を少なくしたり、学習の流れの示し方を統一したりして、児童にとっても教師にとっても教科書を活用しやすい。 ・教材の冒頭に導入の問いかけが示されており、児童の興味・関心や問題意識を高め、その後の教材を効果的に活用できるよう工夫されている。 ・役割演技の活動を設定している箇所が多く、自分事として考えることができるように工夫されている。 ・全学年、巻末に「学習を振り返ろう」のページがあり、書き込んだ後に切り取り線で切り離して提出できる形式になっているのだが、低学年にとっては少し扱いにくいと思われる。 	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 3

発行者の番号		038	◎
発行者の略称		光村	
項 目	観点等	教科書名	道徳 きみが いちばん ひかるとき
知識及び技能	・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い	・「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについては、教材とコラムのユニットが組まれており、児童がじっくりと課題に向き合うことができるよう構成されている。 ・3年生以上には、教材の特性や発達の段階に応じて、図を使って自分の考えを広げたり整理したりすることのできる「思考ツール」が紹介されている。	○
思考力・判断力・表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定	・「心をかよわそう」「準備運動」などのコーナーでは、発達段階に応じた話し合いで役立つ言葉や話型を示すことにより、自分の考えを広げ深める具体的な手立てを得られるよう工夫されている。 ・どの学年にも、役割演技が取り入れられている。「演じて考えよう」では、役割演技を通して考えを深めるための学習活動例が具体的に詳しく記されている。	○
学びに向かう力・人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容	・教材の終わりに「考えよう・話し合おう」のコーナーが設けられており、学んだことをじっくり振り返ったり、自分自身の生活を掘り下げて振り返ったりできるようになっている。また、「つなげよう」のコーナーでは、他教科との関連について記されている。 ・全学年、巻末に教材ごとの学びを記録できる「学びの記録」がある。低・中学年は振り返りの3観点にシールを貼ることで、また、高学年では一言感想を書きためることで、自分の学びを記録できるようになっている。1年間の自分の成長や変化を確認することができるのだが、高学年にとっては記述のスペースがせまく、十分に振り返りをすることができないと思われる。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・3、4、6年生では日本各地の伝統文化、5年生では日本各地で取り組む防災活動を紹介した付録が設けられている。 ・4年生の教科書教材「琵琶湖のゴミ拾い」では、滋賀県に関わる内容が取り上げられている。 ・いくつかの教材に二次元コードが掲載されており、教材文を音声で聞いたり、写真を開いたりできるようになっている。	◎
総合所見 (発行者別)		・読み物教材の他に印象的な詩教材や写真教材、言語活動を中心とした教材、読みの負担を軽減する漫画教材など、多種多様な教材を取り入れ、児童の学習意欲を引き出す工夫がされている。 ・4年生の教科書教材「琵琶湖のゴミ拾い」では、滋賀県に関わる内容が取り上げられている。 ・「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについては、教材とコラムのユニットが組まれており、児童がじっくりと課題に向き合うことができるよう構成されている。 ・各教材の終わりの「考えよう・話し合おう」のコーナーでは、学習の手順が示されており、考えながら学ぶ手立てとなっている。しかし、項目が多く、多様な学習を展開していく際には支障が出てくることも考えられる。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 4

発行者の番号		116	
発行者の略称		日文	◎
項 目	観点等	教科書名	
		小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート	○
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材名とは別に、主題や見出し、登場人物の顔を掲載することで、児童の教材内容の理解を助け、問題意識をもって主体的学ぶことができるように配慮されている。また、いじめを「間接的に扱った教材」、いじめを「直接的に扱った教材」、「いじめ防止コラム」を組み合わせ、いじめについて集中的に学習するいじめ防止ユニット「人との関わり」を各学年とも年間3回設定し、繰り返し、しっかりといじめについて考えることができるように工夫されている。 ・道徳的価値の理解を深めることにつながる「心のベンチ」と題したコラムが掲載されており、児童が授業で学んだ道徳的価値を実際の生活や社会とつなげて考えることができるよう工夫されている。 ・現代的・社会的課題である「いじめ問題」「情報モラル」「SDGs」「多文化共生」「自己肯定感」「命の教育」「キャリア教育」などの様々なテーマについて、全学年で年間を通してバランスよく学べるように配慮されている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習や体験的な学習の手法が、「ぐっとふかめる」のコーナーにおいて絵や写真を用いて視覚的に分かりやすく示されている。このことで、児童の多面的・多角的な思考を促し、多様な意見が交流できるようにするための学習活動を仕組みやすくなっている。 ・付録の教材が3話掲載されているので、児童や地域の実態に応じて差し替えたり、年間35時間(第1学年は年間34時間)を超えて実施したりすることが可能である。 	◎
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭に導入のための発問例が示されており、児童の興味・関心や問題意識を高め、その教材で学習する道徳的価値に関するこれまでの自らの経験を振り返ることができるようになってきている。 ・問題解決的な学習となるよう教材ごとに学びの手引きが掲載されており、「考えてみよう」のコーナーでは、教材を通して道徳的価値を深めるための発問例が示されている。さらに、「見つめよう・生かそう」のコーナーでは、授業の終末段階で活用できる発問が設定されており、その時間に学習した道徳的価値について考えたことを振り返ることができるようになってきている。 ・別冊の「道徳ノート」の紙面が改善され、発問例の記載がなくなったことで、どんな授業展開にも合わせることができるようになって使いやすくなった。児童も自らの思いを自由に書き込んで振り返ることで、思考をさらに深めることができるようになった。 	◎
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つけた!ここにも道徳」や「SDGsで考えよう(3~6年)」といった巻末コラムページは、児童の発達段階や行動範囲の広がりに合わせて、家庭・学校内から実社会へと視野を広げていけるよう構成されているので、教材とコラムを往還することで児童が考えをさらに深めることができる。 ・3年生の教科書教材「これ、全部東京産」では滋賀県草津市、6年生の教科書教材「アスリートの言葉」では滋賀県彦根市、5年生の教科書教材「真由、班長になる」ではびわ湖フローティングスクールが取り上げられている。地域教材を通して学ぶことで、児童の学習意欲が高まったり、学びが深まったりすることが期待できる。 ・道徳ノートにも二次元コードが付いており、1人1台端末で自分の答えや友達の意見、話し合ったことなどを自由に書き込めるようになってきている。 	◎
総合所見 (発行者別)		<ul style="list-style-type: none"> ・現代的・社会的課題である「いじめ問題」「情報モラル」「SDGs」「多文化共生」「自己肯定感」「命の教育」「キャリア教育」などの様々なテーマについて、全学年で年間を通してバランスよく学べるように配慮されている。 ・いじめに特化した内容が、単なる読み物ではなく、必要な情報として、各学年、発達段階に応じて繰り返し盛り込まれているところが評価できる。 ・滋賀県に関わる教材が多く取り上げられている。滋賀県に関わる地域教材を通して学ぶことで、児童の学習意欲が高まったり、学びが深まったりすることが期待できる。 ・「ぐっとふかめる」コーナーには、役割演技を取り入れた学習の展開例や、問題解決的な学習の展開例などが絵や写真とともに視覚的に分かりやすく示されており、学習の手順が理解しやすい。 ・思考が深まり、学びをより豊かなものにするための「道徳ノート」が教科書とは別に用意されている。必要に応じて活用することで、個々の学びの状況や成長を見取りやすく、授業改善や評価に活かすことができる。 	◎

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 5

発行者の番号		208	◎
発行者の略称		光文	
項 目	観点等	教科書名	◎
知識及び技能	・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い	小学道徳 ゆたかな心	◎
思考力・判断力・表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定	・コラム「みんなでやってみよう！」では、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を通して、よりよい人間関係の構築につながるよう工夫されている。 ・多面的・多角的に考えを深めることができるように、発達段階に応じた思考ツールを掲載し、自分の考えを視覚化したり、学習した内容をまとめたりしやすい。	◎
学びに向かう力・人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容	・各教材の「広げよう」のコーナーにおける教材付随コラムは、興味・関心をひく話題であり、学習した内容をさらに掘り下げることができる。 ・全学年、教科書の巻末に、毎時間の振り返りを記す「学びの足あと」のコーナーがある。「顔の表情」や「心の矢印」で授業後の気持ちを表し、その理由を書くことで自己の変容を確認できるようになっているのだが、3年生以上の学年では記述のスペースがせまく、十分に振り返りをする事ができないと思われる。	○
高島市教育大綱	・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成	・学年独自主題では、ユニットを組んで、低学年では「へこんでもたちなおる力」、中学年では「みんなで力を合わせて」、高学年では「世界中のいろいろな人とつながるために」というテーマを設定している。6年間を通して重点的に学ぶことで、学んだことを人々のため、社会のために役立てることが期待される。 ・10教材程度に二次元コードが付いており、教材の解説・登場人物のイラスト・写真などを開くことができる。 ・日本のそれぞれの地域にゆかりのある人物や題材を取り上げた教材を掲載しているが、滋賀県に関連した地域教材が取り上げられていないことが惜まれる。	○
総合所見 (発行者別)		・35教材に加えて、付録の教材が5つ掲載されているので、児童や地域の実態に応じて差し替えたり、年間35時間(第1学年は年間34時間)を超えて実施したりすることが可能である。 ・全学年共通のコラムには、「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」「ことばのたからもの」の5つの項目が系統立てて設定されている。 ・コラム「みんなでやってみよう!」では、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を通して、よりよい人間関係の構築につながるよう工夫されている。 ・全学年、教科書の巻末に、毎時間の振り返りを記す「学びの足あと」のコーナーがあり、「顔の表情」や「心の矢印」で授業後の気持ちを表し、その理由を書くことで自己の変容を確認できるようになっている。しかし、3年生以上の学年では、記述のスペースがせまく、十分に振り返りをする事ができないと思われる。	○

令和6年度使用教科用図書観点別調査研究結果
(種目 特別の教科 道徳)

NO. 6

発行者の番号		224	◎
発行者の略称		学研	
項 目	観点等	教科書名	新版 みんなの道徳
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題(生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応)に関する内容等多様な教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に人気の職業をはじめ、さまざまなジャンルで活躍する人、児童が親しんでいるアニメなど、意欲的に取り組める教材が多数掲載されている。特に高学年では、児童の関心が深い人物(スポーツ選手・偉人など)や話題(SDGs・新型コロナウイルス感染症など)に関連する教材が多く取り上げられており、興味をもって自分の生き方について考えられるよう工夫されている。 ・最重点テーマは「いのちの教育」で、全学年で「生命の尊さ」の教材を3つずつ配置しており、人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者とともによりよく生きることについて考えさせている。 	◎
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・深く考え議論し、よりよい生き方を自ら見いだせる教材の取り扱い ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年にあるコラム「心のパスポート」では、教材での学習をもとに、自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりすることができるように工夫されている。 ・「ふかめよう」のコーナーでは、道徳的価値について「つかもう」「さがそう」「ふみ出そう」の観点で自分の心を見つめることにつながるような構成になっている。 	○
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年、巻頭に「つながる私 広がる私」のページがあり、大切なもの・夢中になっていること・自分の好きなところ・将来の夢について書き込むことで、自分自身を見つめることができるようになっている。 ・教材の最後に設定されている「考えよう」のコーナーでは、学年の発達段階を踏まえた発問が多く掲載されており、じっくり自己を見つめて考えを深めることができるよう工夫されている。 	○
高島市教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を中核に据えた系統的・継続的な指導 ・一人一台端末等の効果的な活用による学び方の改革(「個別最適な学び」と「協働した探究的な学び」の推進) ・学びを働くこと、生きることに関連付けた系統的・継続的なキャリア教育の推進 ・地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に1年間の学びや自分へのメッセージを書くページがあり、1年間の自分の成長を感じ、自分の生き方を考えることができる構成となっている。 ・1つのテーマのもと、内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材、「いのちのユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」が設定され、児童が学びを深めることができる。 ・各教材の初めに二次元コードが付いており、作品の解説・写真・動画・ワークシートのいずれかが掲載されている。 	○
	総合所見 (発行者別)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関心が深い人物や話題が多数掲載され、多様な学びを広げることができる。 ・最重点テーマは「いのちの教育」で、全学年で「生命の尊さ」の教材を3つずつ配置しており、人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者とともによりよく生きることについて考えさせている。 ・全学年にあるコラム「心のパスポート」では、教材での学習をもとに、自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりすることができるように工夫されている。 ・児童が教材に先入観をもつことなく、主体的にいろいろな思考を喚起できるよう、教材本文より前には主題や問いかけが示されていない。そのため、教師は事前に導入時における児童の問題意識を高めるための問いかけを考えておくなどの教材研究が必要となる。 	○

令和6年度使用教科用図書調査研究結果

新たに選定した図書は網掛け部分

(小学校特別支援学級)

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
国語	文科省著作本		こくご☆	東京書籍	「聞く、話す」「読む」「書く」の各領域ごとにまとめて配列されており、生活全般に関する内容が学習しやすく工夫されている。
	文科省著作本		こくご☆☆	東京書籍	
	文科省著作本		こくご☆☆☆	東京書籍	
	検定本		ひろがる言葉 小学国語 1～6	教育出版	
	一般図書		拡大教科書 国語 ひろがる言葉 小学国語 1～6	教育出版	
	一般図書	511	かたちでおぼえる あいうえお	視覚デザイン研究所	・親しみがもてる挿絵や写真とともに、字体については教科書体もしくはそれに近い字体になっており、学習意欲を喚起するように工夫がされている。
	一般図書	568	すてきなひらがな	講談社	・文字が大きく見やすい。
	一般図書	569	ステキナカタカナ	講談社	・書き順が明記されているので指なぞりなどの練習や文字の形が理解しやすい。その文字を使った短い文や言葉が書かれている。
	一般図書	662	4歳のえほん百科	講談社	・生活の中で使われる言葉について、色々な分野に分けて示されており、実生活における言語活動に役立つよう工夫されている。 ・子どもたちが日常生活で目にしそうな場面の写真が多く使われている。
	一般図書	001	あっちゃんあがつたべものあいうえお	リーブル	わかりやすい言葉をリズムよく読んだり覚えたりして、楽しく学ぶのに適している。
	一般図書	002	しりとりしましょ！たべものあいうえお	リーブル	
	一般図書	A03	もじのえほん かんじ	あかね書房	漢字の成り立ちについて、絵と短い言葉でわかりやすく説明されており、楽しく学習できるように工夫されている。
	一般図書	E01	五味太郎のこぼとかずの絵本 漢字の絵本	岩崎書店	言葉や数、漢字について楽しく学習できるよう短くわかりやすい言葉で説明されている。
	一般図書	O01	五味太郎・言葉図鑑1 うごきのことば	偕成社	・挿絵と対応させながら正しい言葉を理解することができ、言葉のもつおもしろさが味わえるように工夫されている。 ・日常生活でよく聞いたり使ったりする言葉が多いので、会話の中で活かしやすい。
	一般図書	557	五味太郎・言葉図鑑2 ようすのことば	偕成社	
	一般図書	O03	五味太郎・言葉図鑑3 かざることば(A)	偕成社	
	一般図書	O05	五味太郎・言葉図鑑5 つなぎことば	偕成社	
	一般図書	O06	五味太郎・言葉図鑑6 ぐらしのことば	偕成社	
	一般図書	O10	五味太郎・言葉図鑑10 なまえのことば	偕成社	
	一般図書	B02	ゆっくり学ぶ子のためのこくご入門編2(ひらがなの読み書き)	同成社	言葉や数、漢字について楽しく学習できるよう短くわかりやすい言葉で説明されている。
一般図書	A01	ゆっくり学ぶ子のためのこくご1(ひらがなのことば、文・文章の読み)	同成社	・聞く・話す力、読む力、書く力が楽しみながら身に付くよう、児童の言語力に応じて学習しやすいように構成されている。 ・言葉や文章の成り立ちを確かめながら読んだり書いたりすることができるよう工夫されている。	
一般図書	A02	ゆっくり学ぶ子のためのこくご2(かたかな・かん字の読み書き)	同成社		
一般図書	A03	ゆっくり学ぶ子のためのこくご3(文章を読む、作文・詩を書く)	同成社		
一般図書	A04	ゆっくり学ぶ子のための国語4	同成社		
一般図書	526	反対ことばカード	くもん出版	日常生活でよく使う反対の意味の言葉の習得に適している。	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
国語	一般図書	519	ひらがなことばカード 1集	くもん出版	カード形式で、1文字から2文字で表されている言葉の理解に適している。
	一般図書	520	ひらがなことばカード 2集	くもん出版	カード形式で、3文字から6文字で表されている言葉の理解に適している。
	一般図書	521	ひらがなことばカード 3集	くもん出版	カード形式で、濁音・半濁音・拗音・促音などで表されている言葉の習得に適している。
	一般図書	523	ぶんカード 1集	くもん出版	比較的よく耳にする、基本的な二語文をカード形式で表しており、単語から文章への習得に適している。
	一般図書	524	ぶんカード 2集	くもん出版	
	一般図書	582	くもんのことば絵じてん	くもん出版	絵が大きくて見やすく、言葉と絵が表している対象を理解しやすい。
	書写	検定本		書写 1～6	光村図書
一般図書			拡大教科書 書写 1～6	光村図書	
一般図書		525	ゆびなぞりカード ひらがな	くもん出版	指先への刺激を使って反復練習することでひらがなの習得に適している。
一般図書		515	書きかたカード カタカナ	くもん出版	1文字ずつのカード形式で、フェルトペンで書いた跡が消せるようになっていて反復練習に適している。
一般図書		517	書きかたカード アルファベット	くもん出版	
一般図書		516	書きかたカード 漢字	くもん出版	
社会		検定本		新しい社会 3～6	東京書籍
	一般図書		拡大教科書 社会 新しい社会 3～6	東京書籍	
	一般図書	A01	スカリーーおじさんのはたらく人たち	評論社	くらしのさまざまな場面が見開きごとに楽しい挿絵で表現されており、それぞれの仕事について知ることができるように工夫されている。
	一般図書	546	スカリーーおじさんのにぎやかなビジータウン	BL出版	
	一般図書	552	なりたい！わくわく！おしごとずかん	チャイルド本社	児童が興味をもつ職業についてその職業の制服や仕事内容をイラストでわかりやすく説明している。
	一般図書	502	はじめてのにほんちずえほん	パイ インターナショナル	・日本の各地方の特産、建造物、祭りなどが一目でわかるように構成されており、地形や自然、文化などを楽しく学ぶことができる。 ・全てひらがなで書かれている。
	一般図書	505	1日10分でちずをおぼえる絵本改訂版	白泉社	都道府県に興味をもてるよう地図の形を動物やものにたとえ、特産物や有名なものが例示されていてわかりやすい。
	一般図書	538	どこにいる？だれがいる？さがせ！日本の歴史	岩崎書店	児童が迷路や人探しをしながら、歴史への興味・関心が高まるように工夫されている。人々の暮らしや、建物、服装等から時代の特徴がよくわかるように描かれている。
	一般図書	706	恐竜時代から江戸時代まで 時の迷路	PHP研究所	風俗の変遷や農具・工具などの技術の発展がわかるよう細かいところまで描き込まれているので、絵で見ることで歴史を感じることができる。
	一般図書	583	絵で見る日本の歴史	福音館書店	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果	
地図	検定本		楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	帝国書院		
	一般図書		拡大教科書 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	帝国書院		
	一般図書	501	地図でよくわかる都道府県大百科	JTB		各都道府県の特徴や県庁所在地、地域の特産物等がわかるように図や写真が配置してあり、見やすく工夫された資料がついている。
	一般図書	563	イラストでわかる都道府県じてん	成美堂出版		・大切な情報が精選されており、大きなイラストで紙面が構成されている。 ・地名等の固有名詞はひらがなでルビが打たれており、読みやすい。
算数	文科省著作本		さんすう☆	教育出版	内容が基本的な日常生活や遊びから展開し、初歩の数概念が細かいステップで系統的に学習できるよう工夫されている。	
	文科省著作本		さんすう☆☆(1)(2)	教育出版		
	文科省著作本		さんすう☆☆☆	教育出版		
	検定本		たのしい算数 1～6	大日本図書		
	一般図書		拡大教科書 算数 たのしい算数 1～6	大日本図書		
	一般図書	C02	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう 2 (1対1の対応、1～5の数、ゼロ、5までのたし算)	同成社		
	一般図書	C03	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう 3 (6～9のたし算・ひき算・位取り)	同成社		
	一般図書	C04	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう 4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数のたし算ひき算)	同成社		
	一般図書	C05	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう 5 (3けたの数の計算・かけ算・わり算)	同成社		
	一般図書	002	1から100までのえほん	戸田デザイン		
一般図書	B06	かずあそび 1・2・3	小学館	「数える」操作を通して、楽しみながら基礎的な内容が身につけられるよう工夫されている。 ・いろいろな物の写真を興味をもって数えたり声に出して読んだりすることで1から10までの数の大きさや仕組みがわかるよう工夫されている。 ・検定本で扱われている内容と接続性があり、わかりやすい。		
理科	検定本		理科 新しい理科 3～6	東京書籍		
	一般図書		拡大教科書 理科 新しい理科 3～6	東京書籍		
	一般図書	506	でんじろう先生のカッコいい！科学おもちゃ	主婦と生活社		身のまわりの物を使って、楽しく実験をしながら科学的な興味を育て知識を得ることができるよう工夫されている。
	一般図書	507	でんじろう先生の超ウケる実験ルーム			
一般図書	602	しぜんとかがくのはっけん！366	主婦の友社	・全14ジャンルから興味があることを選び、四季を通して自然科学あそびを楽しむことができる。 ・写真や図が多く一目でわかりやすい紙面になっている。		
生活	文科省著作本		せいかつ☆	東京書籍	・場面の様子や活動の流れなどがわかりやすい図や写真と簡単な言葉でまとめられている。 ・日常生活、地域でのくらし、季節の自然等を取り上げられており、多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。	
	文科省著作本		せいかつ☆☆	東京書籍		
	文科省著作本		せいかつ☆☆☆	東京書籍		
	検定本		生活 わくわくせいかつ・上 いきいきせいかつ・下	啓林館		
	一般図書		拡大教科書 生活 わくわくせいかつ・上 いきいきせいかつ・下	啓林館		

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
生活	一般図書	B06	生活図鑑カード お店カード	くもん出版	生活に必要な身近な物、場所をカード形式で示しており、名前や用途について学習することに適している。
	一般図書	B01	生活図鑑カード たべものカード	くもん出版	
	一般図書	510	生活図鑑カード のりものカード	くもん出版	
	一般図書	B07	生活図鑑カード 生活道具カード	くもん出版	
	一般図書	G12	しぜんで工作しよう	岩崎書店	森や川などの身近な自然の中にある材料を探して集め、自分で遊ぶおもちゃを作る方法が示されている。
	一般図書	549	こどもあんぜん図鑑	講談社	児童の行動範囲で起こりうる危険についてわかりやすく説明している。
	一般図書	B08	やさい	福音館書店	身近な野菜がどのように畑で育つかかわかりやすい絵で示されている。
音楽	文科省著作本		おんがく☆	東京書籍	季節や行事など、日常生活にあった歌や曲が多く組み入れられている。発達の状況や特性から考え、遊び歌、手遊び、リズム遊びなど楽しく歌ったり簡単な楽器などを演奏したりできるように編集されている。挿絵は歌詞によく合っており、色も鮮やかで児童が情景を思い浮かべられるような工夫がされている。
	文科省著作本		おんがく☆☆	東京書籍	
	文科省著作本		おんがく☆☆☆	東京書籍	
	検定本		小学生の音楽 1～6	教育芸術社	
	一般図書		拡大教科書 小学生の音楽 1～6	教育芸術社	
	一般図書	511	こどものうた絵本140曲	ブティック社	親しみやすい童謡を取り上げ、手遊びなどをしながら、全身を使って楽しめるように工夫されている。
	一般図書	512	てあそびうた&ゆびあそびゲームタブレット音でる♪知育絵本	朝日新聞出版	親しみやすい童謡を取り上げ、お手本の歌を聴きながら歌ったり、カラオケで歌ったりして楽しめるよう工夫されている。
図画工作	検定本		図画工作 1～6	開隆堂	どこにでもある身近な材料をびっくりするほど楽しい作品やおもちゃに大変身させるアイデアがたくさん掲載されている。 ・それぞれに難易度がついており小学校低学年から高学年まで使うことができる。
	一般図書		拡大教科書 図画工作 1～6	開隆堂	
	一般図書	006	作ってみよう！リサイクル工作68	成美堂出版	
	一般図書	544	小学生のわくわく工作	成美堂出版	
家庭	検定本		家庭 小学校 わたしたちの家庭科 5・6	開隆堂	家庭科の学習指導要領に即して内容が構成されており、イラストや写真も見やすく、見開きを基本に一つの題材が4ページで学習できるようになっている。
	一般図書		拡大教科書 家庭 小学校 わたしたちの家庭科 5・6	開隆堂	
	一般図書	512	共に生きる家庭科 自立を目指して	開隆堂	掃除、洗濯、食事など、生活全般にわたる内容が、お手伝いのやり方という視点で児童にもわかりやすく学べるようになっている。
	一般図書	655	おてつだいの絵本	金の星社	
	一般図書	001	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん	ナツメ社	衣食住など生活の基礎知識や知恵が、親しみやすい挿絵や写真を使ってわかりやすくまとめられている。
	一般図書	616	ただしもちかたの絵本	金の星社	日常生活の様々な場面が網羅され、生活に必要な基礎的知識と技能が身につくようにわかりやすいイラストでまとめられている。

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果	
保健	検定本		新しい保健 3・4 5・6	東京書籍		
	一般図書		拡大教科書 新しい保健 3・4 5・6	東京書籍		
	一般図書	109	こどものずかん9 からだとけんこう	ひかりのくに		・体の仕組みや健康の保持、体力の向上について配慮されている。 ・難しいことも簡単な言葉でわかりやすく説明されており、写実的な挿絵と説明のための簡単なイラストが適切に取り入れられている。
	一般図書	E13	きゅうきゅうばこ	福音館書店		日常的に起こる身近なげがについて、対処の仕方をわかりやすいイラストと簡単な言葉で示しており、実践につながるよう工夫されている。
	一般図書	512	性の絵本	KADOKAWA		体の仕組みについてわかりやすいイラストで説明されており、体や性について学ぶことができる。
	一般図書	542	わたしのはなし	童心社		一人称で物語が描かれており、自分の体と心を自分で守ることの大切さを学ぶことができる。
外国語	検定本		Junior Sunshine 5、6	開隆堂		
	一般図書		拡大教科書 Junior Sunshine 5、6	開隆堂		
	一般図書	007	CDつき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話	成美堂出版		日常生活でよく使われる身近で簡単な単語や文を、付属のCDで繰り返し聞いて、自分で発音を練習できるよう工夫されている。
	一般図書	586	きいてうたってはなせるようになる！新装版はじめてのえいかいわえほん	ベネッセ		・見開きで、日常生活のよくある場面が示されている。 ・付属のタッチペンで繰り返し聞いて、自分で発音を練習できるよう工夫されている。
特別の教科 道徳	検定本		小学道徳 生きる力 1～6	日本文教出版		
	一般図書		拡大教科書 小学道徳 生きる力 1～6	日本文教出版		
	一般図書	514	こころのふしぎなぜ？どうして？	高橋書店		成長していく中で出てくる「心」についての疑問を解決できるようにわかりやすいイラストや言葉でまとめられている。
	一般図書	518	続・こころのふしぎなぜ？どうして？	高橋書店		
	一般図書	531	こころを育てるおはなし101	高橋書店		一つの題材が簡潔にまとめられており、児童が思考を深める時間を十分確保できる内容になっている。
	一般図書	E01	4・5・6さいのきもちをつたえることばのえほん	講談社		「あいさつのことば」や「きもちをあらわすことば」がわかりやすく示されており、児童の発達段階に即した内容になっている。
	一般図書	601	おもいやりの絵本 みんなのきもちがわかるかな？	金の星社		
	一般図書	B03	絵でわかるこどものせいかつずかん3 おでかけのきほん	合同出版		日常生活の中で社会参画に主体的に取り組めるよう、イラストと言葉に対応させて、理解を助ける工夫がなされている。
	一般図書	B04	絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん			

令和6年度に使用する教科用図書調査研究結果

新たに選定した図書は網掛け部分

(中学校特別支援学級)

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
国語	文科省著作本		国語 国語☆☆☆☆	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと大きく親しみのある挿絵で興味をもつことができ、内容が実生活に基づいている。 ・ところどころに作業的な学習が設けられ、活動のメリハリがつけられる編集となっている。 ・広く設けられた行間により、視覚的に優しい紙面である。 ・☆☆☆☆☆については、話し方や伝え方、情報の確認、手紙の書き方やレシピの見方など、日常生活や社会人になってからも必要な事象が取り入れられていて、言語発達に応じて学習しやすいように工夫されている。 ・物語の話題が多様で、個々の興味に対応できる。 ・ピクトグラムで示されており、見方や意味がわかりやすい。
	文科省著作本		国語 国語☆☆☆☆	東京書籍	
	検定本		国語 ひろがる言葉 小学国語 1～6	教育出版	
	検定本		国語 1～3	光村図書	
	一般図書		拡大教科書 国語 ひろがる言葉 小学国語 1～6	教育出版	
	一般図書		拡大教科書 国語 1～3	光村図書	
	一般図書	518	漢字カード 1集	くもん出版	
	一般図書	523	ぶんカード 1集	くもん出版	
	一般図書	524	ぶんカード 2集	くもん出版	
	一般図書	A02	ゆっくり学ぶ子のためのこくご2 (かたかな・かん字の読み書き)	同成社	
	一般図書	A03	ゆっくり学ぶ子のためのこくご3 (文章を読む、作文・詩を書く)	同成社	
	一般図書	A04	ゆっくり学ぶ子のための国語4	同成社	
	一般図書	502	ゆっくり学ぶ子のための国語5	同成社	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
国語	一般図書	001	ことばがいっぱい言葉図鑑1 うごきのことば	偕成社	<p>・1冊ごとに言葉のグループ分けがなされていて、系統立てて活用できる。</p> <p>・見開きページいっぱいにはたくさんの親しみやすいイラストが描かれている。イラストのすぐ横にひらがな表記の言葉が記載され、授業で指差しをしながらの学習活動の展開が可能である。</p> <p>・語彙が豊富で、生徒の発達や課題に応じて多様な学習を展開しやすい。</p> <p>・身近な場面を取り上げており、生徒の体験や生活と結びつけた学習活動が可能である。</p>
	一般図書	557	ことばがいっぱい言葉図鑑2 ようすのことば	偕成社	
	一般図書	003	ことばがいっぱい言葉図鑑3 かざることば(A)	偕成社	
	一般図書	558	ことばがいっぱい言葉図鑑4 かざることば(B)	偕成社	
	一般図書	005	ことばがいっぱい言葉図鑑5 つなぎのことば	偕成社	
	一般図書	006	ことばがいっぱい言葉図鑑6 ぐらしのことば	偕成社	
	一般図書	559	ことばがいっぱい言葉図鑑7 たとえのことば	偕成社	
	一般図書	560	ことばがいっぱい言葉図鑑8 かくれたことば	偕成社	
	一般図書	561	ことばがいっぱい言葉図鑑9 しっぽのことば	偕成社	
	一般図書	010	ことばがいっぱい言葉図鑑10 なまえのことば	偕成社	
	一般図書	638	にほんご	福音館	<p>・読む・書くよりも、話す・聞くを先行して編集されており、人との関係をつくるための内容を題材としている。</p> <p>・文章のまとまりが短く、余白も多く設けられているので、集中して取り組みやすい。</p> <p>・イラストや写真を用いて話し合いながら言葉について考えることができる。</p> <p>・学んだ会話のパターンを反復して、身に付きやすい。</p>
	一般図書	002	ぐらしに役立つ国語	東洋館出版	<p>・実生活に基づいた話題設定となっていて、単元の始めのタイトルを頼りに必要な話題をすぐに選ぶことができる。</p> <p>・「総合的な学習の時間」においても、学習したことを生かせる内容になっている。</p> <p>・自己表現力を高めるための方法が丁寧かつ具体的に説明されている。</p> <p>・自立に向けたソーシャルスキルトレーニングも含まれている。</p>
	一般図書	A01	ひとりだちするための国語	日本教育研究出版	<p>・「聞く」「話す」「読む」「書く」を横断的に学ぶことにより、コミュニケーション能力の基本を体得できるような編集になっている。</p> <p>・大きな文字にルビがふられており、多様な発達段階の生徒が読むことができる。</p> <p>・生徒が実際に体験する生活場面を取り入れた授業を展開することができ、総合的な学習の時間での場面にも活用が可能である。</p> <p>・ワークシート形式で、教科書とプリントの二つを持たずとも1冊で学習ができる。</p>
書写	検定本		書写 中学書写	教育出版	<p>・ひらがな、カタカナの運筆練習から始まり、ひらがな、数字、カタカナ、漢字へと学習が配列され、徐々に複雑なものに発展している。</p> <p>・文字をうまく書くためのポイントが記されており、筆圧の弱い生徒や直線・曲線を描くことが苦手な生徒が活用できる。</p> <p>・文字にはすべてルビがふられており、2色刷のイラストによりわかりやすい解説がされている。</p> <p>・漢字を書く反復練習には一つおきに薄い文字が印刷されているため、ワーキングメモリーに課題がある生徒も間違いが少なく練習ができる。</p>
	一般図書		拡大教科書 書写 中学書写	教育出版	
	一般図書	001	子どもの字がうまくなる練習ノート	PHP研究所	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果	
社会	検定本		社会 新しい社会 3~6	東京書籍		
	検定本		地理 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国書院		
	検定本		歴史 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	帝国書院		
	検定本		公民 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	帝国書院		
	一般図書		拡大教科書 社会 新しい社会 3~6	東京書籍		
	一般図書		拡大教科書 地理 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国書院		
	一般図書		拡大教科書 歴史 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	帝国書院		
	一般図書		拡大教科書 公民 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	帝国書院		
	一般図書	574	絵で見る日本の歴史	福音館書店		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの時代が、一つの見開きごとにイラストを用いてまとめられており、その説明文も簡潔でわかりやすく、特徴をとらえやすい。 すべての説明にルビがふられており、生徒が自分で読めるように工夫されている。 巻末にはさらに詳しい解説があり、興味・関心に応じて学習を深めることができる。
	一般図書	529	日本のふしぎ なぜ? どうして?	高橋書店		<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史を中心に、政治や法律など日本のシステムがイラスト付きでわかりやすく書かれている。 生徒が生活の中で感じる日本に関する疑問に答える形になっている。 イラストと文章で構成され、難しい漢字にはルビがふられており、読みやすい。
一般図書	001	くらしに役立つ社会	東洋館出版	<ul style="list-style-type: none"> 公民を中心に日常生活と関連づけながら、各分野を学ぶことができる。 難しい漢字にはルビがふられており、図表などの資料も見やすく、学習を進めやすい。 		
一般図書	512	ひとりだちするための社会	日本教育研究出版	<ul style="list-style-type: none"> 公民を中心に日常生活と関連づけながら、各分野を学ぶことができる。 地理的分野は世界と日本をわかりやすくまとめており、シンプルな図で学習を進めやすい。 難しい漢字にはルビがふられており、図表などの資料も見やすく、学習を進めやすい。 		
地図	検定本		地図 中学校社会科地図	帝国書院		
	一般図書		拡大教科書 地図 中学校社会科地図	帝国書院		
	一般図書	C01	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	小学館		<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの表記と、アニメキャラクターのイラストにより、発達の幼い生徒にも親しみやすい。 地図上で都道府県を色分けされ、日本全体の地図と比較することで位置関係がとらえやすい。 調べ学習への動機づけになるクイズが掲載されている。

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
地図	一般図書	576	見て、学んで、力がつく！こども日本地図2023年版	永岡書店	<ul style="list-style-type: none"> ・47都道府県、それぞれの観光地や工芸品、特産物が写真、イラスト付きで取り上げられており、生活に結びつく内容となっている。 ・本文のルビや見やすい写真、雑学が盛り込まれているので、生徒が興味をもって学習に取り組めるものになっている。 ・索引は、ひらがなと漢字が併記され、発達段階に応じて活用できる。 ・生徒の関心をひく日本のおもしろ雑学マップが巻末に掲載されている。
	一般図書	519	楽しく学んで力がつく！こども世界地図	永岡書店	<ul style="list-style-type: none"> ・地図と合わせて、大陸ごとの歴史・産業や、各国の国旗や文化、世界各地の家、食べ物、衣装、交通の資料が取り上げられており、生活に結びつく内容となっている。 ・本文のルビやきれいで見やすい写真など、生徒が興味をもって学習に取り組めるようになっている。 ・世界全体と地域の地図が掲載され、位置関係がとらえやすい。
数学	文科省著作本		数学 数学☆☆☆☆	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活の事象を写真やイラストで取り上げ、即活用できる内容が多い。 ・☆☆☆☆については、時間や長さの感覚を身に付けたり、より効率的に計算したりする方法などが含まれており、発達段階の状況に応じて学習できるよう工夫されている。 ・漢字にはすべてルビがふられており、文章は簡潔で読みやすい。 ・大きく見やすいイラストや写真によって、視覚的にわかりやすい工夫が数多くある。 ・解き方のとなりに問題があり、振り返りながら解くことができる。
	文科省著作本		数学 数学☆☆☆☆	教育出版	
	検定本		算数 たのしい算数 1～6	大日本図書	
	検定本		数学 数学の世界 1～3	大日本図書	
	一般図書		拡大教科書 算数 たのしい算数 1～6	大日本図書	
	一般図書		拡大教科書 数学 数学の世界 1～3	大日本図書	
	一般図書	C03	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう3(6～9のたし算、ひき算、位取り)	同成社	
	一般図書	C04	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう4(くり上がり、くり下がり、3けたの数のたし算ひき算)	同成社	
	一般図書	C05	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう5(3けたの数の計算・かけ算・わり算)	同成社	
一般図書	003	くらしに役立つ数学	東洋館出版	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習内容の「基礎編」から、身近な題材を用いた「生活編」へとつながっている。 ・レシート、領収証など、社会人となってから扱う事象まで具体的に扱われている。「くらしのとびら」のコーナーでは、将来の生活に役立つ情報や制度が記載されている。 ・教科書の中に演習問題が豊富に取り入れられており、理解がより深まる工夫がされている。 	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果	
数 学	一般図書	A02	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべる 2年	民衆社	・身の回りのことを取り上げていて、視覚的な学習が期待できる。さらに学んだことをもとに、身の回りの同じ事象を探して考えることにより、発展的な学習につながる。	
	一般図書	A02	ひとりだちするための算数・数学	日本教育研究出版	・長さや重さをはかる、カレンダーを読む、お金の計算をするなど、視覚的、体験的な学びにつながるよう工夫されている。 ・本文にはすべてルビがふられていることやイラストが豊富であることなど、読みやすく書きやすい構成になっており、生徒の興味をひきつけるよう工夫されている。 ・ワークシート形式で、教科書とプリントの二つを持たずとも1冊で学習ができる。	
理 科	検定本		理科 新しい理科 3～6	東京書籍		
	検定本		理科 理科1～3 未来へひろがるサイエンス1～3	啓林館		
	一般図書		拡大教科書 理科 新しい理科 3～6	東京書籍		
	一般図書		拡大教科書 理科 理科1～3 未来へひろがるサイエンス1～3	啓林館		
	一般図書	004	くらしに役立つ理科	東洋館出版		・難しい漢字にはルビがふられており、図やイラストなどの資料も見やすく、学習を進めやすい。 ・健康・自然・便利なくらしなど日常生活に関わるテーマが多く、生徒が興味・関心をもって学習ができるように工夫されている。また、日常生活に活用できる内容も多い。
	一般図書	109	体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう	ひかりのくに		・漢字には全てルビがふられており、発達段階に対応しやすい。 ・全体的に淡い色使いで描かれ、視覚的に親しみやすい。 ・体の不思議を取り上げ、簡単な実験について紹介されていることから、応用発展も可能である。 ・体の構造についてだけでなく、健康や性教育についても掲載があり、実生活での指導に活用できる。
	一般図書		小学館の図鑑NEO[新版]科学の実験DVDつき	小学館		・漢字には全てルビが振っており、写真が見やすく配置されている。 ・実験、あそび、工作等を通して科学的な力を付けることができる。 ・「手順」「用意するもの」「注意点」「解説」などに分けて書かれているので、学習のねらいを達成させやすい。
一般図書	563	なるほど！理科図録	増進堂	・難しい漢字にはルビがふられており、図やイラストなどの資料も見やすく、学習を進めやすい。 ・生物・科学・化学・地学など幅広い分野を、生徒が興味・関心をもって学習ができるように工夫されている。また、日常生活に活用できる内容も多い。		

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
音楽	文科省著作本		音楽 音楽☆☆☆☆	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校までの多くの教材が扱われており、☆☆☆☆☆については、発達段階に応じて学習できるよう工夫されている。 ・歌唱・器楽・創作・鑑賞がバランスよく取り上げられている。 ・歌唱の分野では、楽譜を読むことが苦手な子どもが困らないように、歌詞中心の表記がされ、併せて写真が付けられているため、曲に対するイメージがしやすい。 ・器楽の分野では、演奏しやすくするため、色使いなどの表記に工夫がある。
	文科省著作本		音楽 音楽☆☆☆☆	東京書籍	
	検定本		音楽一般 中学生の音楽 1～3	教育芸術社	
	検定本		器楽合奏 中学生の器楽	教育芸術社	
	一般図書		拡大教科書 音楽一般 中学生の音楽 1～3	教育芸術社	
	一般図書		拡大教科書 器楽合奏 中学生の器楽	教育芸術社	
	一般図書	510	くらしに役立つ音楽	東洋館	
美術	検定本		美術 美術 1～3	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー印刷で視覚的に興味を引く。 ・難易度が☆の数で表記がしてあり、個の能力に応じた教材を選びやすい。 ・一つの工作が見開きで完結して集中しやすい。 ・製作工程がコマ送りになっており、コマに対応した解説により理解しやすい。
	一般図書		拡大教科書 美術 美術 1～3	日本文教出版	
	一般図書	006	作ってみよう！リサイクル工作68	成美堂出版	
	一般図書	517	美術資料	秀学社	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
保健体育	検定本		保健体育 中学保健体育	学研教育みらい	
	一般図書		拡大教科書 保健体育 中学保健体育	学研教育みらい	
	一般図書	A03	イラスト版体育のコツ運動が得意になる43の基本レッスン	合同出版	
	一般図書	005	くらしに役立つ保健体育	東洋館	<ul style="list-style-type: none"> ・走り方やマット運動、泳ぎ方など運動全般について、大きく見やすいイラストと、わかりやすい解説が掲載されている。 ・正しい動きと間違った動きが示されており、不器用な生徒や手本を見て真似することが苦手な生徒が効果的に学習できると考えられる。 ・それぞれの運動について、ステップごとに表記しているため、能力に応じて、学習がしやすい。 ・運動の仕方が簡単な文章と、イラストでわかりやすく解説されている。 ・運動・生活・保健など幅広い分野が表記されており、日常生活に活用できる内容も多い。 ・必要に応じてルビがふってあるため、自分で読み進められる。
技術・家庭	検定本		技術 技術・家庭（技術分野）	開隆堂	
	検定本		家庭 技術・家庭（家庭分野）	開隆堂	
	一般図書		拡大教科書 技術 技術・家庭（技術分野）	開隆堂	
	一般図書		拡大教科書 家庭 技術・家庭（家庭分野）	開隆堂	
	一般図書	C04	やさいのうえかたそだてかた	岩崎書店	
	一般図書	511	夢を育む技術、職業—未来に向かって	開隆堂	
	一般図書	508	ひとりだちするための調理学習	日本教育研究出版	
一般図書	002	職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住について、バランスよく掲載されている。 ・呼びかけるようなタイトルが付いていて、意欲をもって取り組める工夫がなされている。 ・文字が大きく、ルビがふられているため、自分で読み進められる。 ・各項目の終わりに「学習の振り返り」があり、学びのまとめができる。 	
一般図書	006	くらしに役立つ家庭科	東洋館	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住について、バランスよく掲載されている。 ・写真やイラストが豊富で、わかりやすく工夫されている。 ・必要に応じてルビがふってあるため、自分で読み進められる。 ・実生活と結びついた内容で、生活に役立つものとなっている。 	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
英語	検定本		英語 Junior Sunshine 5・6	開隆堂	
	検定本		英語 NEW HORIZON English Course 1～3	東京書籍	
	一般図書		拡大教科書 英語 Junior Sunshine 5・6	開隆堂	
	一般図書		拡大教科書 英語 NEW HORIZON English Course 1～3	東京書籍	
	一般図書	504	親子ではじめる英会話絵じてん1 らくらくひとこと編CD付	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的によく使っている会話を取り上げ、「書きことば」ではなく「話しことば」に重点を置き、文法にこだわらず、気軽に英会話が楽しめるようになっている。 ・英文には読み方と日本語訳が記載されているのでわかりやすい。 ・マンガの形式を使用し、登場人物の生き生きとした表情から、会話表現のニュアンスが伝わりやすい。
	一般図書	534	親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編CD付	三省堂	
	一般図書	585	はじめての英和じてん改訂版	くもん出版	<ul style="list-style-type: none"> ・初級の単語がバランスよく掲載され、その単語を使った身近な会話の例文が多く掲載されている。 ・例文では注目すべき初級の単語が赤色で示され、カタカナで発音が書かれているので、わかりやすく発音しやすい。さらに、アクセントについて太字で記載されている。 ・ことばが表すものや、使う場面がはっきりするような、視覚的な助けがあり、ことばの意味が理解しやすい。 ・楽しいイラストがたくさん使われているため、言葉への親しみや興味が高まる。
	一般図書	536	くもんのはじめての英会話じてん CDつき	くもん出版	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で使われる身近な会話が1場面1対話でわかりやすく収められている。 ・「あいさつ」「日時・天気の見ねかた」などの基本的な会話と、「家の中」「学校」「買い物」「電話」「道案内」などの場面別会話、五十音順の索引付きのキーワード別会話で構成されており、活用しやすい。 ・カタカナで発音が書かれていて、さらに太字でアクセントを示しているため、発音しやすい。 ・CD付きで発音の練習がしやすい。
	一般図書	536	新レインボーはじめての英語図鑑CDつきオールカラー	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で使われる身近な単語を中心に、場面ごとにわかりやすく収められている。 ・イラストや日本語とともにカタカナで発音が書かれていて、さらに太字でアクセントを示しているため、発音しやすい。 ・CD付きで発音の練習がしやすい。
一般図書	700	パンダで覚える英会話	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中でよく使われる身近な会話が1場面1対話でわかりやすく収められている。 ・パンダの写真や表情で、ニュアンスが伝わりやすい。 ・カタカナで発音が書かれていて、さらに太字でアクセントを示しているため、発音しやすい。 	

教科	種別	図書コード	教科書名・図書名・シリーズ名・書籍JANコード	発行者	調査研究結果
道徳	検定本		道徳 小学道徳 生きる力 1～6 道徳ノート	日本文教出版	
	検定本		道徳 中学生の道徳 1～3 道徳ノート	あかつき教育図書	
	一般図書		拡大教科書 道徳 小学道徳 生きる力 1～6 道徳ノート	日本文教出版	
	一般図書		拡大教科書 道徳 中学生の道徳 1～3 道徳ノート	あかつき教育図書	
	一般図書	522	イラスト版 気持ちの伝え方	合同出版	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをうまく伝えるための身近な例が示され、生徒の発達段階に応じて、コミュニケーションスキルが身に付くワークシートになっている。 ・左ページには生活場面ごとのコミュニケーションの取り方の例が、右ページにはワークシートが掲載されており、1単位時間の授業で扱いやすく、具体的な解決方法を考えることができる。
	一般図書	550	イラスト版 子どものアンガーマネジメント	合同出版	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に必要な知識だけでなく、困ったときの解決方法が辞書をひくように探せる。ワークシートは、アンガーマネジメントのスキルが身に付くようになっている。 ・左ページには生活場面ごとの疑問が、右ページにはワークシートが掲載されており、1単位時間の授業で扱いやすく、具体的な解決方法を考えられる。
	一般図書	514	こころのふしぎ なぜ？どうして？	高橋書店	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の感情、記憶、思考、判断と大きな関係をもつ「心」に焦点を当て、自分自身を見つめ直し、子どもが大人になってからも自信をもって、自ら考えて行動できるように、様々な「ふしぎ」に答えている。
	一般図書	518	続・こころのふしぎ なぜ？どうして？	高橋書店	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストは場面が想像しやすく、難しい漢字にはルビがふられており、わかりやすい。
	一般図書	531	よのなかルールブック	日本図書センター	<ul style="list-style-type: none"> ・大人として社会で生きるために身に付けておきたい50の習慣が、簡潔でわかりやすい言葉やイラストで書かれている。 ・生徒が「本音で」「真正面から」向き合うために、きれいごとではない正直なことばを選んで書かれており、生徒の心に届きやすい。
	一般図書	536	おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」	日本図書センター	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に、「これだけは身に付けてほしい、でもどう伝えたらいいのかわからない」ということを「おやくそく」として取り上げ、それに対する具体的なしつけや声のかけ方が分かる内容になっている。 ・どこまでできたかが一目でわかるような、「おやくそくりスト」が付いており、目標をもって取り組み続ける励みになる。
一般図書	536	なんだろうなんだろう	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークなイラストで、楽しみながら考えることができる。 ・「友だち」「しあわせ」「正義」「夢」などについて、さまざまな視点から問いかけがされている。 	
一般図書	513	くらしに役立つソーシャルスキル	東洋館	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活で必要となるさまざまな内容について具体的に説明されている。 ・社会のさまざまな場面で必要とされるルールやマナーを知るだけでなく、実際にできるようになるためのワークが設定されており、実生活に生かすことができる内容になっている。 ・自立活動や進路学習などでも活用が可能である。 	